



# CITROËN C3

取扱説明書



INSPIRED BY YOU

## ごあいさつ

このたびはシトロエン C3をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、シトロエン C3の取り扱いについて記載しております。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、ご理解を深めるようお願い申し上げます。

本書は車内に保管し、いつでも読み返すことができるようにしてください。

車に添え付けられているメンテナンスノート(整備手帳)は、携行が義務付けられています。この取扱説明書とともに常時携行していただくようお願い申し上げます。



## おことわり

・この取扱説明書は、発売時点の車両仕様をもとに作成しております。

オートモビル・シトロエン社では絶えず製品の改良を行っており、予告なく仕様が変更されることがあります。お客様の車両と装備品、仕様等が本書に掲載されている写真、イラスト、仕様等と細部が異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

・本書は、オプション装備を含む当モデルの全ての装備の説明を記載しております。各装備の有無については車両の仕様によって異なるため、お求めいただいた車両に装備されていない物が記載されていることがありますのであらかじめご了承ください。

## 重要安全情報

この取扱説明書には、車を安全に取り扱うために必要な情報が記載されています。

また、車を取り扱う上での危険性や注意点などについても説明されており、それに伴う事故を避けるためのアドバイスも含まれています。これらの警告や注意を守らない場合には、死亡を含む人的な傷害や車の破損などにつながる可能性があります。

危険に関する警告や注意は、車体各部に貼り付けた3種類の警告ラベルで表示されています。さらに、本書は注意に関する記載を、人身と物損に分けています。

### ⚠ 警告

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が死亡または重度の傷害を負うおそれがあることを示しています。

### ⚠ 注意

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が傷害を負うおそれがあることを示しています。

### 注意

指示に従わなかった場合、車を破損させるおそれがあることを示しています。



取り扱い上で、重要な点や注意点、アドバイスなどを示しています。



このマークが付いた指示に従わなかった場合、人身に関する（死亡や傷害の）おそれがあることを示しています。

## 車をご使用いただく前に

### ● 消耗品、アクセサリーについて

シトロエン C3に使用する消耗品やアクセサリー類は、シトロエンの純正部品をご使用ください。市販されている汎用の消耗品やアクセサリー類の中には、車の機器に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性がある製品が含まれていることがあります。シトロエン車本来の安全性や耐久性を損わないとても、純正の部品やアクセサリー類のご使用をお勧めします。

### ● 改造について

シトロエン C3の非合法な改造は、法に触れるだけでなく車の安全性や耐久性を著しく損なうおそれがあります。また、車の保証修理が受けられなくなることがありますので、むやみな改造を行わないでください。本書に記載のない整備や修理については、シトロエン指定サービス工場にご用命ください。

この車の電気配線には、多重通信システムの制御信号が流れています。シトロエン純正以外のナビゲーションシステムやラジオなどのアクセサリー類の取り付けのために車の配線に加工や接続をすると、エンジンやブレーキの制御に障害を与え、その結果、機器の故障や事故に至るおそれがあります。これらの取り付けにあたっては、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。

また、シトロエンが供給していないアクセサリー類の取り付けや、あるいはシトロエンの指示に従わない装着方法によって発生した、車または機器の不具合もしくは事故などに關わる損害の補償をいたしません。

### ● エコノミーモード

エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大30分間行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。

エンジンを再始動すると、電源の供給が再開されます。

すぐにアクセサリーを使用したいときは、エンジンを始動して数分間回してください。

エンジンをかけていた時間の倍の間、アクセサリーを使用できます。ただし、この時間は5～30分に限られます。

## 環境・リサイクルへの取り組み

### ●自動車リサイクル法

自動車リサイクル法は、使用済自動車(廃車)を適正に処理して、資源の再利用を促進することでゴミを減らすことを目的に作られた法律です。

具体的には、廃車することで発生する再利用できないシュレッダーダストの削減、環境に有害な物質の適正処理などを行い、環境保護に役立てるものです。そのため、車の所有者、自動車会社(輸入事業者を含む)、自動車関連事業者それぞれに役割が定められています。

### ●リサイクルへの取り組み

シトロエンでは、自動車リサイクル法が制定される以前から環境保護を行うためのリサイクルに関して対応してきております。

シトロエン C3は、リサイクル可能な素材を車体の多くの部分や部品に採用しています。

車の総重量のうち、90% は何らかの形でリサイクルすることができます。

すべてのプラスチック部品には、素材を表す記号がつけられており、簡単に取りはずしや分解ができるように考慮されています。

そのほとんどは熱可塑型を使用していますので、熔解したり粉碎して別の自動車部品として蘇らせることができます。

金属部品も同様に、100% の再利用が可能です。この中にはアルミニウムを始め、プラチナやロジウムといった貴重な金属も含まれます。

なお、アスベストやカドミウムといった有害物質は、設計の段階から使用を除外しています。

### ●環境への配慮

シトロエン指定サービス工場での定期点検整備をきちんと行うことは、環境保護と公害発散の防止につながります。

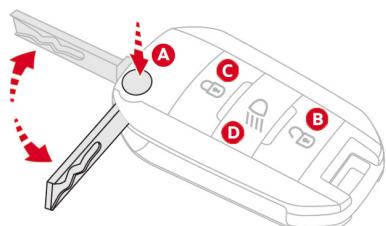
シトロエン指定サービス工場では、交換済みのオイルや油脂類、損耗部品などを正しく処理することによって環境保護のために貢献しています。

回収や破壊などの適正な処置をとるためにも、車を廃車にすることはシトロエン指定サービス工場にご相談ください。

環境保護は、たとえリモコン／スマートキーの電池1個であっても、お客様のご協力によって実践することができます。

## C3 操作・使用方法早わかり

### ●キー／リモコン\*（→P.2-2）



#### 鍵

ボタンAを押すと、鍵が出ます。鍵は折りたたむことができます。

#### 車の解錠

ボタンBを押します。

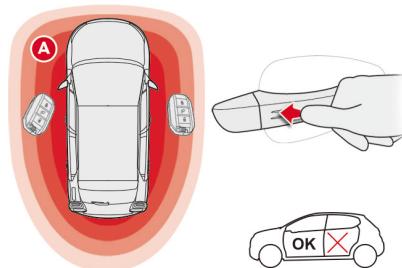
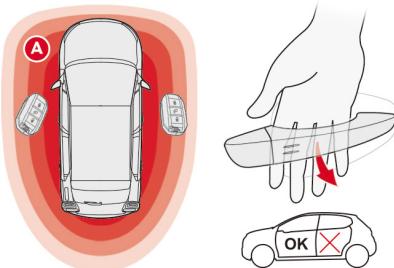
#### 車の施錠

ボタンCを押します。

#### 駐車時照明機能（フォローミーホーム）

ボタンDを押します。

### ●スマートキー\*（→P.2-5）



#### 車の解錠

車両周辺の検知エリアAにスマートキーがあるときに、前席のドアハンドルに手を通すと、車が解錠されます。ドアハンドルをそのまま引くとドアを開けることができます。

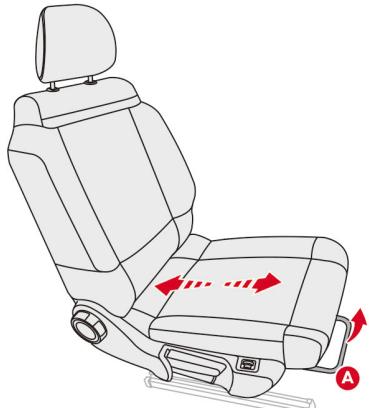
#### 車の施錠

車両周辺の検知エリアAにスマートキーがあるときに、前席のドアハンドルのスイッチを押すと、車が施錠されます。

### ● フロントシート（→ P.1-2）

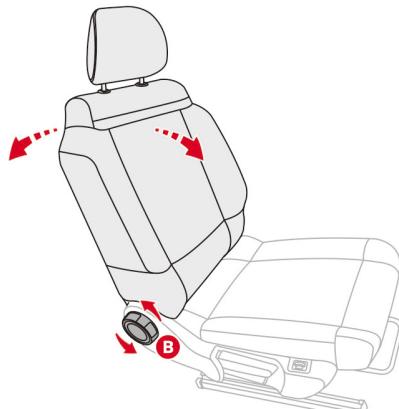
#### 前後調整

レバー A の中央部を引き上げたままシートを前後に動かします。レバーを放すとその位置で固定されます。



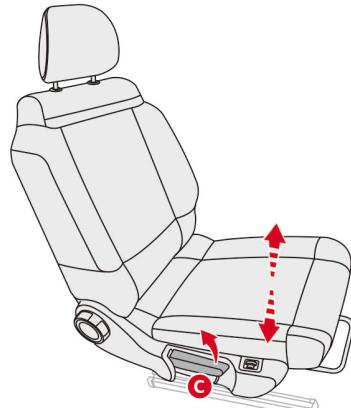
#### バックレストの角度調整

ダイヤル B を回してバックレストの角度を調整します。



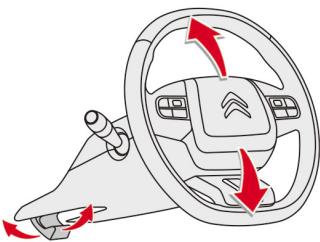
#### 高さ調整（運転席）

レバー C を上下に動かして高さを調整します。



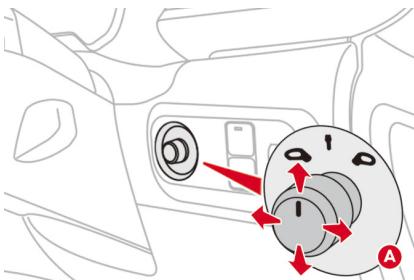
## C3 操作・使用方法早わかり

### ● チルト・テレスコピックステアリング ([→ P.3-5](#))



1. ロックレバーを手前に引き、ステアリングのロックを解除します。
2. ステアリングホイールの高さや奥行きを調整します。
3. ロックレバーを押し下げて、ステアリングをロックします。

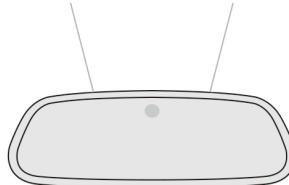
### ● ドアミラーの調整 ([→ P.1-4](#))



1. スイッチ A を左または右に回して、調整するドアミラーを選択します。
2. スイッチ A を上下左右に動かして、角度を調整します。

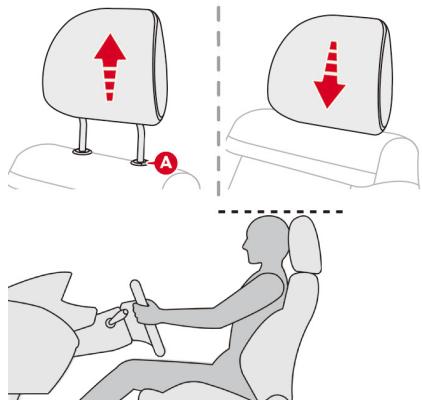
スイッチAを下側に回すと、ミラーが格納されます。

### ● バックミラーの調整 ([→ P.1-5](#))



昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。ミラーは後方がよく見える位置に調整してください。

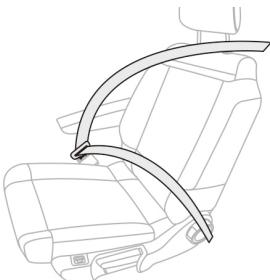
● フロントヘッドレストの調整  
→ P.1-3)



ヘッドレストの上端と乗員の頭の上が揃うように、ヘッドレストを上下に動かして調整します。

下げるときは、ラグ A を押しながらヘッドレストを押します。

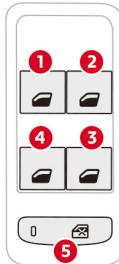
● シートベルト (→ P.1-7)



水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてバックプレートを力ちぎと音がするまでバックルに差し込みます。

バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

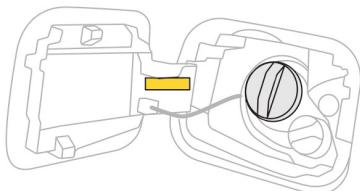
● パワーウィンドウ (→ P.2-15)



- ①：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
- ②：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
- ③：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ
- ④：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ
- ⑤：リアウィンドウキャンセルスイッチ

## C3 操作・使用方法早わかり

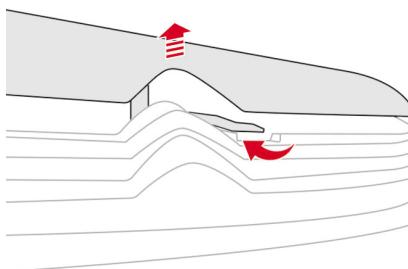
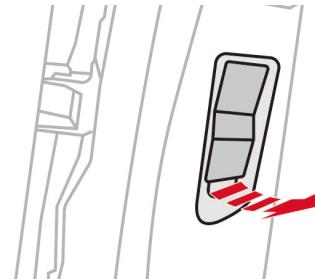
### ● フュエルリッド (→ P.2-20)



- ドアを解錠すると、フュエルリッドも連動して解錠されます。
- 給油フラップを開きます。
- キーをフュエルキャップのキー穴に差し込み、左(反時計方向)に回すか、フュエルキャップを左(反時計方向)に回してはさみます。
- はずしたフュエルキャップは、フラップの内側にあるフックに引っかけておきます。

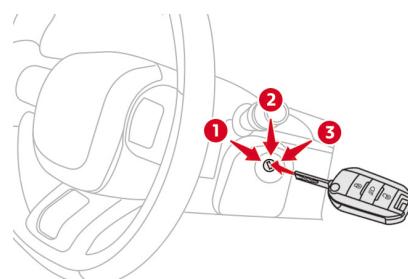
燃料タンクの容量は約45リットルです。

### ● ボンネット (→ P.2-19)



- 助手席側ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
- ボンネット下のロックレバーを引き上げてから、持ち上げます。

### ● エンジンの始動 \* (→ P.3-2)

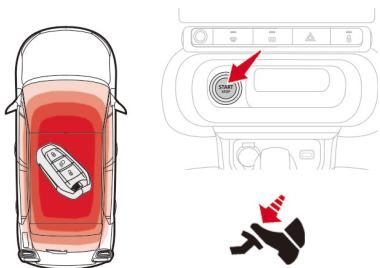


イグニッションスイッチ

- ① : 停止  
② : イグニッションオン  
③ : エンジン始動

\*仕様により異なります。

## ●エンジンの始動 \* (→ P.3-3)



スマートキーが車内の検知エリアにあるときに、エンジンを始動および停止することができます。

### エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. シフトレバーを P または N にします。
3. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながら START / STOP スイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。

### エンジンの停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトレバーを P または N にします。
3. START / STOP スイッチを押します。
4. エンジンが停止します。

### START / STOP スイッチの役割

#### オフ

START / STOP スイッチがアクセサリーポジションまたはスタートポジション（エンジンが始動している状態）のとき、ブレーキペダルを踏まずに START / STOP スイッチを押すとオフになります。

ハザードランプが使用できます。

#### アクセサリーポジション

START / STOP スイッチがオフのとき、ブレーキペダルを踏まずに START / STOP スイッチを押すと、アクセサリーポジションになります。

警告灯類が点灯し、しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

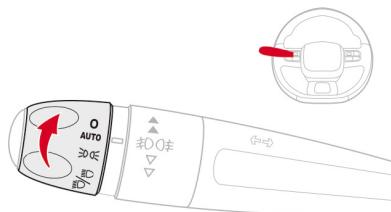
#### スタートポジション

ブレーキペダルを踏みながら START / STOP スイッチを押すと、スタートポジションになります。

エンジンが始動し、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

## C3 操作・使用方法早わかり

### ● ライトスイッチ (→ P.4-17)



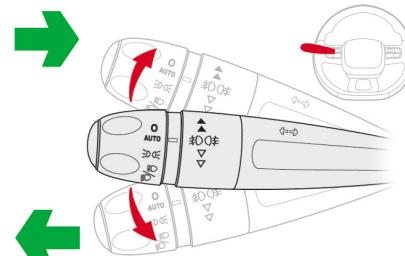
ヘッドランプ

- 0** ランプが消灯します。
- AUTO** オートライトモード
- ♪** ポジションランプおよびテールランプが点灯します。
- ♪** ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

フロントフォグランプ／リアフォグランプ

- ↑↓** フロントフォグランプ、リアフォグランプが点灯／消灯します。

### ● 方向指示器 (→ P.4-23)

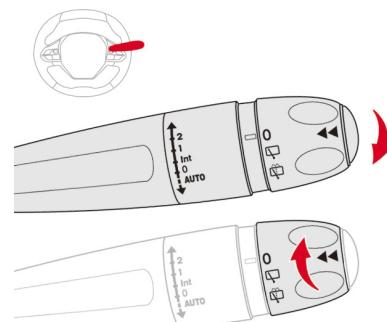


ライトスイッチレバーを上下に動かします。



ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。

### ● ワイパー／ウォッシャー (→ P.4-24)



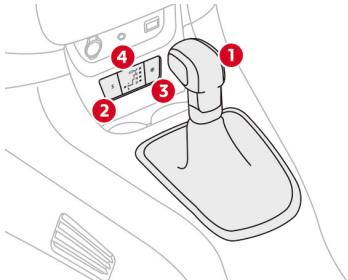
フロントワイパー

AUTO モードにするには、ワイパーレバーを押し下げます。ワイパーレバーを0以外の位置にするとAUTO モードが解除されます。レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射されます。

リアワイパー

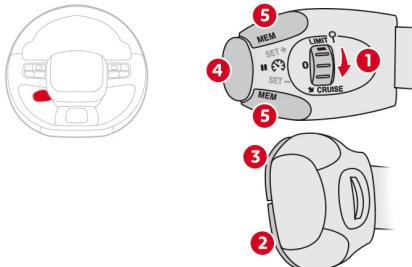
- 0** 停止
- 間欠作動
- ▢** ウォッシャー作動

## ●6速オートマチックトランスミッション (→ P.3-6)



- ①: シフトレバー
  - ②: スポーツモードスイッチ \*
  - ③: スノーモードスイッチ \*
  - ④: シフトポジション表示
- P. パーキング  
R. リバース  
N. ニュートラル  
D. ドライブ  
M. マニュアルシフトポジション

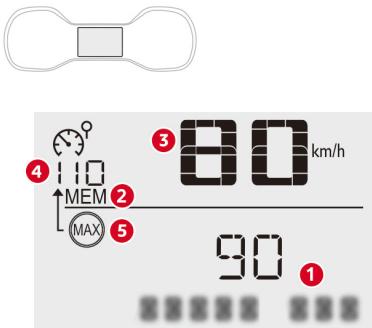
## ●クルーズコントロール／スピードリミッター (→ P.3-30、3-33)



- ①: スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
- ②: 速度設定／設定速度の減少
- ③: 速度設定／設定速度の増加
- ④: システムの一時停止／復帰
- ⑤: スピードリミットインフォメーションの表示速度受付

クルーズコントロールの速度の設定およびシステムの作動は、シフトレバーが D または M のときは2速以上で、時速40km以上のときに可能です。スピードリミッターはエンジン運転時に設定してください。

## ●スピードリミットインフォメーション (→ P.3-27)



- ①: 速度規制標識の制限速度表示
- ②: 速度設定可能表示
- ③: 現在のスピード表示
- ④: 設定スピード表示
- ⑤: スピードリミットインフォメーションオン／オフ状況表示

速度規制標識を認識して、インストルメントパネルに制限速度を表示します。表示された制限速度は、クルーズコントロール／スピードリミッターの走行速度に設定することができます。

\*仕様により異なります。

## C3 操作・使用方法早わかり

### ●ストップ&スタート (→ P.3-10)

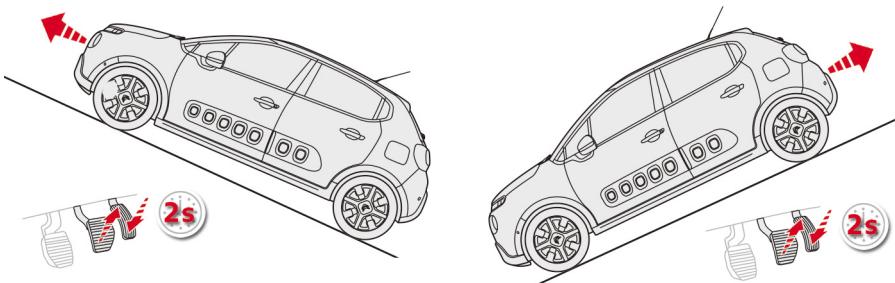
ストップ&スタートの解除はタッチスクリーンで行います。

ストップ&スタートが解除されると、メッセージが表示されます。

エンジンを始動すると、ストップ&スタートは作動状態になります。

ストップ&スタートが作動すると、メッセージが表示されます。

### ●ヒルスタートアシスタンス (→ P.3-35)



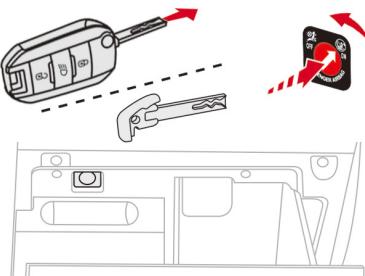
ブレーキペダルから足を離しても一定時間（ブレーキペダルからアクセルペダルまで足を移動する間）ブレーキがかかった状態を維持して坂道発進を補助します。  
この機能は以下の条件がすべて揃ったときに行動します。

- ・坂道で車が完全に停止してブレーキペダルが踏まれている。
- ・運転席ドアが閉まっている。
- ・坂道の勾配が適正である。

### ⚠ 警告

ヒルスタートアシスタンス作動中は、車から離れないでください。

### ● 助手席エアバッグキャンセルスイッチ ([→ P.1-19](#))



1. イグニッションをオフにします。
2. 助手席エアバッグキャンセルスイッチにキー／緊急用キーを差し込みます。
3. 助手席に人が乗車しているとき、もしくは助手席に前向きチャイルドシートを取り付けた場合は**ON**にします。助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けた場合には、必ず**OFF**にします。
4. そのままキー／緊急用キーを抜きます。

### ● シートベルト着用／非着用警告ディスプレイ ([→ P.1-8](#))



- ①：助手席側シートベルト警告灯
- ②：運転席側シートベルト警告灯
- ③：後席左側シートベルト警告灯
- ④：後席中央シートベルト警告灯
- ⑤：後席右側シートベルト警告灯

### ● チャイルドセーフティ ([→ P.2-17](#))



チャイルドセーフティをオンになると、車内からリアドアを開けられなくなります。

## C3 操作・使用方法早わかり

### ●タッチスクリーン (→ P.5-8)

#### 基本操作

← 前のページに戻ります。

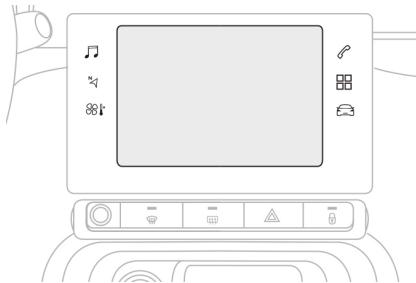


タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

OK 設定項目の変更後、変更画面にある OK にタッチして設定を有効にします。

さらに詳細な設定項目がある場合には、このアイコンにタッチします。

#### メニュー



オーディオやラジオの再生・設定画面を表示します。

ナビゲーションを表示します。  
(装着車のみ)

エアコンの設定画面を表示します。

ハンズフリー通話の通話・設定画面を表示します。

Apple CarPlay や Android Auto™の画面を表示します。(使用中のみ)

画像ファイルを表示します。

車の機能の設定を表示します。

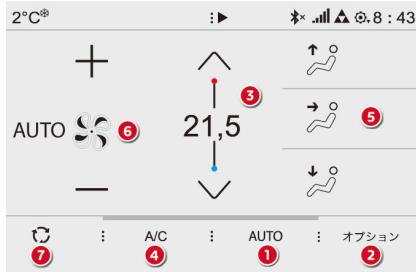
タッチスクリーンの設定画面を表示します。

ツマミを回して音量を調節できます。ツマミを押すと、ミュート(消音／停止)になります。



タッチスクリーンに指3本でタッチすると、メニューが表示されます。

## ●オートエアコン (→ P.5-4)



①: オートモードの設定

AUTO オートモードを作動／停止します。

②: オプション

オプション オートモードの作動モードを変更できます。

**SOFT:** 風量を制限して作動します。

**NORMAL:** 通常の風量で作動します。

**FAST:** 風量を多めにして作動します。



③: 温度の設定

ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。

④: エアコンのオン／オフ

A/C 冷房・除湿機能を作動／停止します。



⑤: 吹き出し口の切り替え

吹き出し口が切り替わります。



⑥: 風量の調整

風量が増減します。



⑦: 内／外気の切り替え

内気モード／外気モードを切り替えます。



# 目 次

安全なドライブについて	
安全装置について	
運転装置について	
もしものとき	
その他	

## 第 1 章 安全に運転するためには

フロントシート	1-2
ミラー	1-4
リアシート	1-5
シートベルト	1-7
チャイルドシート	1-10
エアバッグ	1-18
走行する前に	1-23
使用燃料について	1-23
冬季の取り扱い	1-23
保安炎筒	1-25
触媒コンバーター	1-25

## 第 2 章 各部の開閉のしかた

キー、リモコン	2-2
スマートキー	2-5
イモビライザー（盗難防止システム）	2-10
ドア／ドアロック／オートドアロック	2-12
テールゲート	2-14
パワーウィンドウ	2-15
チャイルドセーフティ	2-17

パノラミックガラスルーフ	2-18
ボンネット	2-19
フュエルリッド（給油口）	2-20

## 第 3 章 運転装置の使いかた

エンジンの始動（キー、リモコン）	3-2
エンジンの始動（スマートキー）	3-3
ステアリング／ホーン	3-5
パーキングブレーキ	3-5
6速オートマチックトランクション	3-6
シフトタイミングインジケーター	3-9
ストップ＆スタート	3-10
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）	3-13
ブラインドスポットモニター	3-15
レーンデパートチャーオーナーニング	3-18
ドライバーアテンションアラート	3-19
アクティブセーフティブレーキ	3-22
スピードリミットインフォメーション	3-27
クルーズコントロール／スピードリミッター	3-30
ヒルスタートアシスタンス	3-35
バックソナー	3-36
バックカメラ	3-38
間接式タイヤ空気圧警告	3-39

## 第4章 メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル	4-2
表示灯類	4-4
警告灯類	4-7
冷却水温度計	4-12
エンジン油量インジケーター	4-13
サービスインジケーター	4-14
オドメーター／トリップメーター	4-15
インストルメントパネルの調整（明るさ調整）	4-16
ライト類（ヘッドライト、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）	4-17
ワイパー／ウォッシャー	4-24
ドライブコンピューター	4-27

## 第5章 室内装置の使いかた

エアコンディショナー	5-2
タッチスクリーン	5-8
ラゲッジルーム	5-15
ルームランプ	5-17
インテリア	5-19
ConnectedCAM™	5-22

## 第6章 お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ	6-2
内装のお手入れ	6-2
エンジンルームの点検	6-3
電球の交換	6-7
ヒューズの交換	6-12
燃費の改善について	6-13
推奨交換時期	6-14
推奨油脂類	6-15
推奨点検時期	6-15

## もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換	7-2
パンク修理キット	7-7
バッテリーが上がったとき	7-13
けん引されるとき	7-16

## 車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示	8-2
外形寸法	8-3
アクセサリー類	8-4
索引	8-6
付録	8-11

1

2

3

4

5

6

7

8

## 安全のために

重大な事故や車両火災におよぶおそれのある内容と回避方法、一般的な注意事項などについて記載してあります。重要な内容ですので、必ずお読みください。

### 点検整備のお願い

#### 点検整備を必ず実施してください

- ・車を安全に使用していただくため、お客様の責任において日常点検と法定定期点検の実施が法律で義務付けられています。点検内容については、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- ・日常点検を行い異常があるときは、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。(音、振動、臭い、水・油漏れなど)

### 走行する前の注意

#### 燃えやすいものは積まないでください

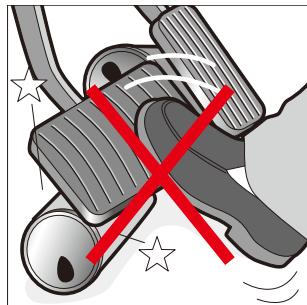
- ・燃料が入った容器や可燃性のガスが入ったスプレー缶などは積まないでください。炎天下の駐車で室内が高温になったときや万一のとき、引火や爆発するおそれがあります。



# 安全なドライブについて

## 運転席足元・運転席下にはものを置かないでください

- 空き缶などを置くと、ブレーキペダルやアクセルペダルに挟まり、走行中にペダル操作ができなくなるおそれがあります。思わぬ事故につながりますので、絶対に行わないでください。



## フロアマットはしっかりと固定して使用してください

- 運転前にフロアマットが正しく取り付けられていることを点検してください。また、フロアマットを重ねて敷くことはしないでください。フロアマットがペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがあります。

## スピードメーターの速度の単位は必ずkm/h表示を使用してください

- 誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ダッシュボードなどにものを取り付けたり、置かないでください

- ダッシュボードなどにものを置いたまま運転すると、視界の妨げや移動して安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- また、アクセサリー品を取り付けたり、シールを貼り付けると、エアバッグ作動の妨げやエアバッグ作動時にアクセサリー品が飛ばされて、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。



## 荷物は確実に固定してください

- 助手席や後席に荷物を積むと、急ブレーキのときなど荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。荷物はできるだけラゲッジルームに積み、アクセサリー品（オプション）のネットやベルトを使用して固定してください。
- 荷物の積み重ねによる後方視界の妨げがないようにしてください。

# 安全なドライブについて

## 燃料補給時の注意

### 指定以外の燃料を使用しないでください

- ・燃料は無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリンを給油してください。
- ・有鉛ガソリンや粗悪なガソリン、指定以外の燃料（軽油、高濃度アルコール含有燃料など）を給油すると、エンジンなどに悪影響を与えますので使用しないでください。

### 燃料補給時には次のことをお守りください

セルフ式のガソリンスタンドで給油するときは、十分に注意して給油してください。

1. エンジンは必ず止めて、ドアやウィンドウを閉めます。タバコなどの火気は近付けないでください。
2. フュエルリッド、フュエルキャップを開けるなどの給油作業を行う前に、車体や給油機などの金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。  
身体に静電気が帯電していると、放電による火花で燃料に引火し、やけどをするおそれがあります。また給油口には、身体の静電気を除去した方以外の人を近付けないでください。
3. フュエルキャップは、何度かに分けて開き、燃料タンク内の圧力を少しづつ下げるからはずします。  
フュエルキャップが「シュー」と音を出すときは、その状態で鳴り止むのを待ってから開けます。いっさに開けると、燃料が給油口から噴き返して、傷害を受けたり火災になるおそれがあります。
4. 給油作業中は、車内に戻ったり、帯電している人やものに触れないでください。再び帯電するおそれがあります。
5. 燃料を車体にこぼさないように注意してください。塗装面を傷めるおそれがあります。
6. 給油時に気化した燃料を吸い込まないように注意してください。燃料の成分には、有害物質を含んでいるものがあります。
7. 給油後は、フュエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。
8. その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

# 安全なドライブについて

## 走行するときの注意

走行中はエンジンを止めたり、キーを抜いたりしないでください（イグニッションスイッチ）

- ・走行中にエンジンを止めると、ブレーキ倍力装置やパワーステアリングが働きません。そのためにブレーキの効きが悪くなり、ハンドル操作も重くなるために思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・走行中にキーを抜くと、ハンドルがロックされてハンドル操作ができなくなります。非常に危険なので、絶対に行わないでください。

走行中はSTART/STOPスイッチを押さないでください  
(START/STOPスイッチ)

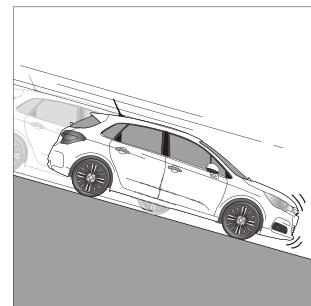
- ・走行中に START/STOP スイッチを押し続けるとエンジンが停止して、ブレーキ倍力装置が働きません。  
そのためブレーキの効きが悪くなり、ハンドル操作も重くなるために思わぬ事故につながるおそれがあります。非常に危険なので、絶対に行わないでください。

長い下り坂ではエンジンブレーキ\*を併用してください

- ・ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。坂の勾配に応じて、適切なレンジを選択し、エンジンブレーキを併用してください。

\* エンジンブレーキ

走行中にアクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ



# 安全なドライブについて

## 車を移動するときはエンジンをかけてください

- エンジンがかからっていないときは、ハンドルやブレーキの操作力の補助がなくなり、ハンドルが重くなったりブレーキの効きが悪くなります。また、ステアリングロック装備車は、ハンドルがロックされて操作ができなくなることもあります。車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。車を押したり傾斜を利用して車を移動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ブレーキペダルに足を乗せたまま走行したり、パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください

- ブレーキパッドが早く摩耗したり、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください

- ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を、運転中に操作することは法律で禁止されています。
- ハンズフリーであっても注意力が散漫になり、事故の原因につながるおそれがありますので、車を安全な場所に停車して使用することをお勧めします。



## カーナビゲーションシステムなどの操作は停車時に行ってください

- 運転中にカーナビゲーションシステムなどを操作しないでください。操作は安全な場所に停車して行ってください。

# 安全なドライブについて

## 雨天の走行は次のこと注意してください

- 濡れた路面では、タイヤのグリップが低下して滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけ、急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避けてください。
- わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、ハイドロプレーニング現象\*を起こしてハンドル操作やブレーキが効かなくなります。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起きやすいので注意してください。

### \* ハイドロプレーニング現象

水たまりを高速で走行しているときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、車がコントロールできなくなる現象。

- 水たまり走行後や洗車後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪いときは、周囲の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで繰り返しブレーキペダルを軽く踏んでください。

## 冠水した道路の走行は避けてください

- 冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、水を吸い込んでのエンジン破損などの車両故障につながるおそれがあります。



やむを得ず冠水した道路を走行するときは次のことをお守りください。ただし、冠水した道路の水面が15cmを超えるような場合は走行しないでください

- ・ストップ＆スタートを解除する
- ・エンストしない程度に速度を落とし、時速10km以上で走行しない
- ・車を停止したり、エンジンを停止したりしない

冠水した道路から脱出したら、できるだけ早く安全な場所で、ブレーキペダルを軽く数回踏み、ブレーキの湿りを乾かしてください。車の状態に不安がある場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

# 安全なドライブについて

## 霧で見えにくいときはフォグランプを併用してください

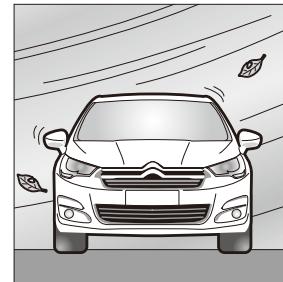
- 霧で視界が悪いときは、昼間でもヘッドライト（下向き）とフォグランプを点灯して、周囲の車や歩行者に車の存在を知らせてください。走行は、センターライン、ガードレール、前の車のテールランプを目安にして十分な車間距離をとってください。
- オートライトシステムは、周囲が明るい昼間はヘッドライトが点灯しません。手動で点灯してください。

## 雪が降っているときの滑りやすい路面に注意してください

- 雪道や路面が凍結しているときは、非常に滑りやすくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。冬用タイヤまたはタイヤチェーン／ネットを使用していても急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避け、十分な車間距離をとり低速で走行してください。

## 横風が強いときに走行が乱れないように注意してください

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかりと握り、速度を徐々に下げてください。
- 特にトンネルの出口、橋や土手の上、大型車の追い越しや追い越されたときなどには、横風の影響を受けやすいので注意してください。



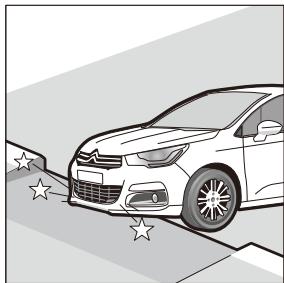
## 高速道路に入る前には燃料などの確認をしてください

- 燃料は十分に給油してあるかを確認してください。
- タイヤの空気圧を確認してください。空気圧不足で高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するおそれがあります。
- 万一のために、停止表示板（停止表示灯）を車に用意しておいてください。（法律で義務付けられています。）

## 安全なドライブについて

### 段差ではフロントスポイラーのこすれに注意してください

- ・段差のある場所は、速度を落としてゆっくりと進んでください。路面の状態によっては、フロントスポイラーがこすれることができます。
- ・フロント側から進入すると車止めにこすれたり当たることがありますので注意してください。



### 車を後退させるとときは周囲に注意してください

- ・バックミラーには確認できない死角があります。車を後退させるとときは、前もって車から降りて後方の人や障害物を確認してください。

# 安全なドライブについて

## お子さまを乗せるときの注意

### お子さまは後席に座らせてください

- ・お子さまを助手席に乗せないでください。走行中にお子さまの動作が気になったり、運転装置へのいたずらなど事故につながるおそれがあります。
- ・また、万一の事故などで助手席のSRSエアバッグが作動したときに、ケガをするおそれがあります。

### お子さまにもシートベルトを着用させてください

- ・お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを膝の上に抱いての乗車は、絶対にしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときにお子さまを支えることができず、ケガをするおそれがあります。シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨にかかるなどで正しく着用できない小さなお子さまには、ベビーシートやチャイルドシートを使用してください。



# 安全なドライブについて

## チャイルドシートは後席に正しく取り付けてください (→P. 1-10)

- ・チャイルドシートの使用は6歳未満のお子さまに法律で義務付けられています。6歳以上のお子さまでもシートベルトが正しく着用できないときは、チャイルドシートを使用してください。お子さまの安全のため、短時間の走行でも身体に合ったシトロエン純正品のベビーシートやチャイルドシートを使用してください。
- ・取り付け方法は、シートに付属している取扱説明書に従って後席に正しく取り付けてください。乳幼児用のベビーシートは進行方向に対して後ろ向きに、チャイルドシートは前向きに取り付けてください。
- ・やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、助手席の位置を一番後ろに移動して前向きに取り付けてください。ベビーシートタイプで後ろ向きに装着するときは、助手席エアバッグキャンセルスイッチをOFFにしてください。衝撃でケガをしたり、最悪の場合死亡するおそれがあります。キャンセルスイッチがない車では、進行方向に対して後ろ向きに装着しないでください。
- ・シトロエン純正のベビーシート、チャイルドシートの詳細については、シトロエン販売店にお問い合わせください。

## ドア、ウィンドウなどの開閉は大人が操作してください

- ・ドアやウィンドウなどの開閉は、お子さまに操作させないでください。開閉時に手や首、足などを挟み、思わぬケガをするおそれがあります。また、同乗者が操作するときも十分に注意してください。
- ・後席にいるお子さまが操作できないように、リアドアのパワーウィンドウが作動しなくなるキャンセルスイッチや、室内からリアドアを開けられなくなるチャイルドセーフティを必ずご利用ください。

## ウィンドウから手や顔を出さないでください

- ・急ブレーキ時に窓枠にぶつけたり、車外の障害物に当たったりして、思わぬケガをするおそれがあります。

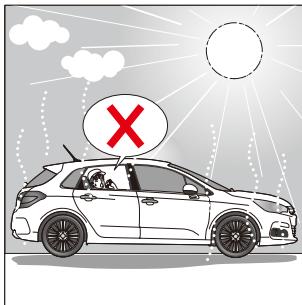
## シートの可動部分に気をつけてください

- ・お子さまが、リアシートやフロントシートの隙間に手を入れたり、可動部分に触れたりして思わぬケガにつながるおそれがあります。同乗者の方が十分に注意をしてください。
- ・走行中は必ずベビーシートやチャイルドシートに座らせるか、シートベルトをさせてください。

# 安全なドライブについて

## お子さまだけを車内に残さないでください

- ・車から離れるときは、エンジンを止め、キーを携行して必ずお子さまも一緒に降ろしてください。
- ・お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・炎天下の車内は 50°C 以上の高温になり、脱水症状、熱射病などの生命の危険に関わるおそれがあります。



## 駐停車するときの注意

### 燃えやすいものや植え込みに注意してください

- ・紙や枯草、木材などの燃えやすいものの上や近くには駐停車しないでください。特に走行後の排気管や排気ガスは高温になるため引火するおそれがあります。
- ・車両後方に燃えやすいものや植え込みがあるときは、車両後端から十分に距離を取って駐車してください。すき間が少ないと、排気ガスによる変色や着火、生育への悪影響につながるおそれがありますので、車の向きも配慮してください。

### ハンドルをいっぱいに回した状態を続けないでください

- ・車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがありますが異常ではありません。

# 安全なドライブについて

## 車から離れるときはエンジンを止め、施錠してください

- ・シフトレバーをPにし、パーキングブレーキをかけ、エンジンを止めてドアを施錠してください。無人で車が動き出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。坂道では、シフトレバーをPにし、状況に応じてタイヤに輪止めをしてください。
- 貴重品を車内に残さないでください。施錠しても盗難につながるおそれがあります。
- ・お子さまや介護の必要な方だけを車内に残さないでください。車の発進や車内の高温／低温による思わぬ傷害などが発生するおそれがあります。

## 炎天下での駐車時は、ライター、スプレー缶、炭酸飲料などを車内に放置しないでください

- ・車体やシート、ステアリングなどが高温となり、やけどをするおそれがあります。駐車後に乗車されるときは注意してください。
- ・車内にお子さまやペットなどを乗せたまま車から離れることは、絶対におやめください。車内の温度が50℃を超えることもあります、大変危険な状態になります。
- ・ライターやスプレー缶、炭酸飲料などは、自然発火や破裂を起こすおそれがあります。車内に放置しないでください。
- ・ガスライターを床やシートのすき間に落としたままにすると、シートを動かしたときに着火して火災につながるおそれがあります。
- ・メガネをダッシュボードなどに置いたままにすると、変形やひび割れのおそれがあります。また、レンズにより火災を起こすことがあります。危険です。

## 仮眠するときは必ずエンジンを止めてください

- ・無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして車が発進するおそれがあります。
- ・エンジンや排気管の異常過熱による火災が発生するなどの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・車内で仮眠するときは、エンジンを止め、助手席または後席でしてください。
- ・排気管が損傷していたり、風向きや風通しの悪い場所では、排気ガスが車内に侵入し一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



## エンジンルーム内に可燃物を放置しないでください

- ・エンジンルーム内に燃えやすい物を置き忘れないように注意してください。引火のおそれがあります。
- ・車両を長時間使用しなかった場合は、小動物や鳥類に持ち込まれた小枝などがないことを確認してください。もし走行中に焦げた臭いを感じたときは、直ちに停車して確認してください。

# 安全なドライブについて

## 走行中に異常を感じたとき

警告灯が点灯・点滅したときは、直ちに停車して適切な処置をしてください

- 走行中に警告灯が点灯や点滅したときは、直ちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。（「第4章 メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた」を参照）  
そのまま走行すると故障の原因になるだけでなく、重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行中は車の状態に気を配り、いつもと異なる音や臭い、振動などを感じたときは、直ちにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
- 故障などでやむを得ず路上に停車するときは、ハザードランプの他に停止表示板を使用して、他の車両に停止していることを知らせてください。

走行中に床下やタイヤなどに大きな音や衝撃を感じたときは車の下部を点検してください

- 直ちに安全な場所に停車し、車の下部を点検してください。ブレーキ液や燃料の漏れ、サスペンション部品、タイヤ関係、駆動系部品などの変形や損傷は、そのまま使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。漏れや損傷を見つけたときは、運転を中止してシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

## 走行中にタイヤがパンクやバーストしたときは、あわてずに安全な場所に停車してください

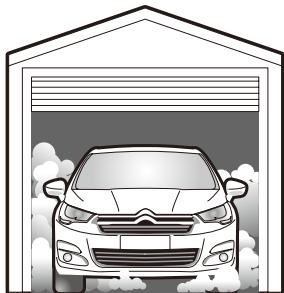
- 走行中、タイヤに異常があったときは、あわてずにハンドルをしっかりと握り、徐々に速度を下げて安全な場所に停車してください。  
急ブレーキや急ハンドルは、車のコントロールができなくなるおそれがあります。

# 安全なドライブについて

## 排気ガスについての注意

換気が悪い場所や屋内ではエンジンをかけたままにしないでください

- ・車庫や屋内などの換気が悪い場所では、排気ガスが充満しやすいのでエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭の有害な一酸化炭素が含まれており、吸い込むと排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な障害におよぶか死亡につながるおそれがあります。
- ・排気管に腐食などによる穴や亀裂がないかをときどき点検してください。走行中に排気ガスが車内に侵入するおそれがあります。



車内で排気ガスの臭いがしたら次のことをしてください

- ・直ちにすべてのウィンドウを全開にする。
- ・エアコンの内外気の切り替えを外気にして風量を最大にする。
- ・すみやかにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。  
放置すると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

- ・降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

## シート位置についての注意

### 走行する前に、正しい運転(乗車)姿勢がとれるシート位置に設定してください

- ・運転操作を誤り思わず事故につながるおそれがあります。
- ・万一衝突したときにシートベルトやSRSエアバッグ、ヘッドレストなどの乗員保護装置の効果が軽減されて、重大な傷害を受けるおそれがあります。



- ・前後位置および高さは、各ペダルが楽に踏めるシート位置を調節し、腿はシートクッションに乗るようにします。運転中は右足をアクセルペダルに、左足をフットレストに置きます。
- ・バックレストの角度は、楽に支えられるよう調節します。シートベルトの効果を発揮させるため、バックレストを倒しすぎないようにしてください。
- ・ヘッドレストが安全装置としての役割を果たせるよう、上面の高さが乗員の頭頂部と同じ高さかそれ以上になるように調節します。これができない場合、ヘッドレストを一番高い位置に上げて使用してください。

- ・ステアリングホイールは、ハンドルを握ったときにひじが伸びきらず、少し曲がっている状態で、インストルメントパネルが見やすい位置に調整します。
- ・後方が確実に確認できるように、ドアミラー、バックミラーを正しく調整してください。

### 走行中はバックレストを倒しすぎないようにしてください

- ・急ブレーキをかけたときや万一衝突したときにシートベルトなどの乗員保護装置の効果が十分に発揮されず、身体がシートベルトの下に潜り込んだり、シートベルトが首にかかり傷害を受けるおそれがあります。

## シートベルトについての注意

### シートベルトは正しく着用してください

- 乗車した全員が正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しなかったり、正しく着用していないと、万一衝突したときにプリテンショナー\*、フォースリミッター\*\*付きシートベルト、エアバッグなどの乗員保護装置の機能が適切に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

\* プリテンショナー

前方からの強い衝撃を受けたときに、瞬間にシートベルトを引き込み身体を固定して乗員保護装置の効果を高める装置。

\*\* フォースリミッター

シートベルトに一定以上の衝撃を受けたときに、身体にかかる衝撃を減少させる装置。

### 損傷のあるシートベルトは直ちに交換してください

- 損傷したシートベルトを使用すると、衝突したときなどに十分な効果を発揮できず、重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトやプレートを、シートやドアに挟まないでください。傷が付くおそれがあります。
- 万一重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見受けられなくても、シート、シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付きシートベルトの取りはずしや交換・廃棄はシトロエン指定サービス工場以外では行わないでください。

### 妊娠中の方や疾患のある方も必ずシートベルトを正しく着用してください

- 医師に注意事項をご確認ください。
- 腰部ベルトが腹部にかかるないように、腰骨のできるだけ低い位置にしてください。また、肩部ベルトは腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。

# 安全装置について

## SRSエアバッグについての注意

- ・SRSエアバッグシステムは（SRS = Supplemental Restraint System）補助拘束のことです。
- ・SRSエアバッグは、センサーが一定以上の衝撃を感知したときにのみ作動します。衝突などで車が大きく変形しても、衝撃吸収ボディ構造により衝撃が段階的に吸収されたときは、SRSエアバッグが作動しないことがあります。

## フロントエアバッグの効果は正しい姿勢とシートベルトとで発揮します

- ・SRSエアバッグシステムはシートベルトを補助するシステムで、シートベルトに代わるものではありません。このシステムはシートベルトを必ず着用してください。
- ・シートに正しく座りシートベルトを正しく着用していないと、衝突などで身体が前方に放り出されたときにSRSエアバッグシステムがふくらみ、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・運転者とステアリングホイールとの間には、適当な距離を確保してください。あまり近すぎると、エアバッグの効果が低下したり、エアバッグそのものでケガを負うおそれがあります。
- ・ステアリングホイールは、9時と3時の位置を外側から両手で持ってください。他の位置（12時の位置や真ん中、内側）を持つと思わぬケガにつながったり、エアバッグが作動した際に重大なケガを負うおそれがあります。

## フロントエアバッグは車両前方からの衝撃を緩和します

- ・SRSフロントエアバッグは、イグニッションがオンのときに車両前方から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を緩和するシステムです。

## フロントエアバッグの保護性能が発揮されるために次の点に注意してください

- ・運転者が顔や胸をステアリングに近付けすぎると、SRSエアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい運転姿勢で座り、ステアリングに近付きすぎないようにしてください。
- ・助手席に乗車する人は、シート前端に座ったり、ダッシュボードに足を乗せていたりすると、SRSエアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい乗車姿勢で座り、ダッシュボードに近付きすぎないようにしてください。

## エアバッグの近くにものを置いたり、ステッカーなどを貼り付けないでください

- ・ステアリングを交換したり、ステアリングのパット部にステッカーなどを貼り付けないでください。
- ・助手席側エアバッグの周辺（ダッシュボード）にカー用品や芳香剤を置いたり、傘などを立てかけないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされて、ケガをするおそれがあります。



# 安全装置について

## SRS サイドエアバッグ／カーテンエアバッグについての注意

- SRS サイドエアバッグ／カーテンエアバッグは、車両側面から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を分散、緩和させる乗員保護装置です。

## サイドエアバッグ／カーテンエアバッグは車両側面からの衝撃を緩和します

- サイドエアバッグは、前席のバックレスト側面（ドア側）に収納されています。カーテンエアバッグは、ドアピラー部から天井にかけて収納されています。
- シートの側面周囲には、ものを置かないでください。
- シートにシートカバーや上着をかけたり、ベルトを巻きつけないでください。

ドアやサイドエアバッグの近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けないでください

- SRS サイドエアバッグ収納部の近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり、ステッカーなどを貼らないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされてケガをするおそれがあります。



## ドアやウィンドウにもたれかからないでください

- SRS サイドエアバッグ収納部に手、足、顔を近付けたり、ドアやウィンドウにもたれかかるような姿勢でシートに座らないでください。エアバッグがふくらむときに強い衝撃を受け、非常に危険です。

## ABSとESC／ASRについての注意

ABS(アンチロックブレーキシステム)を過信しないでください

- ・ ABSはAntilock Brake Systemの略で、急ブレーキをかけたときに車輪がロックするのを防ぎ車の操縦性を確保しようとする装置で、制動距離を短くするための装置ではありません。
- ・ 次のような路面では、ABSなしの車よりも制動距離が長くなることがあります。速度は控えめにして車間距離を十分にとってください。
  - ・ 砂利道や雪道、凍結路などを走行しているとき
  - ・ タイヤチェーン／ネットを装着しているとき
  - ・ 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
  - ・ 石だたみなどの悪路を走行しているとき

ESC／ASR(エレクトロニクスタビリティコントロール／トラクションコントロール)を過信しないでください

- ・ ESCシステムは、滑りやすい道路での旋回時などに、車の動きと運転者が意図するコースとに著しい差が発生したとき、自動的にブレーキやエンジンの出力を制御して車の走行安定性を確保しようとするシステムです。
- ・ ASRは滑りやすい道路での発進や急加速時に生じる空転を防ぎ、車の走行安定性を向上させようとするシステムです。
- ・ ESC／ASRが作動した状態でも、車の走行安定性には限界があります。ESC／ASRを過信せずに速度を下げて、車間距離を十分にとって安全運転を心がけてください。

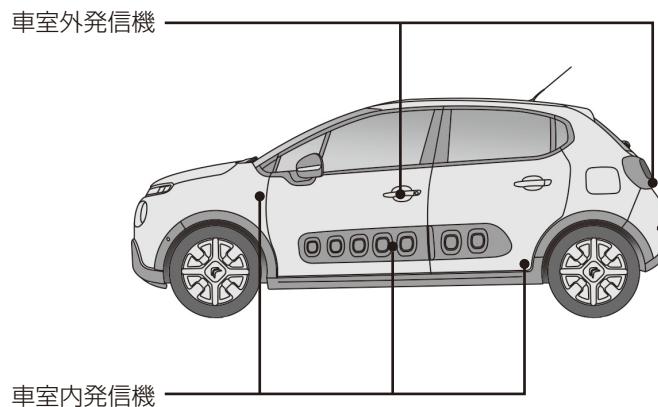
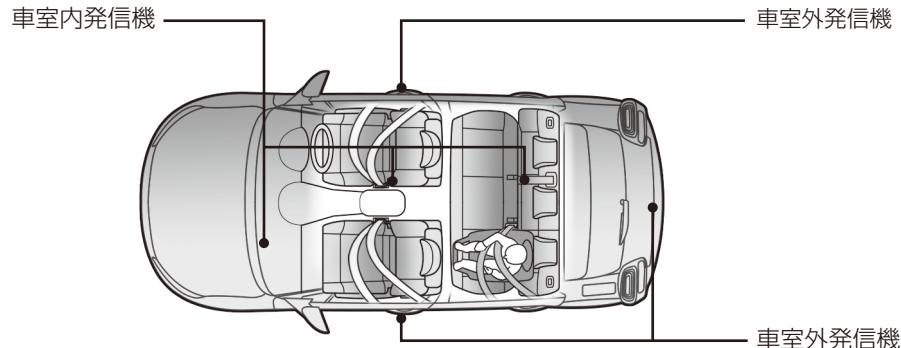
## スマートキーについての注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、スマートキー検知用の車室内発信器・車室外発信器から約22cm以内に近付かないようにしてください

- ・ 電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- ・ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

## 運転装置について

### アンテナ位置



# 運転装置について

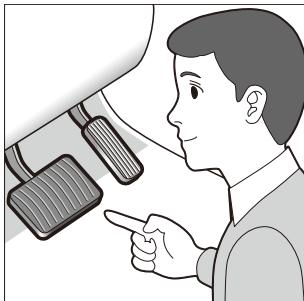
## オートマチック車についての注意

### クリープ現象に注意してください

- ・クリープ現象とは、エンジンがかかっているときにシフトレバーを P または N 以外にすると、アクセルペダルを踏まなくとも車が動き出すことです。
- ・停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・特にエンジンの始動直後やエアコン作動時のエンジン回転が上がっているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

### ブレーキとアクセルのペダル位置に注意してください

- ・ペダルの踏み違いは、思わぬ事故につながります。エンジンをかける前にペダルの位置を確認してください。
- ・また、アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



### 発進前／停車後のシフトレバーの操作はブレーキを踏んでください

- ・エンジンをかけるときはシフトレバーが P にあることを確認し、ブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
- ・シフトレバーの操作は、エンジン始動直後やエアコン作動時などはクリープ現象が強くなるので、特にしっかりとブレーキペダルを踏んで行ってください。
- ・発進時のシフトレバーの操作は、ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで行ってください。急発進して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### アクセルペダルはゆっくり踏んでください

- ・アクセルペダルを急激に踏み込むと、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 走行中はギアをNに入れないでください

- ・走行中にシフトレバーを N にすると、エンジンブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・オートマチックトランスミッション内のオイルの潤滑が悪くなり、故障するおそれがあります。

# 運転装置について

## 後退した後はギアをNに戻してください

- ・後退した後は、すぐシフトレバーを **R** から **N** に戻す習慣をつけてください。

## シフトレバー位置は目で確認してください

- ・エンジンをかけるときは **P**、前進するときは **D**、後退するときは **R** にあることを目で確認してください。

## 追い越しにはキックダウンを利用してください

- ・**D** または **2速以上(マニュアルシフトポジション)** で走行中に、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと自動的に低速ギアに切り替わり、急加速が得られます。
- ・滑りやすい路面や急カーブなどでは使用しないでください。イヤガスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 駐車はシフトレバーをPに入れてください

- ・駐車するときはシフトレバーを **P** にして、パーキングブレーキをしっかりとかけてください。クリープ現象などで無人で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込み、急発進したりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 無用な空ぶかしはしないでください

- ・万一、シフトレバーが **P**、**N** 以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## クルーズコントロールについての注意

クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをオフにしてください。

誤ってクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ストップ & スタートについての注意

車から離れるときは、必ずイグニッションをオフにしてキーを携行してください。ストップ&スタート機能が作動していると、シートベルトをはずしたりドアを開けたときに自動的にエンジンが始動して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## オーバーヒートについての注意

### オーバーヒートの症状について

- ・ 次のような症状が現れるとともに、インストルメントパネルのSTOP警告灯が点灯します。
- ・ 冷却水温度計がレッドゾーンに入ったり、エンジンの出力が急に低下する。
- ・ ボンネット（エンジンルーム）から蒸気が出てくる。

### オーバーヒートの対応について

- ・ ボンネットから蒸気が出ているときは、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどをするおそれがあります。
- ・ 冷却水温度が下がるまで、冷却水タンクのキャップを開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出して、やけどをするおそれがあります。
- ・ オーバーヒートを起こしたまま走行を続けると、エンジンなどに重大な損傷を起こすおそれがあります。安全な場所に停車し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

## 故障したとき／事故が起きたときの注意

### 走行中に路上で故障したとき

- ・ 一般道では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、非常点滅灯を点滅させます。必要に応じて、車の後方に停止表示板を置いてください。
- ・ 高速道路や自動車専用道路では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、車内の乗員を安全な場所に避難させてください。次に非常点滅灯を点滅させ、車の後方に停止表示板を置いて（法律で義務付けられています）ください。

### 路上で動けなくなったとき

- ・ 車を移動するときは、シフトレバーをNにしてパーキングブレーキを解除し、安全な場所へ移動させてください。

### 踏切内で動けなくなったとき

- ・ 同乗者や付近の人に協力してもらい安全な場所まで押してもらってください。車を移動するときは、イグニッションをオンにして、シフトレバーをNにしてパーキングブレーキは解除します。
- ・ 車を移動できないときは、乗員を安全な場所へ避難させ、直ちに踏切警報機に設置してある非常ボタンを押します。緊急を要するときは、保安炎筒を使用して列車に車が踏切内に停車していることを知らせます。

## 事故が起きたとき

- ・ 事故が起きてしまったときは、あわてずに次の処置をとります。
- 1. 続発事故を防ぐために、他の交通の妨げにならない安全な場所へ車を移動し、エンジンを止めます。
- 2. 負傷者がいるときは、救急車の出動を要請するとともに負傷者に応急手当を行います。  
ただし、頭部を負傷しているときは動かさないようにしますが、続発事故のおそれがあるときは安全な場所へ避難させます。
- 3. 警察に連絡します。  
事故が発生した場所、事故状況、負傷者の有無、負傷の程度を報告し、指示を受けてください。
- 4. 事故の相手があるときは、相手側の氏名や住所、電話番号、自動車保険の番号などを確認してください。
- 5. 車をご購入された販売店と保険会社に事故状況をご連絡ください。

## 盗難についての注意

### キーは必ず携行してください

- ・車から離れるときは、必ずエンジンを停止し、キーを携行してください。
- ・また、スペアキーを車内に置いたり、バンパーや車体の一部に貼り付けておくことは、盗難のおそれがありますので絶対におやめください。

### ドア、ウィンドウを確認してください

- ・車から離れるときは、すべてのドアが正しくロックされていることを確認してください。また、ウィンドウもきちんと閉じているかを確認してください。

### 路上駐車は絶対におやめください

- ・短時間の駐車でも、いたずらや盗難を防ぐために違法な路上駐車を避け、明るく管理の行き届いた駐車場に入ることを心がけてください。

### 車内に現金や貴重品は絶対に置いたままにしないでください

- ・現金や貴重品、携帯電話、バッグ、上着などを車内に置いたまま車を離れないでください。

## こんなことにもご注意を

### 車の改造は禁止されています

- ・車の改造やシトロエン純正部品以外の使用は、車の性能が十分に発揮できないだけでなく、思わぬ事故の原因につながるおそれがあります。また、保証の適用外になるだけでなく、故障の原因になることがあります。
- ・電気品や無線機などの取り付け、取りはずしは、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。  
取り付け、取りはずしが適切でないと、電子機器部品に悪影響をおよぼすだけでなく、故障や火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ハンドルの取りはずしや交換は、絶対に行わないでください。ハンドルにはSRSエアバッグが内蔵されていますので、正常に作動しなかったり不意に作動して思わぬ事故になるおそれがあります。

### タイヤ、ホイールは指定サイズを使用してください

- ・タイヤ、ホイールは指定された規格の製品を使用してください。指定以外の製品を装着すると、ブレーキシステムに悪影響をおよぼしたり、走行安定性を損なうおそれがあります。
- ・交換はシトロエン指定サービス工場で行ってください。

## そ の 他

### ウィンドウにアクセサリーを取り付けないでください

- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けると、視界の妨げになったり、走行中に飛んでケガをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセサリーの吸盤がレンズの働きをして、火災を起こすことがあり危険です。



### 夏季はバッテリー上がりが起きやすくなります

- 電装品の使いすぎは、バッテリー上がりにつながります。特に夏季は、エアコンなどの電装品の使用が増えますのでバッテリーにも負担がかかります。渋滞時の走行では充電量が不足してバッテリー上がりを起こしやすくなりますのでこまめな点検と早めの交換を心がけてください。

### 冬季はタイヤの滑り止めや解凍剤などをご用意ください

- 冬季のトラブルを軽減するために、冬用タイヤチェーン／ネットや解凍剤などの準備およびバッテリーの点検を行っておくことをお勧めします。詳しくはシトロエン指定サービス工場にご相談ください。
- 積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬用タイヤを装着してください。  
冬用タイヤに交換するときは、必ず指定サイズで同じメーカーの同じ銘柄のものを4輪に装着してください。
- タイヤチェーン／ネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に取り付けてください。
- タイヤチェーン／ネットの装着は、安全な場所に停車し、各取扱説明書に従って確実に取り付けてください。  
装着後は100mくらい走行して、ゆるみや車体に当たっていないかを再度確認してください。
- バッテリーは、気温が低くなると性能も低下します。バッテリーリ液や比重、充電状態を点検してください。
- ウォッシャー液の凍結を防ぐために、夏季よりも混合割合を高くしてください。

### タバコの吸殻の火は消して灰皿へ入れてください

- タバコやマッチなどの火は、確実に消して灰皿へ入れてふたを閉めてください。
- 灰皿の中に吸殻を入れすぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。思わぬ火災につながるおそれがあります。

## オーディオについての注意

このオーディオは Bluetooth® の機能を備えています。植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、オーディオから約 22cm 以内に近付かないようにしてください

- ・ 電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- ・ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

## 第1章 安全に運転するために

フロントシート	1-2
ミラー	1-4
リアシート	1-5
シートベルト	1-7
チャイルドシート	1-10
エアバッグ	1-18
走行する前に	1-23
使用燃料について	1-23
冬季の取り扱い	1-23
保安炎筒	1-25
触媒コンバーター	1-25

## フロントシート

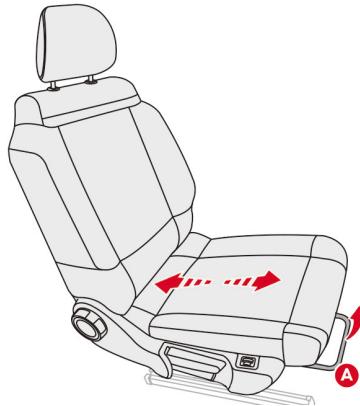
### △警告

- 運転席のシート調整は、安全のため停車中に行ってください。
- レバーの操作は正しい位置で行い、シートやバックレストの移動で指などを挟まないようにしてください。

#### ●フロントシートの調整

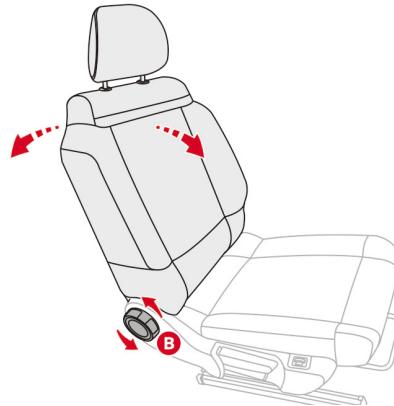
##### 前後調整

レバー A の中央部を引き上げたままシートを前後に動かします。レバーを放すとその位置で固定されます。



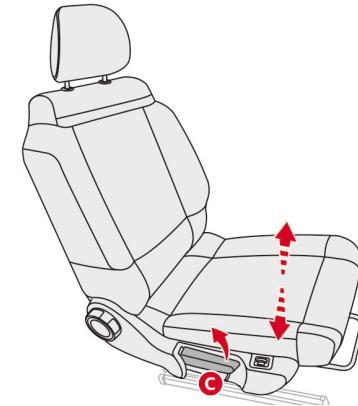
##### バックレストの角度調整

ダイヤル B を回してバックレストの角度を調整します。



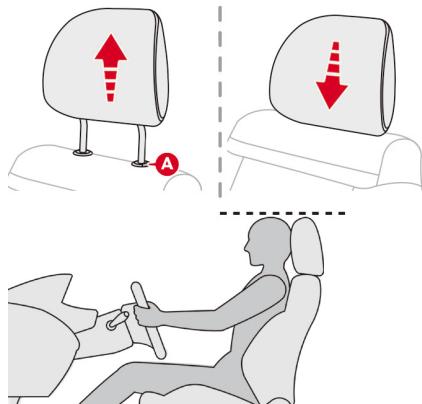
##### 高さ調整（運転席）

レバー C を上下に動かして高さを調整します。



## ●ヘッドレストの高さ調整

調整は、ヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うようにします。



### 高さ調整

ヘッドレストを引き上げると上がります。  
ラグ A を押しながらヘッドレストを押す  
と下がります。

### ヘッドレストの脱着

1. ヘッドレストを最上の位置に移動し  
ます。
2. 根元のラグ A を押しながら引き上  
げます。
3. ヘッドレストを戻すには、ヘッドレ  
ストの支柱をシートの穴に合わせて  
押し込みます。

## ⚠ 警告

●ヘッドレストは衝突の際にはずれな  
いように、支柱によって支えられてい  
ます。

●高さはヘッドレストの上端と前席乗  
員の頭の上が揃うように調整してく  
ださい。

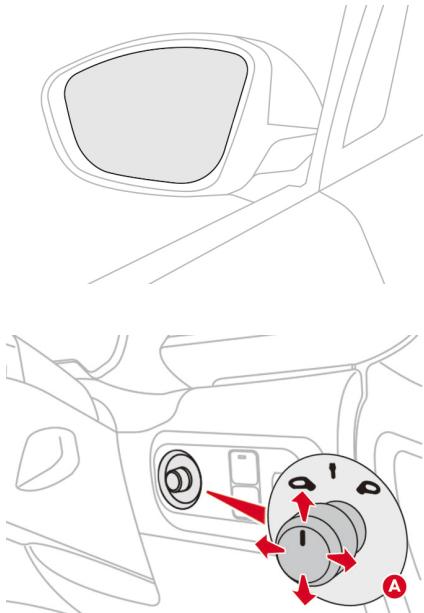
●ヘッドレストをはずして運転しない  
でください。

# 安全に運転するために

1

## ミラー

### ●電動ドアミラー



調整するミラーに合わせて、スイッチ A を左側または右側に回します。  
ミラーは上下左右に角度が変えられます。  
調整が終わったら、スイッチ A を中央の位置に戻します。

#### ドアミラーの格納

スイッチ A を下側に回すと、ミラーが格納されます。

#### ドアミラーの展開

スイッチ A を上側に回すと、ミラーが展開されます。

### △注意

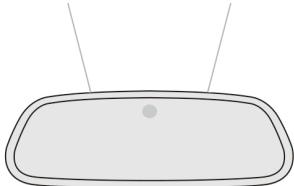
- ミラーで見た距離感覚と実際の車との距離が異なります。車との感覚を判断する際には、この点に十分ご注意ください。
- 電動ドアミラーを手で倒したり、戻したりしないでください。



- 手などを挟まないように、安全を確認してから操作してください。
- スイッチ A を使用してドアミラーを格納した場合は、車を解錠してもドアミラーは復帰しません。スイッチ A を使用してドアミラーを復帰してください。
- スマートキー機能\*、リモコン、またはキー／緊急用キーで施錠または解錠すると、ミラーが自動的に格納または展開されます。この機能をオン／オフするには、タッチスクリーンで設定します。
- ダッシュボードのリアウインドウデフォッガーボタンは、ドアミラーの曇り取りも兼用しています。

\*仕様により異なります。

## ●自動防眩バックミラー



昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドライトがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。なお、シフトレバーをRに入れると、後方視界を確保するために一時的に明るくなります。

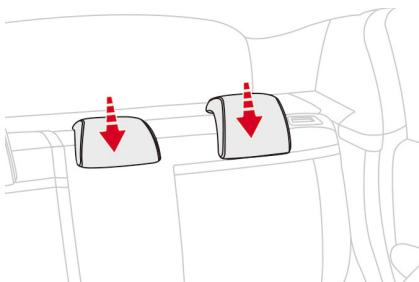
## ⚠ 注意

安全のため、ミラーは後方がよく見える位置に調整してください。

## リアシート

左右分割式のリアシートは折りたたむことができます。

### ● リアシートの折りたたみ



- フロントシートを前にずらします。
- シートベルトが損傷しないようにシートベルトをバックレストの脇に寄せます。
- ヘッドレストを一番下まで下げます。

## ⚠ 警告

リアシートを操作するときは、車を安全な場所に停車させてから行ってください。



- レバー①を手前に引き、バックレスト②のロックを解除します。
- バックレスト②を前方へ倒します。

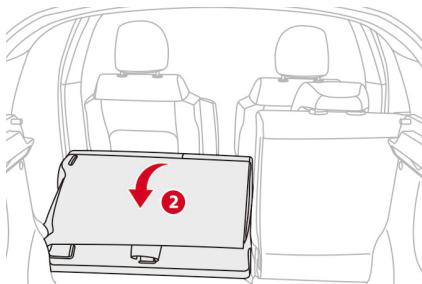
## ⚠ 注意

シートのまわりに障害物がないか確認してください。また、体が挟まれないように十分注意してください。

# 安全に運転するために

1

## ● リアシートの戻しかた

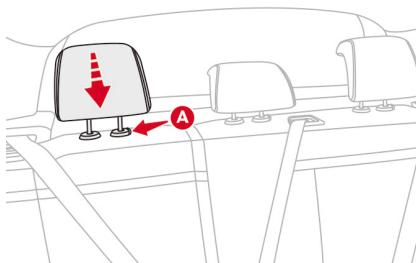


1. バックレスト②を起こして元の位置に戻します。
2. バックレストが確実に固定され、レバー①の赤色が見えないことを確認します。
3. ヘッドレストを元の位置に戻します。

## 注意

リアシートを戻すときは、シートベルトを巻き込まないように注意してください。

## ● リアヘッドレスト



ヘッドレストは2つの高さを選択できます。

### 収納位置

シートを使用していないときは、低い位置にします。

### 通常位置

乗員が乗るときは、安全のためヘッドレストをロックするまで引き上げます。

## ⚠ 警告

リアシートに乗るときは、ヘッドレストを通常位置に調整してください。また、ヘッドレストを取りはずしたまま走行しないでください。事故などのときにケガをする危険性があります。

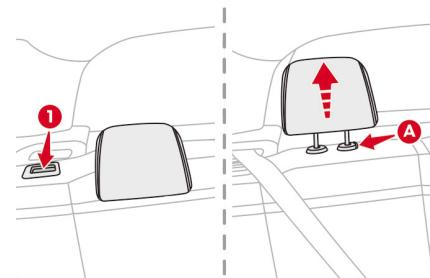
### 上げるとき

ヘッドレストをロックするところまで引き上げます。

### 下げるとき

ラグAを押しながら、ヘッドレストを押します。

### 取りはずし



1. レバー①を手前に引き、バックレストのロックを解除します。
2. バックレストを前方へ少し倒します。
3. ヘッドレストをロックするところまで引き上げます。
4. ラグAを押しながらヘッドレストを取りはずします。

## シートベルト

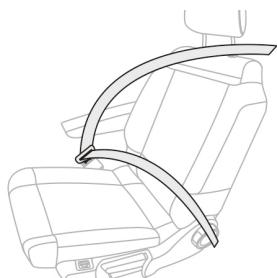
### ● フォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステム

車体が強い衝撃を受けたとき、瞬間にシートベルトを引き込み、身体を拘束する効果を高める装置です。

この機構は、イグニッションがオンのときに作動します。

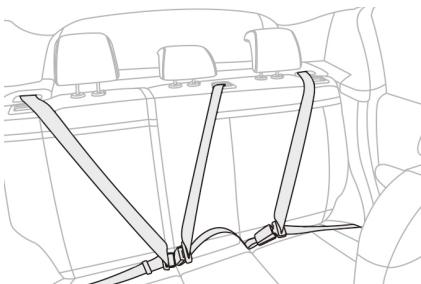
フォースリミッターは、事故の際に身体にかかるシートベルトの衝撃を和らげる働きをします。

### ● フロントシートベルトの着用



水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてプレートを力チッと音がするまでバックルに差し込みます。バックルの赤いボタンを押すとはれます。

### ● リアシートベルトの着用



リアシートベルトは3点式で、両サイドはフォースリミッター付きです。

シートベルトのストラップを引き出し、バックルに差し込みます。ストラップを引っ張って、正常に装着されたかを確認します。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

### ● シートベルトの着用警告



イグニッションがオンのとき、シートベルトを着用していない、または着用していたシートベルトをはずしたときに、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。

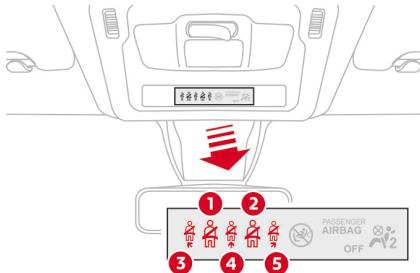
時速20km以上で走行中にシートベルトを着用していないと、約2分間警告音とともに警告灯が点滅します。2分経過後は警告灯のみが点灯します。

上記の警告は、シートベルトを着用すると解除されます。

# 安全に運転するために

1

## ● シートベルト着用／非着用警告ディスプレイ



- ①：助手席側シートベルト警告灯
- ②：運転席側シートベルト警告灯
- ③：後席左側シートベルト警告灯
- ④：後席中央シートベルト警告灯
- ⑤：後席右側シートベルト警告灯

### 運転席／助手席シートベルト警告灯

イグニッションがオンのとき、シートベルトを着用していない、または着用していたシートベルトをはずしたときに、警告灯が点灯します。時速20km以上で走行中にシートベルトを着用していないと、約2分間段階的に変化する警告音とともに警告灯が点滅します。2分経過後は警告灯のみが点灯します。

上記の警告は、シートベルトを着用すると解除されます。

### 後席シートベルト警告灯

イグニッションがオンのとき、シートベルトを着用していない、または着用していたシートベルトをはずしたときに、警告灯が点灯します。

上記の警告は、走行する、またはシートベルトを着用すると解除されます。

## ● 着座検知

助手席の座面に圧力センサーがあり、約35kg以上の重量が加わった状態でシートベルトをはずすと警告灯が点灯します。



助手席に重い荷物を置いて走行する場合は、シートベルトのストラップを引き出してバックルを差し込むと警告灯が点灯しなくなります。

## ⚠ 警告

- 運転席のシート調整は、安全のため停車中に行ってください。
- 乗車中、短時間のドライブといえどもシートベルトを必ず着用してください。
- 妊娠中の女性も必ずシートベルトを着用してください。ただし、医師に注意事項をご確認願います。
- シートベルトは、正しい姿勢で身体に密着させなければ効果がありません。
- バックルを逆にしてバックプレートを差し込まないでください。また、差し込むときには、ねじらないでください。
- シートベルトは、上部を肩にしっかりとかけ、下部は腰骨のできるだけ低い位置にかけてください。
- シートベルトを2人以上で共有しないでください。
- お子さまを膝の上に抱いて走行しないでください。

## ⚠ 警告

- シートベルトの部品をむやみにはずしたり改造しないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってプリテンションシステムを作動させると、ケガをするおそれがあります。
- シートベルトにほつれや傷跡があるようなときは、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。部品交換が必要になることがあります。
- シートベルトを修理、交換する場合はシトロエン指定サービス工場にご相談ください。
- シートベルトプリテンションシステムは、一度しか作動しません。作動後はかならず部品交換が必要になりますので、シトロエン指定サービス工場で整備を受けてください。
- シートベルトプリテンションシステムは、エアバッグとは関係なく作動します。大きな衝撃を受けたときは、シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。



MEMO

- 降車時には、シートベルトを確実に収納させてください。
- シートベルトがロックして引き出せないときは、ベルトを強く引いてから、ゆるめてください。
- シートベルトが汚れた場合は、せっけん水や洗剤で洗ってください。

# 安全に運転するために

1

## チャイルドシート

シトロエンでは、お子さまが乗る場合の安全を十分配慮して車の設計と製造を行っておりますが、お子さまが同乗するときの安全対策については、常に大人の方が十分ご注意いただくようお願いします。

### ⚠ 警告

- 短時間の乗車でも、チャイルドシートとシートベルトを着用してください。  
また、思わぬ事故を防ぐためにも、リアドアのパワーウィンドウが作動しなくなるキャンセルスイッチや、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティをご利用ください。
- 後席のウィンドウは3分の2以上開けないようにしてください。
- お子さまの体格に合った正式に認可されたチャイルドシートを使用してください。適切なチャイルドシートにより、お子さまが守られます。
- お子さまを膝に乗せての運転はしないでください。大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
- お子さまが正しい着座位置に座っていないと、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。また、エアバッグが作動した場合にも、思わぬケガを負うおそれがあります。

### ● 3点式シートベルトを使用したチャイルドシート

新生児から体重13kgまで



このタイプのシートは、体重13kgまでの赤ちゃんに適しています。減速時に首に負担がかからないように、進行方向とは反対向きに取り付けてください。

体重15kgから36kgまで



体重15kg～36kgまでの赤ちゃんにお勧めするタイプです。



## ●チャイルドシートの推奨取り付け位置

以下の表は、お子さまの体重と車のシート形状により、シートベルトを使用してどの位置に一般的なチャイルドシートを取り付けるかを示しています。取り付けは、後ろ向き、前向きともに可能です。

シート		体重グループ			
		13kgまで (グループ0、0+)	9~18kg (グループ1)	15~25kg (グループ2)	22~36kg (グループ3)
助手席	助手席エアバッグ OFF	U	U	U	U
	助手席エアバッグ ON	X	UF	UF	UF
後席左右		U	U	U	U
後席中央		U	U	U	U

※グループ0（10kgまで）の乳児用シェル型チャイルドシートおよびキャリコットは助手席には取り付けられません。

※助手席に取り付ける場合、バックレストを元の位置に戻してください。

※レッグサポート付きのチャイルドシートは後席中央に取り付けられません。

※リアシートに取り付ける場合、前のシートに接触しないように注意してください。前のシートのバックレストを元の位置に戻し、前方へスライドさせて位置を調整してください。

※チャイルドシートを取り付ける際には、車のシートバックに確実に固定されているか確認してください。ヘッドレストを取りはずし、チャイルドシートを確実に固定してください。

※シトロエンでは可能なかぎり、すべてのチャイルドシートにおいてリアシートに設置することを奨励しています。

U：前向きおよび後ろ向きのユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

UF：前向きのユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

X：チャイルドシートは取り付けできません。

## ⚠ 警告

●助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。

●チャイルドシートを取りはずしたら、必ずヘッドレストを取り付けてください。事故などのときにケガをする危険性があります。



チャイルドシートは、メーカーの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

# 安全に運転するために

1

- 助手席へのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）



## 後ろ向きチャイルドシート

後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付けた際、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。助手席の位置は一番後ろ、バックレストは元の位置に戻してください。

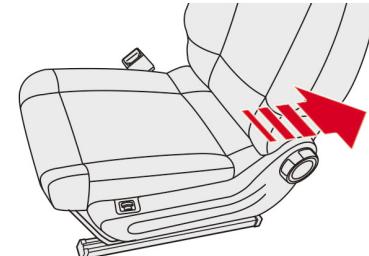
## △警告

後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。



## 前向きチャイルドシート

前向きチャイルドシートを助手席に取り付けた際、助手席の位置は一番後ろ、バックレストは元の位置に戻してください。エアバッグがふくらんだ際の影響を少なくします。

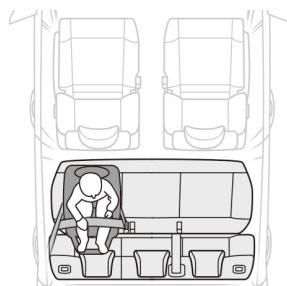


シートの位置は一番後ろです。

## △警告

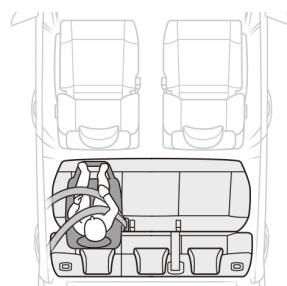
- シートベルトがしっかりと締まっていることを必ず確認してください。
- レッグサポート付きのチャイルドシートは、レッグサポートをしっかりとフロアに接地させてください。必要に応じて、助手席シート位置を調節してください。

- リアシートへのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）



#### 後ろ向きチャイルドシート

後ろ向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、チャイルドシートが前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。



#### 前向きチャイルドシート

前向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、お子さまの足が前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

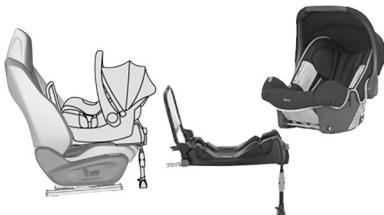
#### △警告

- シートベルトがしっかりと締まっていることを確認してください。
- レッグサポート付きのチャイルドシートは、レッグサポートをしっかりとフロアに接地させてください。
- レッグサポート付きのチャイルドシートは後席中央に取り付けないでください。

# 安全に運転するために

## ● ISOFIX チャイルドシート (シトロエン推奨)

新生児から体重13kg まで



後ろ向きチャイルドシート。高さ調整が可能なバーを備えています。  
3点式のシートベルトで取り付けることも可能です。その場合シェルのみ使用してください。

体重9kg から18kg まで



前向きチャイルドシート、アップアーストラップ付き。

シートの角度を3段階に調節できます。  
3点式のシートベルトで取り付けることも可能です。その場合、お子さまの足が前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

## ● ISOFIX チャイルドシートの推奨取り付け位置

次の表は、ISOFIX チャイルドシートに関し、車内シート位置と一般的に認可された体重グループの関係を示しています（欧州安全規格に基づいています）。ISOFIX ユニバーサルチャイルドシートまたはセミユニバーサルチャイルドシートでは、A～G のアルファベットによる ISOFIX サイズコードがチャイルドシートの“ISOFIX ロゴ”の横に表示されています。

### ⚠ 警告

- 助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートを取りはずしたら、必ずヘッドレストを取り付けてください。事故などのときにケガをする危険性があります。



チャイルドシートは、メーカーの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

		体重グループ							
		10kgまで (グループ0)		10kgまで、13kgまで (グループ0、0+)		9~18kg (グループ1)			
ISOFIXチャイルド シートのタイプ		シェル型		後ろ向き		後ろ向き		前向き	
ISOFIXサイズコード		F	G	C	D	E	C	D	A B B1
助手席*	助手席エア バッグOFF	X		IL-SU		IL-SU		IUF IL-SU	
	助手席エア バッグON	X		X		X		IUF IL-SU	
後席左右		X <sup>*1</sup>		IL-SU <sup>*2 *3</sup>		IL-SU <sup>*2 *3</sup>		IUF IL-SU	
後席中央		X		X		X		X	

\*1 ISOFIX シェル型を取り付ける場合は、リアシート2席分のスペースを利用して、ボトムリングへ固定します。

\*2 サイズコードが C の ISOFIX チャイルドシートを運転席の後ろのシートに取り付けた場合は、運転席の高さを一番上に調整してください。

\*3 サイズコードが C の ISOFIX チャイルドシートを助手席の後ろのシートに取り付ける場合は、助手席の前後位置を一番前に調整してください。

\*仕様により異なります。

IUF : ISOFIX ユニバーサルチャイルドシート（トップベルトを備える ISOFIX 「前向き」チャイルドシート）の取り付けに適しているシート位置。

IL-SU : ISOFIX セミユニバーサルチャイルドシート（トップベルトまたはバーを備える ISOFIX 「後ろ向き」チャイルドシート、バーを備える ISOFIX 「前向き」チャイルドシート、およびトップベルトまたはバーを備える ISOFIX 「シェル型」シート）の取り付けに適しているシート位置。

X:チャイルドシートは取り付けできません。

※チャイルドシートを取り付ける際には、車のシートバックに確実に固定されているか確認してください。必要に応じて、ヘッドレストを取りはずし、チャイルドシートを確実に固定してください。

# 安全に運転するために

1

## ● i-Size チャイルドシート

i-Size チャイルドシートは、助手席\* およびリアシートに設置されている、 ISOFIX 規格のシトロエン車専用チャイルドシートをワンタッチで固定するための金具に取り付けます。

## ● i-Size チャイルドシートの推奨取り付け位置

下の表は、チャイルドシートが i-Size カテゴリーの場合に取り付けられるシートを示しています。

		i-Sizeチャイルドシート
助手席*	助手席エアバッグOFF	i-U
	助手席エアバッグON	i-UF
後席左右		i-U
後席中央		X

i-U：前向きおよび後ろ向きの i-Size ユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

i-UF：前向きの i-Size ユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

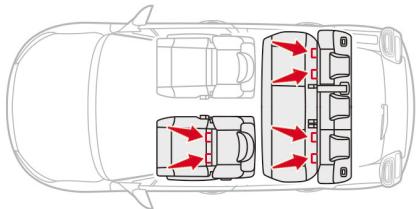
X：チャイルドシートは取り付けできません。

## ⚠ 警 告

- 助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートを取りはずしたら、必ずヘッドレストを取り付けてください。事故などのときにケガをする危険性があります。

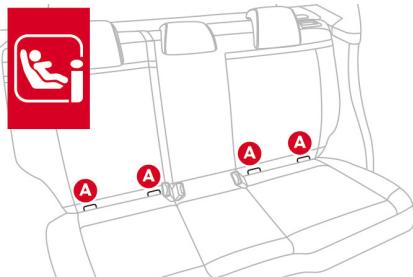
\*仕様により異なります。

● ISOFIX チャイルドシートの取り付けかた  
取り付け可能シート位置

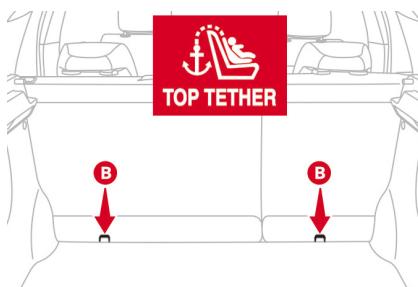


ISOFIX 規格のチャイルドシートを取り付けることができるシートを表しています。  
取り付けが可能なシート位置にはそれぞれ3つの金具が装備されています。

## 取り付け金具



シートのバックレストとシートクッションの間に2つの金具 A があります。



トップテザー対応のシートは、ストラップをシート裏側のトップテザーアンカー B に装着してください。

このとき、ヘッドレストを引き上げ、フックを支柱の間に通してからストラップを B に固定してしっかりと張ります。

ISOFIX 規格のチャイルドシートをワンタッチで固定するための金具が、助手席\*およびリアシートに設置されています。

取り付け方法については、チャイルドシートの説明書に従ってください。

**警告**

- チャイルドシートは正しく取り付けてください。事故などの場合に十分な保護ができなくなるおそれがあります。
- チャイルドシートは製造メーカーの指定に従って正しくご使用ください。チャイルドシートに指定された適正年齢や体格を無視すると、シートベルトにより傷害を受けるおそれがあります。

## エアバッグ

エアバッグはイグニッションがオンのときだけ作動します。

エアバッグは致命的な事故の際にフォースリミッター付きシートベルトを補助して乗員を最大限守るように設計されています。

万一の際、エアバッグシステムが急激な減速を感じてそれがある到達点にまで達していたら即座にシステムが起動して乗員の保護を行います。

その直後エアバッグはしづかに乗員が脱出しやすい空間を確保します。

エアバッグはシートベルトが十分フォローできる範囲内の衝撃では開きません。

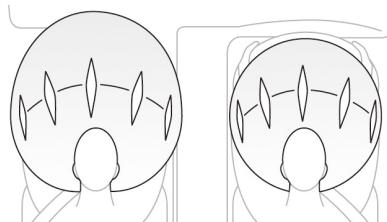
### △警告

展開後のエアバッグ構成部品は熱くなっていますので、やけどを負う可能性があります。



展開後のエアバッグはガスが抜けてすぐしづむようにできています。このガスには若干の刺激性があります。

### ●フロントエアバッグ



運転席エアバッグはステアリング中央部に収納されています。

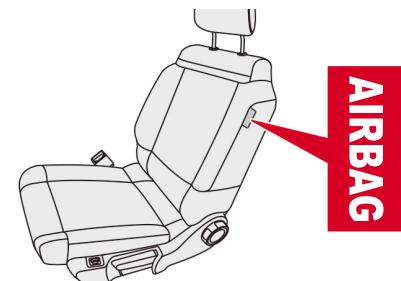
助手席エアバッグはダッシュボード内に収納されています。

助手席エアバッグキャンセルスイッチがOFFのときは展開しません。

### △警告

- ステアリングのスプーク部を握って運転したり、センターパッド部に手を置いて運転しないでください。
- 助手席に座る人は、ダッシュボードに足を乗せないでください。
- ステアリングをはずしたり、物を突き刺したり、激しく物を当てないでください。

### ●サイドエアバッグ



運転席および助手席のバックレスト側面（ドア側）に収納されており横からの衝撃に対してのみ、左右が独立して展開します。

### △警告

- シートカバーはシトロエンが推奨するものだけを使ってください。
- シートバック部にアクセサリーなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
- ドア側に近付きすぎた座りかたをしないでください。

## ●カーテンエアバッグ

ドアピラー部から天井にかけて収納されており、横からの衝撃に対し前席と後席の乗員を保護するために左右が独立して展開します。

### ⚠ 警告

- 天井やピラーにアクセサリーなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
- 天井に取り付けられているグリップハンドルをはずさないでください。カーテンエアバッグが機能するための一部になっています。

## ●故障しているときは

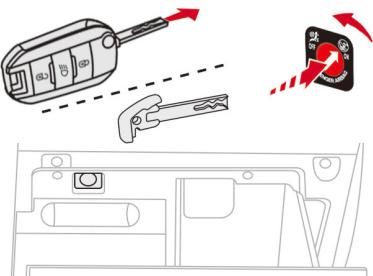


インストルメントパネルのエアバッグ警告灯が点灯します。

この警告灯が点灯したときは、衝撃を受けてもエアバッグは作動しません。

シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

## ●助手席エアバッグキャンセルスイッチ



チャイルドシートを進行方向とは逆向きに助手席へ取り付けるときは、助手席のエアバッグが作動しないようにします。これはエアバッグが作動してふくらんだときの衝撃からお子さまを守るためです。

## ON

助手席に大人が着席しているときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチをONにします。助手席エアバッグが作動します。チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けないでください。



作動中は、イグニッションをオフにすると、シートベルト着用／非着用警告ディスプレイの警告灯が約1分間点灯します。

# 安全に運転するために

1

## OFF

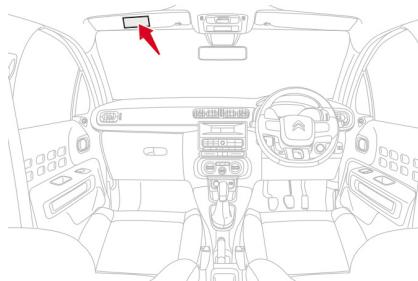
チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けたときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを OFF にします。助手席エアバッグは作動しません。

1. イグニッションをオフにします。
2. 助手席エアバッグキャンセルスイッチにキー／緊急用キーを差し込み、OFF の位置にします。
3. そのままキー／緊急用キーを抜きます。



キャンセル中は、イグニッションをオンにすると、シートベルト着用／非着用警告ディスプレイの警告灯が点灯します。

助手席のサンバイザーに下記の警告ラベルが貼り付けられています。



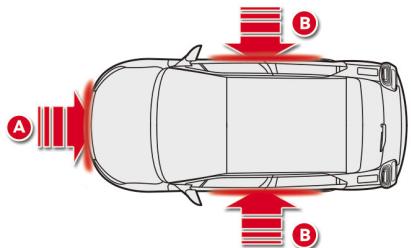
## 警告

作動停止設定をしていない前側エアバッグで保護されている座席には、絶対にチャイルドシートを後ろ向きに装着しないでください。**お子様の死亡または重症**の原因になることがあります。



シート前方のエアバッグにより保護されるシートには、後ろ向きチャイルドシートを使わないでください。

## ● エアバッグの作動条件



- A. フロント衝撃ゾーン
- B. サイド衝撃ゾーン

### フロントエアバッグの作動条件

フロント衝撃ゾーン A に、車両前方から後方へ縦方向の強い衝撃を水平に受けたときに、運転席エアバッグと助手席エアバッグが連動して作動します。

助手席エアバッグの作動を解除しているときは、助手席エアバッグは連動して作動しません。

### サイドエアバッグの作動条件

サイド衝撃ゾーン B に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、衝撃を受けた側が作動します。

### カーテンエアバッグの作動条件

サイド衝撃ゾーン B に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、サイドエアバッグと連動して作動します。

## △警告

- 車両側面への衝撃や衝突が弱いとき、および横転、転覆したときは、エアバッグが作動しないことがあります。
- 正面衝突したとき、または、追突されたときは、サイドエアバッグやカーテンエアバッグは作動しません。
- エアバッグ単独では衝撃を吸収する効果が十分ではありません。必ず、シートベルトを正しく着用してください。
- エアバッグ警告灯が点灯しているときは、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
- エアバッグシステムの改造は絶対に行わないでください。

## △警告

- ステアリングホイールと助手席ダッシュボードには、エアバッグが組み込まれています。正しく作動させるために次のことをお守りください。
  - ・エアバッグの組み込まれた箇所にカバーをかけたり、ステッカーなどを貼らないでください。
  - ・助手席側のダッシュボードの上に足や物を置いたり、立てかけたりしないでください。エアバッグがふくらむときに置いた物が飛び、ケガをするおそれがあります。
  - ・エアバッグや近くにある部品をむやみにはずさないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってエアバッグを作動させるとケガをするおそれがあります。
  - ・喫煙中にエアバッグが作動するとケガややけどをするおそれがあります。
- ステアリングホイールやダッシュボードに近付きすぎる乗車姿勢では、作動したエアバッグによりケガをするおそれがあります。



エアバッグは一度しか作動しません。フロントエアバッグ、サイドエアバッグやカーテンエアバッグが作動した場合は、シートや内装部材、コントロールユニットなどの交換が必要になります。事故の後は、必ずシトロエン指定サービス工場で点検や部品の交換を行ってください。

## 走行する前に

### ● タイヤの点検

#### 空気圧の確認

タイヤの空気圧は、スペアタイヤも含めて毎月1回ないし長距離を走行する前に点検してください。

適正値は、助手席側のドアピラー部に表示されています。表示されている値は、タイヤの温度が低いときの値です。空気圧はタイヤの温度が上昇すると増加しますので、暖まっている状態で空気圧が高いからといって空気を抜かないでください。

#### 間接式タイヤ空気圧警告灯（→ P.3-39）

車には、タイヤの空気圧に大きな変化があった場合に警告をする機能が付いています。警告灯が点灯したら、直ちに空気圧を点検してください。また、空気圧を調整した後は必ず初期化をしてください。

#### 外観の点検

タイヤの接地面や両サイドに、著しい損傷や亀裂、釘や針金などの異物が刺さっていないかを点検してください。また、タイヤの接地面に部分的な異常摩耗がないかも点検してください。

#### スリップサイン

タイヤには、摩耗の限度を示すスリップサインが設けられています。タイヤの表面とスリップサインが同じ高さになったら、新品と交換してください。

## 使用燃料について

ガソリンは、オクタン価が95オクタン（リサーチ法）以上の無鉛ガソリンを使用してください。

ガソリンスタンドにおける公称オクタン価は安定していないので、無鉛プレミアム（ハイオク）ガソリンの使用をお勧めします。

## 注意

粗悪ガソリンや有鉛ガソリン、有鉛プレミアムガソリン、アルコール含有燃料を使用しますと、エンジン・触媒装置などに悪影響を与えるので、絶対に使用しないでください。

## 冬季の取り扱い

### ● 冬季用タイヤ

積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬季用タイヤを装着することをお勧めします。

冬季用タイヤに交換するときは、必ず納車時に装着されていたタイヤと同じサイズのものをご使用ください。

シトロエン販売店では、車に適した性能の冬季用スタッドレスタイヤも用意しております。

スタッドレスタイヤは、車のバランスを保つために4輪全部に装着してください。

雪道や凍結した道路では、スタッドレスタイヤでも万全ではありません。運転には十分ご注意ください。

# 安全に運転するために

1

## ●スノーチェーン、スノーネット

スノーチェーン、スノーネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に装着してください。

取り付けは、平坦な安全な場所で、それぞれの取扱説明書に従って確実に行ってください。

チェーンやネットの装着後は、100m程度走行してゆるみや車体への当たりがないかを確認してください。

シトロエン販売店では、それぞれのタイヤに合わせた専用チェーンやネットを用意しております。



市販されているタイヤチェーンの中には、サイズが合っていない  
も装着できないものがあります。

スタッドレスタイヤやスノーチェーンは、シトロエン販売店でお求めください。

## ●その他

- 冬季には、バッテリーに高い負荷がかかります。バッテリーは常にフル充電にしてください。
- 非常に冷え込んだ天候のときは、パーキングブレーキが凍結することがあります。温度が非常に低い日は、パーキングブレーキを解除し、シフトレバーをPに入れて輪止めをかけてください。
- ライト類や方向指示器などは、冬季は非常に汚れやすくなります。定期的に清掃するように心がけてください。
- キーシリンダーには、潤滑剤を使用して注油しておいてください。
- ドアのゴム製シールには、凍結を防ぐためにシリコン潤滑油を塗付します。
- 空気取り入れ口は、いつもきれいに保つようにしてください。
- 雪避け時には特に車が汚れます。また、融雪剤には塩分を含んでいるものがあります。こまめに車全体を洗浄し、車体の下やホイールアーチ部もよく洗ってください。

## 保安炎筒



車室内に備え付けてあります。

踏み切りや高速道路などの危険な場所で故障したときには使用します。

使用方法は、保安炎筒に記載してあります。あらかじめよく読んでおいてください。

発炎時間は約5分間です。

保安炎筒に表示してある有効期間が切れる前に、新品をお求めになり交換してください。

### △警 告

- お子さまに触らせないでください。いたずらなどによる発火で、思わぬ事故になるおそれがあります。
- ガソリンなどの可燃物の近くでの使用は危険です。また、炎を顔や体に向けるとやけどの危険があります。

### △注 意

- 非常用信号としてのみご使用ください。
- トンネル内ではハザードランプを使用してください。トンネル内で使用すると、煙により視界が悪くなり危険です。

## 触媒コンバーター

シトロエン C3には、日本の排気ガス基準に適合させるために、触媒コンバーターが装着されています。

### ●触媒コンバーター装着車についてのご注意

- ・燃料は、必ず無鉛ガソリンを使用してください。有鉛ガソリンは触媒を傷めます。
- ・燃料は早めに補給してください。
- ・ミスファイヤなどのエンジン不調のときは、運転を避け、故障箇所を直ちに修理してください。

### △警 告

長時間のエンジンの空ぶかしはしないでください。触媒コンバーターが過熱して発火、火災に至ることがあります。

## 安全に運転するために

---

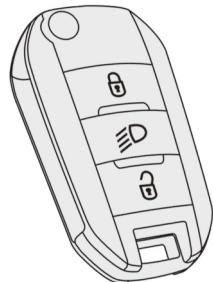
1

## 第2章 各部の開閉のしかた

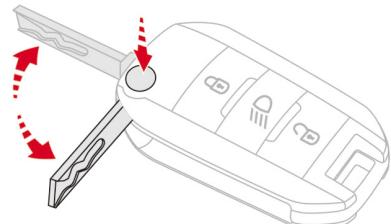
キー、リモコン	2-2
スマートキー	2-5
イモビライザー（盗難防止システム）	2-10
ドア／ドアロック／オートドアロック	2-12
テールゲート	2-14
パワーウィンドウ	2-15
チャイルドセーフティ	2-17
パノラミックガラスルーフ	2-18
ボンネット	2-19
フュエルリッド（給油口）	2-20

# 各部の開閉のしかた

## キー、リモコン\*



### ●キー



運転席側のドアを施錠または解錠すると、すべてのドアやテールゲートの施錠・解錠が同時にできる集中ドアロックシステムを採用しています。

ただし、ドアやテールゲートが開いている状態では、集中ドアロックは作動しません。

鍵部分は折り畳んでリモコン内に格納することができます。ボタンを押すと、鍵が出ます。

折り畳むときは、ボタンを押したまま鍵を元の位置に戻します。

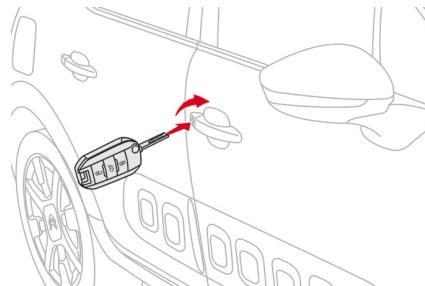
### ●解錠

リモコンを使用する



車に向けてリモコンの解錠ボタンを押すと、すべてのドアおよびテールゲートが同時に解錠されます。

キーを使用する



フロントドアにある鍵穴にキーを差込み、前方に回します。



●解錠するとハザードランプが数秒間点滅し、同時にドアミラーが展開します。

●解錠後、30秒以内にドアを開けないと、自動的に再びロックされます。

## ●施錠

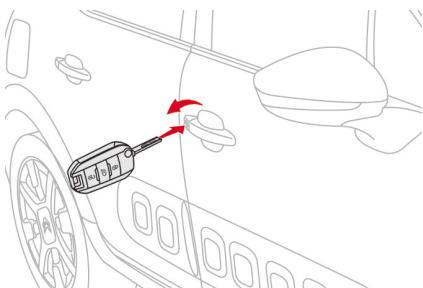
### リモコンを使用する



車に向けてリモコンの施錠ボタンを押すと、すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。

ただし完全に閉まっていないドアやテールゲートがあると施錠されません。

### キーを使用する



フロントドアにある鍵穴にキーを差込み、後方に回します。



施錠するとハザードランプが数秒間点灯し、同時にドアミラーが格納します。

\* 仕様により異なります。

## ●スーパードアロック

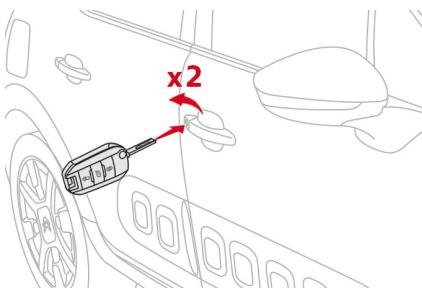
盗難防止のために、仮にガラスを壊すなどしても内側からドアロックが解除できなくなる機能です。

### リモコンを使用する



施錠ボタンを押してすべてのドアおよびテールゲートを施錠してから、5秒以内にもう一度押します。

### キーを使用する



フロントドアにある鍵穴にキーを差込み、後方に回して施錠してから、5秒以内にもう一度回します。



スーパードアロックをすると、ハザードランプが数秒間点灯します。

## ⚠ 警告

●車内に人がいるときは、スーパードアロックをかけないでください。車内からドアロックが解除できず、閉じ込められてしまいます。

●お子さまだけを車内に残して車を離れないでください。思わぬ事故やケガのもととなります。

## ●駐車時照明機能（フォローミーホーム）

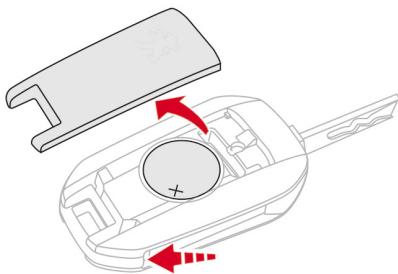
### リモコンを使用する



車に向けてリモコンのフォローミーホームボタンを押すと、駐車時照明機能（フォローミーホーム）が約30秒作動します。機能が作動している間に再度ボタンを押すと、キャンセルされます。

# 各部の開閉のしかた

## ●電池 (CR1620 3V) の交換

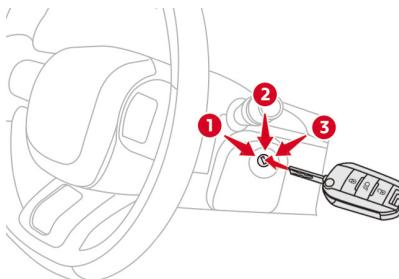


リモコンの電池が消耗するとメッセージが表示されます。  
すき間に先が細い工具を差し込んでケースを開け、電池を交換してください。

## △警告

- 電池交換の際には、お子さまが誤って飲み込むなどしないよう注意してください。
- リモコンの電波が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおぼすそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

## ●リモコンの初期化



車両バッテリーの接続をはずした後やリモコンの電池を交換した後、またはリモコンが作動しなくなった場合は、以下の手順で初期化をしてください。

1. イグニッションをオフにします。
2. イグニッションを再びオンにします。
3. 直ちにリモコンの施錠ボタンを数秒間押します。
4. イグニッションをオフにして、キーを抜きます。



●キーナンバーのついたタグを保管しておいてください。キーを紛失して、新しいキーを作成する際にこの番号が必要となります。

●車を離れる際、ポケットの中などでリモコンのボタンを誤って押さないようご注意ください。気がつかないうちに車のロックが解除されてしまうおそれがあります。

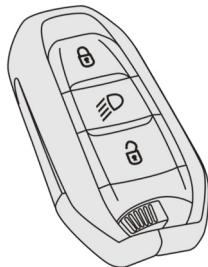
また、車から離れたところで何度もボタンを押すと、認識されなくなることがあります。その際は初期化をしてください。

●交換用電池はシトロエン指定サービス工場でお求めいただけます。

●環境汚染防止のため、使用済みの電池は正しく廃棄してください。

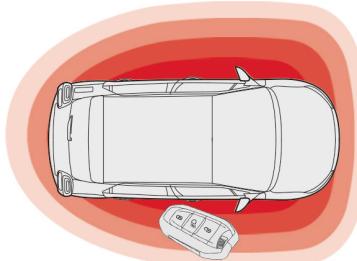
\* 仕様により異なります。

## スマートキー\*



スマートキーを携帯しているだけで、ドアやテールゲートの施錠・解錠やエンジンの始動ができます。  
リモコンとしてボタンを使って施錠・解錠することもできます。  
スマートキーには緊急用キーが付いています。

### ●スマートキー機能の作動範囲



スマートキー機能で施錠または解錠するときの検知エリアの範囲は、車両から周囲約1m以内です。  
車両周辺の検知エリアにスマートキーがあれば、スマートキーを携帯していない人でもドアを操作して解錠することができます。



- スマートキーが車両に近付きすぎているときは作動しないことがあります。
- スマートキーは微弱な電波を使用しています。以下の場合は、正常に作動しなかったり、不安定な動作になったりすることがあります。
  - ・近くに強い電波を発する設備があるとき
  - ・携帯電話、無線機、パソコンなどの製品と一緒にスマートキーを携帯しているとき
  - ・スマートキーが金属に接していたり、覆われたりしているとき

## 注意

検知エリアにスマートキーがある場合  
は盗難に注意してください。

# 各部の開閉のしかた

2

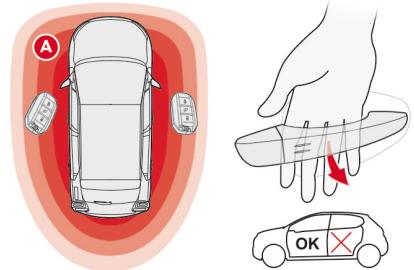
## ●解錠

### スマートキーを使用する

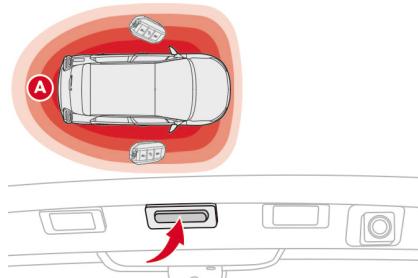


車に向けてスマートキーの解錠ボタンを押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。

### スマートキー機能を使用する



- 解錠するとハザードランプが数秒間点滅し、同時にドアミラーが展開します。
- 解錠した後、30秒以内にドアを開かないと、自動的に再度施錠されます。



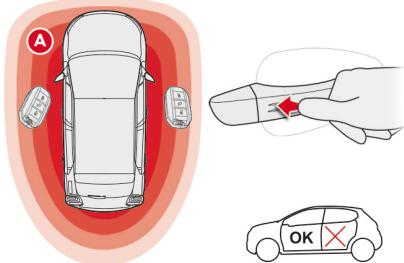
車両周辺の検知エリアA内でスマートキーを携帯して、前席のドアハンドルに手を通す、またはテールゲートのスイッチを押すと、すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。ドアハンドルをそのまま引くとドアを開けることができます。

## ●施錠

### スマートキーを使用する

車に向けてスマートキーの施錠ボタンを押すと、すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。

### スマートキー機能を使用する



車両周辺の検知エリア A にスマートキーがあるときに、前席のドアハンドルのスイッチを押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。



- スマートキーを携帯して車両から離れても自動的に施錠されることはありません。
- 施錠するとハザードランプが数秒間点灯し、同時にドアミラーが格納します。
- 長期間（3週間以上）車両を使用しないと、バッテリー消費を抑えるために、スタンバイモードとなってスマートキー機能が自動的に停止します。スマートキー機能を復帰させるには、スマートキーのボタンを押すか、ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当ててエンジンを始動してください。これは車外に保管しておいた予備キーでも同様です。



- スマートキーが家電製品の近くにあると電磁波の影響を受けて反応し、電池を著しく消耗します。これを防止するため自動的にスタンバイモードになることがあります。機能を復帰させるには、スマートキーのボタンを押すか、ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当ててエンジンを始動してください。
- 以下のときは、施錠できません。
  - ・いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉まっていないとき
  - ・スマートキーが車内にあるとき

# 各部の開閉のしかた

## ●スーパードアロック

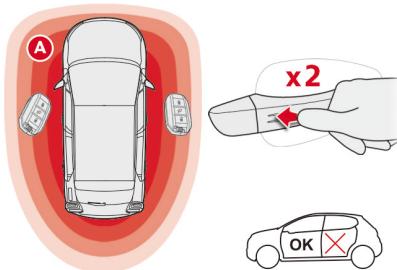
盗難防止のために、仮にガラスを壊すなどしても内側からドアロックが解除できなくなる機能です。

2

### スマートキーを使用する

 施錠ボタンを押して、すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。5秒以内に再度施錠ボタンを押します。

### スマートキー機能を使用する



車両周辺の検知エリア A にスマートキーがあるときに、前席のドアハンドルのスイッチを押します。5秒以内に再度スイッチを押します。



スーパードアロックをすると、ハザードランプが数秒間点灯します。

## ⚠️ 警告

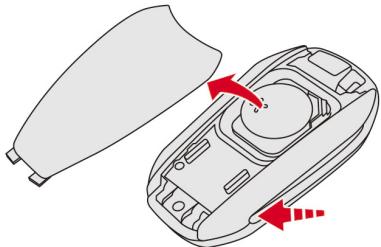
- 車内に人がいるときは、スーパードアロックをかけないでください。車内からドアロックが解除できず、閉じ込められてしまいます。
- お子さまだけを車内に残して車を離れないでください。思わぬ事故やケガのもととなります。

## ●駐車時照明機能（フォローミーホーム）

### スマートキーを使用する

 車に向けてスマートキーのフォローミーホームボタンを押すと、駐車時照明機能（フォローミーホーム）が約30秒作動します。機能が作動している間に再度ボタンを押すと、キャンセルされます。

## ●電池 (CR2032 3V) の交換



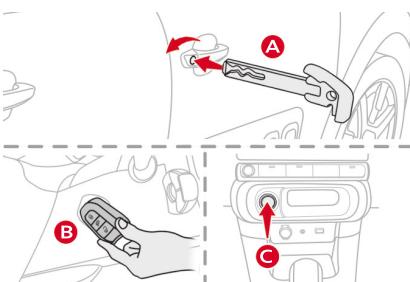
スマートキーの電池が消耗すると、メッセージが表示されます。  
すき間に先が細い工具を差し込んでケースを開け、電池を交換してください。

### ⚠ 警告

- 電池交換の際には、お子さまが誤って飲み込むなどしないよう注意してください。
- スマートキーの電波が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすことがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

## ●スマートキーの初期化

車両バッテリーの接続をはずした後やスマートキーの電池を交換した後、またはスマートキーが作動しなくなった場合は、以下の手順で初期化をしてください。



1. 運転席ドア（仕様により助手席ドア）の鍵穴 A に緊急用キーを差し込んで解錠します。
2. シフトレバーを P にします。
3. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. スマートキーをステアリングコラムのリーダ B に当てます。
5. ブレーキペダルを踏みながら START / STOP スイッチ C を押します。

初期化の手順を行ってもスマートキーが作動しないなど、不具合が解消しない場合は、シトロエン指定サービス工場へご連絡ください。



- キーナンバーのついたタグを保管しておいてください。スマートキーを紛失して、新しいスマートキーを作成する際にこの番号が必要となります。
- 車を離れる際、ポケットの中などでスマートキーのボタンを誤って押さないようご注意ください。気がつかないうちに車のロックが解除されてしまうおそれがあります。また、車から離れたところで何度もボタンを押すと、認識されなくなることがあります。その際は初期化をしてください。
- 交換用電池はシトロエン指定サービス工場でお求めいただけます。
- 環境汚染防止のため、使用済みの電池は正しく廃棄してください。

## イモビライザー (盗難防止システム)

シトロエン C3には、エンジンイモビライザー（盗難防止装置）が装備されています。

これはリモコン／スマートキーの内部に車を識別する装置が内蔵されており、車側とのコードが合致しないときは、エンジンの始動ができないようにするものです。

### ●イモビライザーコード

車とともにお渡しするリモコン／スマートキーの内部（プラスチック部分）には、車を識別する電子装置が内蔵されています。

それぞれのリモコン／スマートキーは、車ごとに個別のコードが登録されています。イグニッションをオンにすると、車のイモビライザーシステムがこのコードを読み取って、エンジンの始動を可能にします。

もしコードが設定されていなかったり異なるコードのときは、エンジンを始動することはできません。

イグニッションをオフにすると、システムは直ちにエンジンをロックします。

システムに異常が発生したときは、イグニッションをオンにすると、メッセージが表示されます。エンジンは始動しません。

シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

### ●キー抜き忘れ防止ブザー\*

キーをイグニッションに差し込んだまま運転席のドアを開けると、警告音が鳴ります。

## 注 意

●車から離れるときは、短い時間であってもリモコン／スマートキーを携行してください。

●エンジンイモビライザーの改造をしないでください。故障の原因になることがあります。

●リモコン／スマートキーの内部には電子装置が組み込まれています。強い電磁波や高温にさらしたり、強い衝撃を与えたたり、水に濡らしたりしないでください。故障の原因となります。

●リモコンに重いアクセサリーを取り付けないでください。キーを差し込んだ際にイグニッションスイッチに負荷がかかり、故障の原因となります。

\* 仕様により異なります。

### ●スペアキー

車とともにお渡しするスペアキーにもコードが登録されています。もし予備のリモコン／スマートキーが必要なとき、あるいはリモコン／スマートキーを取り替えるときには、すべてのリモコン／スマートキーを登録し直す必要があります。お手持ちのすべてのリモコン／スマートキーをシトロエン指定サービス工場にご持参の上、登録作業をお申し付けください。



新しいリモコン／スマートキーを購入しても、イモビライザーシステムにコードを登録しないかぎり、そのリモコン／スマートキーでエンジンを始動することはできません。

### 注意

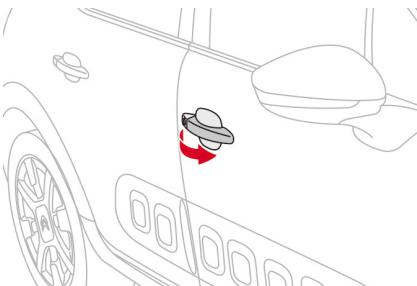
万一、リモコン／スマートキーを紛失したり盗難にあった場合は、安全のために他のリモコン／スマートキーを登録し直して失ったリモコン／スマートキーを無効にする（エンジンをかけられなくなる）ことをお勧めします。お近くのシトロエン指定サービス工場にご相談ください。

# 各部の開閉のしかた

2

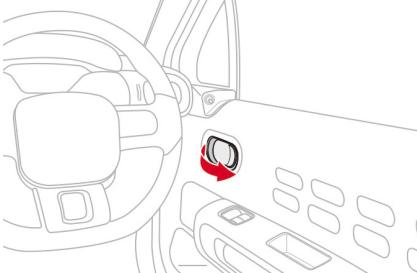
## ドア／ドアロック／オートドアロック

### ●車外からドアを開ける



ドアロックを解除後、ドアハンドルを引いて開けます。

### ●車内からドアを開ける



内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除されます。



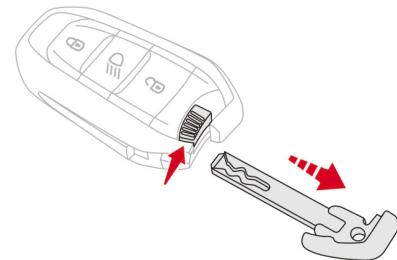
スーパードアロックがされているときは内側ドアハンドルでは一切ドアを開けることができません。

### ●半ドア警告



ドアを完全に閉めずにエンジンを始動させると、メッセージが数秒間表示されます。また、半ドア警告灯も点灯します。そのまま走行すると、時速10km以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが数秒間表示されます。

### ●緊急用キー\*

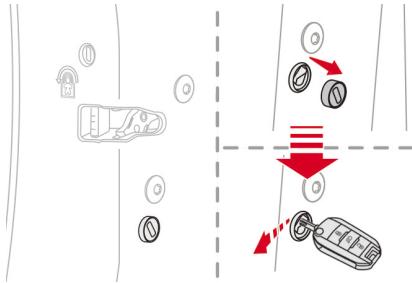


以下のようにスマートキーの機能が使用できないときは、運転席ドア（仕様により助手席ドア）の鍵穴に緊急用キーを差し込んで施錠／解錠します。

- ・スマートキーで施錠／解錠できないとき
  - ・スマートキーの電池がないとき
  - ・車両が強い電磁波などを受けているとき
1. スマートキーのレバーを押して、緊急用キーを取り出します。
  2. ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで、車両を施錠または解錠します。

\* 仕様により異なります。

## ●マニュアルロック（非常時）



バッテリーが上がっているときや、バッテリーの接続をはずしているときなどで、集中ドアロックが作動しないときは次の方法でドアをロックすることができます。

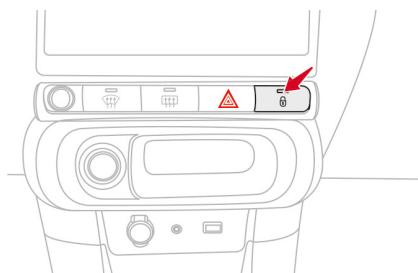
鍵穴のあるフロントドアは、キーをドアのキー穴に差し込み施錠します。

鍵穴のないフロントドアおよびリアドアは、ドア端部の黒いキャップをはずして、ゆっくりと穴にキーを差し込みます。キーは回さず、レバーを内側に動かしてからドアを閉めると施錠できます。



- リアドアは、チャイルドセーフティが解除されていることを確認してからドアを施錠してください。
- ドアを閉める前に必ずキャップを元に戻してください。

## ●ドアロック／オートドアロック



ロックスイッチを押すと、車両の施錠ができます。施錠するとインジケーターが点灯します。  
ドアのいずれかが開いている場合には内側からの集中ロックはできません。  
解錠するときはスイッチを再度押してください。



- 外側から施錠されている場合、またはスーパードアロックがかかっている場合は、インジケーターが点滅し、ロックスイッチを押しても解錠しません。  
外側から施錠されている場合は、内側ドアハンドルを引いて解錠してください。  
スーパードアロックがかかっている場合は、キー、リモコン／スマートキーもしくはスマートキー機能＊を使って解錠してください。

## ●オートドアロック機能

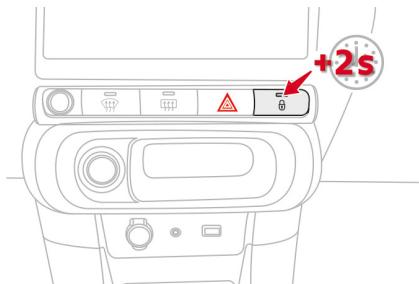
時速10km以上で走行すると、自動的に施錠されます。

時速10km以上で走行中にロックスイッチを押すと、ドアおよびテールゲートが一時的に解錠されます。

 完全に閉まっていないドアやテールゲートがあると、オートドアロックは作動しません。時速10km以上では、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

# 各部の開閉のしかた

## ●オートドアロック機能のオン／オフ



### 機能をオンにするには

ロックスイッチを2秒以上押し続けます。警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

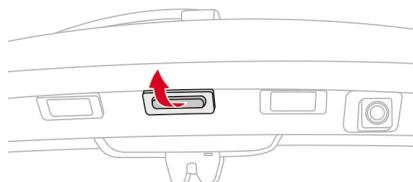
### 機能をオフにするには

ロックスイッチを再度2秒以上押し続けます。

警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

## テールゲート

### ●テールゲートの開閉



#### 開けるとき

ドアの施錠・解錠と連動しています。あらかじめドアロックを解除してから、ボタンを押して持ち上げます。

または、車両周辺の検知エリアにスマートキー\*があるときに、テールゲートのスイッチを押し、ロックを解除してから持ち上げます。

#### 閉めるとき

テールゲート内側にあるハンドルに手をかけて引き下げます。

## ⚠ 警告

テールゲートを閉めるときには、指などを挟まないよう十分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人などにぶつからないことを確認してください。

## 注 意

ストラットダンパーを引いてテールゲートを閉めないでください。ダンパーが変形して開閉ができなくなるおそれがあります。



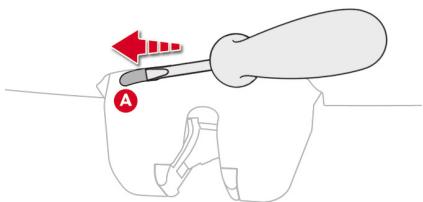
### ●テールゲート閉め忘れ警告

テールゲートを確実に閉めずにエンジンを始動させると、警告灯が点灯し、メッセージが数秒間表示されます。

そのまま走行すると、時速10km以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが数秒間表示されます。

\* 仕様により異なります。

## ● テールゲートが解錠しないとき



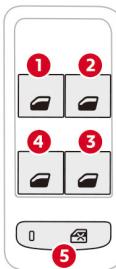
集中ドアロックシステムのトラブルなどでテールゲートが解錠できないときは、次のように行います。

1. リアシートを倒し、テールゲートの内側からロック機構にアクセスできるようにします。
2. 小さいドライバーを A に差し込んで中のバーを左に動かして解錠します。



水没など予期せぬトラブルで車内に閉じ込められた場合、この方法でテールゲートを開けて脱出できます。

## パワーウィンドウ



- ①：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
- ②：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
- ③：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ
- ④：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ
- ⑤：リアウィンドウキャンセルスイッチ

## ● マニュアルウィンドウ開閉

スイッチを軽く押したり引いている間だけウィンドウが開閉します。スイッチから手を離すと同時にウィンドウも停止します。

## ● ワンタッチ開閉

スイッチを1回強く押すか引くと、スイッチから手を離しても、ウィンドウは自動的に全開閉します。

途中で止めるときは、再度スイッチを押すか引きます。



イグニッションをオフにしてから約1分間、パワーウィンドウの操作ができます。それ以降は、再度イグニッションをオンにしてから操作をしてください。

# 各部の開閉のしかた

2

## ●挟み込み防止機能

パワーウィンドウには、挟み込み防止機能が付いており、障害物があると上昇をやめて数センチ下降します。

冬期など氷結のために挟み込み防止機能が働いてしまい、ウィンドウを閉じることができないときは、以下のようにしてください。

1. 一度完全にウィンドウを下げます。
2. 直ちにウィンドウが完全に閉まるまでスイッチを引き続けてください。
3. ウィンドウが完全に閉まった後約1秒間、スイッチを引き続けます。

パワーウィンドウ挟み込み防止機能が機能しなくなったら、直ちにシトロエン指定サービス工場へご連絡ください。

## △注意

操作中は挟み込み防止機能は働きません。安全に配慮してください。

## ●パワーウィンドウの再初期化

バッテリーをはずした後など正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. スイッチを押してウィンドウを全開にします。
2. ウィンドウを閉じる操作をします。  
(1回の操作で2~3cm程度しか動きません)
3. ウィンドウが全閉するまで手順2の操作を繰り返します。
4. ウィンドウが全閉したら、さらにスイッチを1秒以上引き続けてください。

## △注意

初期化中は挟み込み防止機能は働きません。安全に配慮してください。

## △警告

●運転者が運転席以外のウィンドウを操作する場合は、ウィンドウを閉めるのに障害物がないか確認をしてください。

●ウィンドウを開めているとき、誤って障害物などが接触したときは、直ちにウィンドウを開けてください。

●乗員がウィンドウを閉める際には運転者がその操作に対して注意を払ってください。

●お子さまにはウィンドウの操作をさせないでください。

●車から離れるときは、短い時間であってもエンジンを停止してリモコン／スマートキーを携行してください。

## 注意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも50cm以上ウィンドウやドアシールから離してご使用ください。

●後席ウインドウキャンセルスイッチ



スイッチ⑤を押すと、後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなります。お子さまの危険防止に有効です。スイッチ⑤のインジケーターが点灯している場合は、後席での操作はできません。スイッチ⑤のインジケーターが消灯している場合は、後席での操作は可能です。

チャイルドセーフティ



スイッチを押すと、車内からリアドアを開けられなくなります。お子さまの危険防止に有効です。

イグニッションがオンのときにスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、メッセージが表示され、チャイルドセーフティがオンになります。

オフにするには、もう一度スイッチを押してください。

△注意

強い衝撃を受けると、チャイルドセーフティが自動的に解除され、非常時に後席からの脱出を可能にします。

注意

インジケーターが点灯／消灯以外のときは、機能に異常があります。シロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

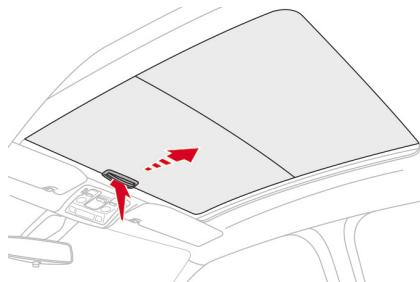


- チャイルドセーフティは、ドアロックの作動とは別に独立して作動します。
- チャイルドセーフティがオンになっていても、外からドアを開けることができます。

## 各部の開閉のしかた

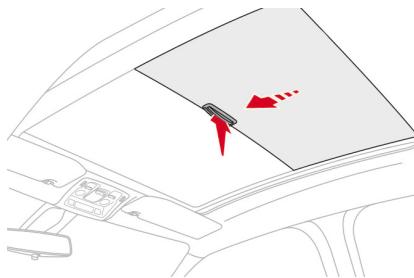
### パノラミックガラスルーフ \*

#### ●サンシェードを開く



手動で好みの位置まで後方に引きます。

#### ●サンシェードを閉じる



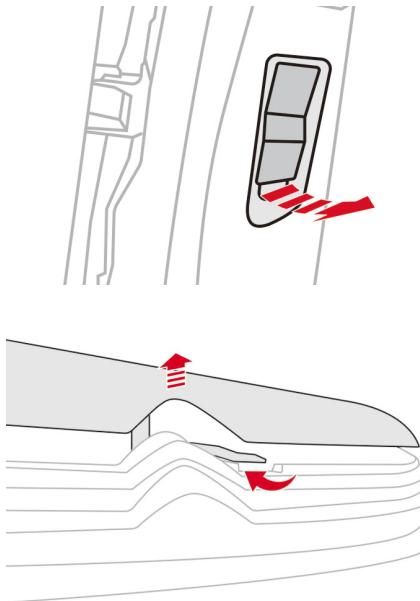
手動で好みの位置まで前方に引きます。

### ⚠ 警告

- サンシェードを操作するときは、障害物がないか確認をしてください。
- 同乗者がサンシェードを操作するときも十分に注意してください。
- お子さまにはサンシェードの操作をさせないでください。

\* 仕様により異なります。

## ポンネット



### ●ポンネットを開けるには

- 助手席側ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
- ポンネットの下のロックレバーを引き上げてから、持ち上げます。

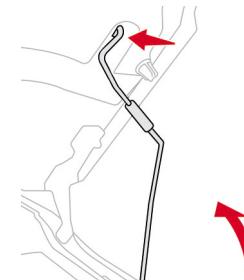
### ⚠ 警告

エンジンルームでどのような作業を行うときも、あらかじめストップ＆スタートの作動を解除しておいてください。エンジンが急に始動して、思わぬケガをするおそれがあります。

### ⚠ 注意

- ポンネットを開ける操作は、必ず停車してから行ってください。
- 強風時はポンネットが風でおられないようご注意ください。

ポンネットを開ける際には、6-3ページの警告をお読みください。



### ●ポンネットを固定するには

ポンネットを開き、支柱をキャッチに固定します。  
閉めるときには、支柱を元の位置に戻します。

### ●ポンネットを閉めるには

ポンネットを引き下げ、下から30cmぐらいの位置で手を離すと、重みで自然に閉まります。  
上から押さないでください。

### ⚠ 警告

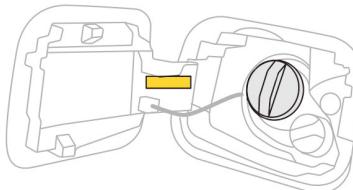
ポンネットを閉めた後、ロックされたことを確認してください。

## フュエルリッド(給油口)



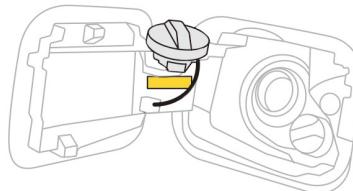
警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、燃料が少なくなっています。

警告灯が点灯した場合、残量は約5リットルです。早めに燃料を補給してください。もし燃料をすべて使用してしまった場合、少なくとも5リットル以上は給油してください。



### △警告

- 給油中はイグニッションをオフにしてエンジンを停止してください。ストップ＆スタートで停止しているときに給油しないでください。
- 給油口にあふれるまで給油しないでください。ガソリンが熱で膨張し、あふれて火災を起こすおそれがあります。
- 給油後は、フュエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。



1. ドアを解錠すると、フュエルリッドも連動して解錠されます。
2. 給油フラップを開きます。
3. キーをフュエルキャップのキー穴に差し込み、左（反時計方向）に回すか、フュエルキャップを左（反時計方向）に回してはすします。
4. はずしたフュエルキャップは、フラップの内側にあるフックに引っかけておきます。
5. 給油ノズルのオートストップが3回働いたら、それ以上給油口にあふれるまで給油しないでください。燃料タンクの容量は約45リットルです。
6. 給油が終わったらフュエルキャップをロックします。



キーはキャップをロックしないとキー穴から抜けません。

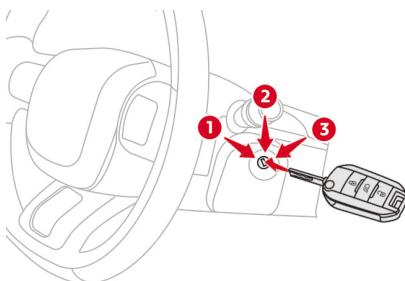
### ●燃料遮断装置

シトロエン C3には、衝突したときに燃料供給を停止させる安全装置が装備されています。

## 第3章 運転装置の使いかた

エンジンの始動（キー、リモコン）	3-2
エンジンの始動（スマートキー）	3-3
ステアリング／ホーン	3-5
パーキングブレーキ	3-5
6速オートマチックトランスミッション	3-6
シフトタイミングインジケーター	3-9
ストップ＆スタート	3-10
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）	3-13
ブラインドスポットモニター	3-15
レーンデパーチャーウオーニング	3-18
ドライバーアテンションアラート	3-19
アクティブセーフティブレーキ	3-22
スピードリミットインフォメーション	3-27
クルーズコントロール／スピードリミッター	3-30
ヒルスタートアシスタンス	3-35
バックソナー	3-36
バックカメラ	3-38
間接式タイヤ空気圧警告	3-39

## エンジンの始動 (キー、リモコン) \*



### ●イグニッションキーの位置

- ① **ストップ位置**：イグニッションはオフとなります。  
キーの抜き差しができます。
- ② **1ノッチ目**：ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。  
イグニッションがオンとなり、警告灯類が点灯します。
- ③ **始動位置**：エンジン始動後、手を離すと1ノッチ目に戻ります。

### ●エンジンの始動

- シフトレバーをPまたはNにします。
- パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- ブレーキペダルを踏みながらイグニッションキーを始動位置まで回します。
- スターターが回り、エンジンが始動します。
- エンジンが始動したら、キーから手を離します。



- エンジン始動後は、長い時間の暖機運転は必要ありません。
- イグニッションをオンにしたままになると、1時間後にイグニッションは自動的にオフになります。もう一度イグニッションをオンにするときは、キーをストップ位置に戻してから1ノッチ目まで回します。

### ステアリングロック

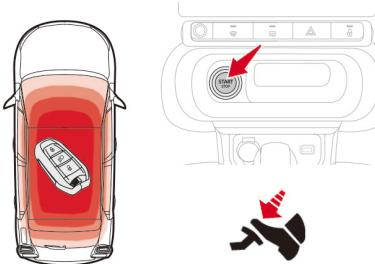
盗難防止のために、キーを抜くとステアリングがロックされて動かなくなります。ロックを解除するときは、ステアリングをわずかに回しながらキーを回します。

### !**警告**

- 走行中はイグニッションをオフにしないでください。エンジンが停止すると、ブレーキ倍力装置が作動せず、事故を起こすおそれがあります。
- 走行中はキーを抜かないでください。ステアリングがロックされ、操舵ができなくなり事故を起こすおそれがあります。また、ステアリングロックの改造をしないでください。
- エンジンを始動するときは、必ずパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジンがかかっている間は、車から離れないでください。

\* 仕様により異なります。

## エンジンの始動 (スマートキー) \*



スマートキーが車内の検知エリアにあるときに、エンジンを始動および停止することができます。

### 警 告

- エンジンを始動するときは、必ずパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジンがかかっている間は、車から離れないでください。

### ●エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. シフトレバーを P または N にします。
3. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながら START / STOP スイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。



- エンジン始動後は、不必要に長い時間の暖機運転は必要ありません。

### ●エンジンの停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトレバーを P または N にします。
3. START / STOP スイッチを押します。
4. エンジンが停止します。



- エンジンの始動条件を満たしていない場合は、メッセージが表示されます。

- ステアリングロック装備車は、START / STOP スイッチを押すとステアリングロックが解除されます。ステアリングロックが解除できないときは、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。ハンドルを左右に回しながら START / STOP スイッチを押してください。

- ステアリングロック装備車は、ステアリングロックが解除されるとき、作動音がしたり、ハンドルがわずかに動いたりすることがあります。



- ステアリングロック装備車は、エンジンを停止するとステアリングがロックされます。

- ステアリングロック非装備車は、エンジンを停止するとシフトポジションが P でロックされます。

- ステアリングロック装備車は、エンジンを停止してもステアリングがロックされないときは、ハンドルを左右に回してステアリングをロックしてください。

# 運転装置の使いかた

## ● START / STOP スイッチの役割

### オフ

START / STOP スイッチがアクセサリーポジションまたはスタートポジション（エンジンが始動している状態）のとき、ブレーキペダルを踏まずに **START / STOP** スイッチを押すとオフになります。

ハザードランプが使用できます。

### アクセサリーポジション

START / STOP スイッチがオフのとき、ブレーキペダルを踏まずに **START / STOP** スイッチを押すと、アクセサリーポジションになります。

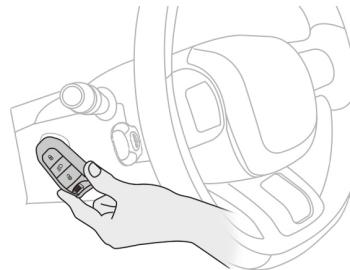
警告灯類が点灯し、しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

### スタートポジション

ブレーキペダルを踏みながら **START / STOP** スイッチを押すと、スタートポジションになります。

エンジンが始動し、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

## ● エンジンの緊急始動



スマートキーが車内の検知エリアにあるにも関わらず、**START / STOP** スイッチを押してもエンジンが始動しない場合は、以下の手順でエンジンを始動します。

1. シフトレバーを P または N にします。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当てます。
4. ブレーキペダルを踏みながら **START / STOP** スイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。



緊急時以外は使用しないでください。

## ● エンジンの緊急停止



緊急時のためにはエンジンを強制的に停止することができます。

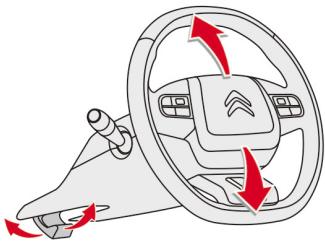
スマートキーが車内の検知エリアにないときは、ドアを閉じるとメッセージが表示されます。また、エンジンを停止しようとしたときに、緊急停止の操作を確認するメッセージが表示されます。

**START / STOP** スイッチを約5秒間押し続けます。



- 緊急時以外は使用しないでください。
- ステアリングロック装備車は、エンジンの緊急停止後、車両が停止すると同時にステアリングがロックされます。
- エンジンを再始動するには、スマートキーが必要です。

## ステアリング／ホーン



### ●チルト・テレスコピックステアリング

ロックレバーを手前に引くと、ステアリングのロックが解除されます。

ステアリングホイールの高さや奥行きを調整し、ロックレバーを押し下げてロックしてください。ステアリングがしっかり固定されていることを確かめてください。

### ⚠ 警告

ステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

### ⚠ 注意

シート位置を調整してからステアリング位置を調整してください。



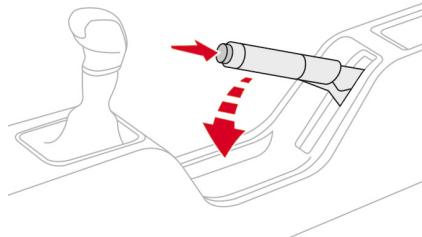
### ●ホーン

ステアリングホイールのセンターパッドを押してください。



ホーンを使用する際には、節度を守り、差し迫った危険を感じるなどの緊急の場合に使用してください。

## パーキングブレーキ



レバーを引き上げるとパーキングブレーキがかかり、同時にブレーキ警告灯が点灯します。

パーキングブレーキを解除するときは、レバーを少し引き上げ、ボタンを押してレバーを完全に倒します。

ブレーキ警告灯が消灯することを確認してください。

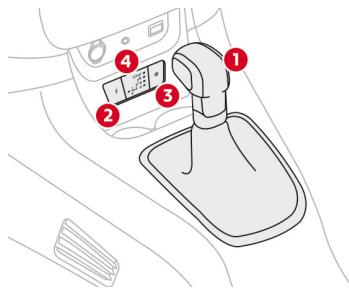


坂道に駐車するときには、タイヤを路肩に斜めに当ててパーキングブレーキをかけてください。

# 運転装置の使いかた

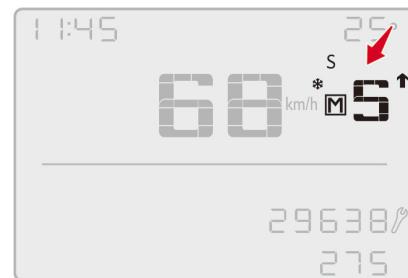
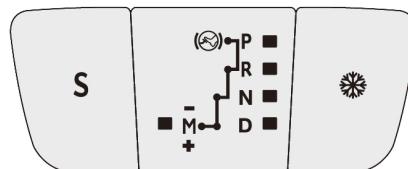
## 6速オートマチックトランスマッision

### ●シフトゲート



- ①：シフトレバー
- ②：スポーツモードスイッチ \*
- ③：スノーモードスイッチ \*
- ④：シフトポジション表示

### ●シフトポジション



シフトポジションはシフトゲート前方のパネルとインストルメントパネルに表示されます。

P. パーキング：駐車するときに使用します。

エンジンを始動できます。パーキングブレーキを併用してください。

R. リバース：後退します。

N. ニュートラル：エンジンを始動できます。パーキングブレーキを併用してください。

D. ドライブ：走行に応じて自動的にギアが切り替わります。

M. マニュアルシフトポジション：+方向に動かすとシフトアップし、-方向に動かすとシフトダウンします。アクセルペダルを踏み込んだままシフトチェンジすることができます。

- : この表示が点灯したときは、オートマチックトランスマッisionのプログラム不良です。

### ブレーキ作動促進表示灯 \*



この表示が現れたら、ブレーキを踏んでください。

\*仕様により異なります。

## 注意

**N**から**R**や**D**、**M**にシフトするときは、エンジン回転がアイドリングまで下がっていることを確認してください。



マニュアルモードのシフト操作は、エンジン回転の許容範囲でのみ行なうことができます。その範囲を超えるときは、一時的にオートマチックモードになります。

## モードセレクター\*

オートマチックトランスマッisionでは、スポーツ、スノーの2つのモードの選択が可能です。シフトレバーが**D**のとき、シフトゲートのスポーツモードスイッチまたはスノーモードスイッチを押してください。選択されたモードは、インストルメントパネルに表示されます。選択したモードを解除するには、もう一度同じスイッチを押してください。



**S** スポーツモード：エンジンのパフォーマンスを最大限に発揮する変速パターンになります。



**スノーモード**：滑りやすい雪道に合わせた穏やかな変速パターンが選択されます。



マニュアルモードで走行しているときは、スポーツやスノーモードの選択操作はできません。

## ●クリープ現象

停車中にシフトレバーを**D**、**R**または**M**にすると、アクセルペダルを踏まなくとも車がゆっくりと動き出します。

特にエンジン始動直後やエアコン作動時などエンジン回転が高いときには車が動こうとする力が強くなります。そのため、お子さまが乗車しているときは、エンジンを始動したままお子さまだけを残して車を離れないでください。

点検のためにエンジンをかけたまま車外に出るときは、パーキングブレーキをかけてシフトレバーを**P**に入れてください。

## ●キックダウン

追い越しなどで急加速したいときは、シフトレバーには手を触れずにアクセルペダルをいっぱいに踏み込んでください。シフトダウンが起こり、エンジン回転が最高に達するまでそのギアを維持し、より短い時間で加速することができます。ある一定の速度に達すると、自動的にシフトアップします。またブレーキを踏むと、エンジンブレーキを効かせるためにシフトダウンします。ただし、安全のため、急にアクセルペダルを離してもシフトアップはしません。

## ●エンジンブレーキ

長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、**D**レンジでもより効果的にエンジンブレーキを効かせるため自動的に低いギアに切り替わりますが、状況に応じて隨時、シフトレバーを**M**レンジにして低いギアを選択することができます。(たとえば**D**→**3**、**3**→**2**)

ただし、**2**から**1**への切り替えは急激な減速を伴いますので、滑りやすい道路条件(雪道や凍った道路)では十分にご注意ください。

# 運転装置の使いかた

## ●シフトロック

急発進防止のため、ブレーキペダルを踏んでいないと P からほかにレバーを動かすことはできません。

## 注意

シフトレバーが P に入っているときにバッテリーが上がると、シフトロックは解除されず、レバーを動かすことができません。無理にレバーを動かすと破損するおそれがあります。

 警告音とともにこの警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、システムはセーフティーモードに入り、3 (3速) に固定されて走行します。

P や N から R にシフトしたときに、大きなショックを伴うことがありますトランスマッシュョンを損傷することはありません。時速100km 以下の速度で走行して、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

## ⚠️ 警告

- 走行中は、シフトレバーを N に入れないとください。エンジンブレーキが効かなくなり、ブレーキのフェード現象が起きやすくなり事故を起こすおそれがあります。
- 車から離れるときは、シフトレバーを P に入れてパーキングブレーキをかけてください。クリープ現象で車がひとりでに動いて、人や物に衝突するおそれがあります。
- 停車後、シフトレバーが P 以外でドアを開ける、またはイグニッションをオフにして約30秒経過すると、メッセージが表示されます。
- エンジンがかかっているときは、お子さまを車内に残して車を離れないでください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

## ⚠️ 注意

- エンジンを始動するときは、シフトレバーを P に入れ、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
- シフトレバーを N から D または R に入れるときは、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら行ってください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

## 注意

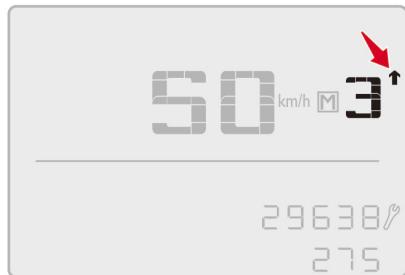
車が完全に停止する前にシフトレバーを P や R に入れないとください。トランスマッシュョンを破損するおそれがあります。



渋滞時などエンジンをかけたまま停車する場合は、シフトレバーを N に入れてパーキングブレーキをかけることにより、燃料消費を抑えることができます。

## シフトタイミングインジケーター\*

オートマチックトランスマッisionのマニュアルモードで走行中、燃費向上のためにシフトアップをうながして燃費向上のアドバイスをします。



アクセルペダルを軽く踏んで運転している状況で、システムが燃費向上の観点から現在のギアよりも1段または2段高いギアを使用した方が良いと判断した場合、インストルメントパネルに矢印のマークが表示されます。



- シフトタイミングインジケーターの機能をオフにすることはできません。
- 追い越しをするときなどアクセルペダルを強く踏み込んだときは表示されません。
- シフトタイミングインジケーターは、以下の変速はうながしません。
  - ・1速への変速
  - ・リバースギアへの変速
  - ・シフトダウン

### ⚠ 警告

シフトタイミングインジケーターはあくまで燃費向上のための機能です。実際のギアシフトは運転者が周囲の交通量や安全性に応じて判断して行ってください。誤った変速は事故につながるおそれがあります。

\* 仕様により異なります。

## ストップ＆スタート

ストップ＆スタートには交通渋滞や赤信号などで停止しているときにエンジンを止める停止モードと、発進するときにエンジンをかけるスタートモードがあります。

エンジンの始動は瞬時で騒音もなく、都市部での使用において燃費と排出ガスの削減を可能にします。

3

### ●停止モードへの移行

シフトレバーを N にしたり、ブレーキペダルを踏んで停止したときに停止モードに移行します。



エンジンが停止すると、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。



タイマーが停止時間の積算を行います。時間は、イグニッションをオンにする度にゼロにリセットされます。

### ⚠ 警告

停止モードのまま給油しないでください。必ずイグニッションキーをトップ位置まで回すか、START / STOP スイッチを押してエンジンを停止してください。



- 車庫入れなど、R からギアを入れ替えたときは、エンジンは数秒間停止モードになりません。
- 停止モードによって、ブレーキの効きやパワーステアリングに影響が出ることはあります。

### ●停止モードにならないとき

以下のときは、エンジンは停止モードになりません。

- ・坂道の勾配が急なとき
- ・運転席のドアが開いているとき
- ・運転席のシートベルトが締められていないとき
- ・イグニッションキーを始動位置まで回すか、START / STOP スイッチを押してエンジンを始動してから時速 10km を超えていないとき
- ・エアコンが曇りとりモードのとき
- ・室内の温度を快適に保つためにエンジンの運転が必要なとき
- ・充電その他エンジンの運転がシステム上必要なとき



インストルメントパネルの警告灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

## ●スタートモードへの移行

以下のときにスタートモードに移行します。

- ・シフトレバーを **D** か **M** にしてブレーキペダルを放したとき
- ・シフトレバーが **N** でブレーキペダルを放し、シフトレバーを **D** か **M** に入れたとき
- ・シフトレバーを **R** に入れたとき



エンジンが始動すると、インストルメントパネルの警告灯が消灯します。

## ●自動的にスタートモードになるとき

以下のときは、運転者への注意喚起や制動力の確保、バッテリー電圧の維持などのためにエンジンが自動的にスタートモードになります。

- ・運転席のドアを開けたとき
- ・運転席のシートベルトをはずしたとき
- ・時速1km を超えているとき
- ・充電その他エンジンの運転がシステム上必要なとき



インストルメントパネルの警告灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

## ●ストップ＆スタートの解除

ストップ＆スタートの解除は、タッチスクリーンで設定します。ストップ＆スタートが解除されると、メッセージが表示されます。

### 注意

停止モードのときに作動を解除すると、直ちにエンジンが始動します。

# 運転装置の使いかた

## ●ストップ＆スタートの再作動

ストップ＆スタートの再作動は、タッチスクリーンで設定します。

ストップ＆スタートが作動すると、メッセージが表示されます。



イグニッションキーを始動位置まで回すか、**START / STOP**スイッチを押してエンジンを始動すると、システムは作動状態になります。

3

## ●ストップ＆スタートの故障

システムに故障が発生すると、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。停止モードのときに故障した場合は、エンジンが始動しません。

イグニッションをオフにしてエンジンを始動してください。

## ●点検時の注意点

エンジルームでどのような作業を行うときも、あらかじめストップ＆スタートの作動を解除しておいてください。エンジンが急に始動して、思わぬケガをするおそれがあります。

また、このシステムではストップ＆スタート専用に設計されたバッテリーを使用しています。不適当なバッテリーの使用はシステムの故障につながります。バッテリーの交換はシトロエン指定サービス工場にご相談ください。

## ESC (エレクトロニックスタビリティコントロール)

ESCは急なハンドル操作や急ブレーキ時および滑りやすい路面の走行時などに、次の機能を総合的に制御して運転を補助し車両の安定性を高めます。

- ・ ABS(アンチロックブレーキシステム)
- ・ EBFD(電子式制動力制御装置)
- ・ EBA(ブレーキアシスト)
- ・ ASR(トラクションコントロール)
- ・ DSC(ダイナミックスタビリティコントロール)

## ●ABS(アンチロックブレーキシステム)

電子式制動力制御装置(EBFD)を備えたABSシステムは、ホイールがロックしそうになるとABSが作動して、滑りやすい路面での操縦安定性を向上させます。

## ●EBA(ブレーキアシスト)

ブレーキアシストシステムは、急ブレーキ時のペダルの動きに応じて作動し、ブレーキの効きを最大限に高めて停止距離を短縮する装置です。

## ●ASR(トラクションコントロール)

急加速時のホイールスピンを防止して、車の走行安定性を向上させる機能です。

## ●DSC(ダイナミックスタビリティコントロール)

4輪のブレーキとエンジン出力を自動的に制御することによって、旋回時の前輪または後輪の横滑りを防止する機能です。



●イグニッションをオンにしたまま、ホイールやタイヤ交換などの作業を行い、シャフトを回転させると、メモリに故障情報が入力されてABS警告灯が点灯する場合があります。シトロエン指定サービス工場にご相談ください。

●ABSやEBAが作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

●凍結した路面や砂地などのオフロードを走行するときは、ASRシステムを解除してください。

## ●システムの異常



この警告灯が点灯したときはABSの機能に異常があります。ブレーキをかけたときに車のコントロールを失う可能性があります。通常のブレーキは機能します。注意して速度を下げて走行し、直ちにシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。



警告音とともにこの警告灯、ABS警告灯およびSTOP警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときはブレーキシステムに異常があります。直ちに停車してシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

## ⚠ 警告

ABSやEBAは、どのような状況下でも制動距離を短くする装置ではありません。

路面の摩擦によっては、かえって制動距離が伸びることがありますので、滑りやすい路面では慎重に運転してください。

この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

# 運転装置の使いかた

## ● ASR／DSC システムの作動

エンジンを始動すると、ASR／DSC システムは自動的に作動可能状態になります。車両の走行安定性に問題が生じたときは、システムが作動して車両を制御します。

### ASR／DSC 警告灯（インストルメントパネル）



ASR／DSC システムが作動すると、この警告灯が点滅して運転者に注意を促します。

3

## ● ASR システムの解除

雪道や泥道で動けなくなったりなどに、ある程度ホイールスピンをさせてタイヤの接地力を回復させる必要が発生します。このようなときに、手動で ASR システムの解除ができます。

ASR システムの解除は、タッチスクリーンで設定します。

ASR システムを解除すると、メッセージが表示され、運転者に ASR システムが停止したことを知らせます。

## ● ASR システムの復帰

解除したシステムは、次の状態で自動的に復帰します。

- ・ イグニッションをオフにする。
- ・ 時速50km 以上で走行する。

手動で復帰させるときは、タッチスクリーンで設定します。

## ● ASR／DSC システムの異常

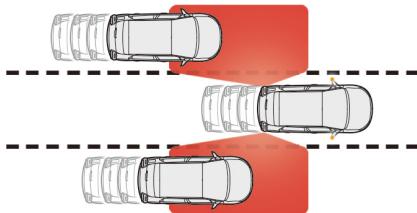


システムに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

## △警告

- ASR／DSC システムは、通常の運転状況下において安全性を向上させるもので、オーバースピードや危険な運転を補正する装置ではありません。急カーブや滑りやすい路面では、従来と同じく慎重に運転してください。この装置は、タイヤやホイール、ブレーキ部品、電子部品などの仕様が正しく、かつシトロエン指定サービス工場で適正な整備や修理を受けた状態で使用したときに効果を発揮します。事故の後や大きな衝撃を受けたときは、シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
- この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

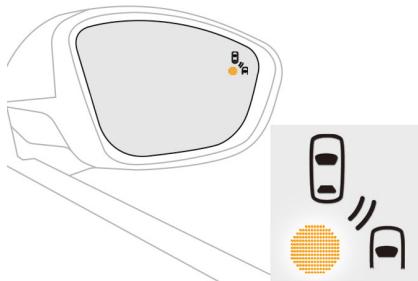
## ブラインドスポットモニター\*



ブラインドスポットモニターは、ドアミラーでの確認が困難な範囲に他車が進入した際に、その存在を検知して運転者に警告するシステムです。

### ⚠ 警告

このシステムは安全確認を補助するための装備であり、ルームミラーやドアミラーの代わりではありません。運転者の責任の下で、道路状況、他車との距離、相対速度を必ず確認し、車線変更などを行ってください。



### ● システムの作動

ブラインドスポットモニターの作動は、タッチスクリーンで設定します。

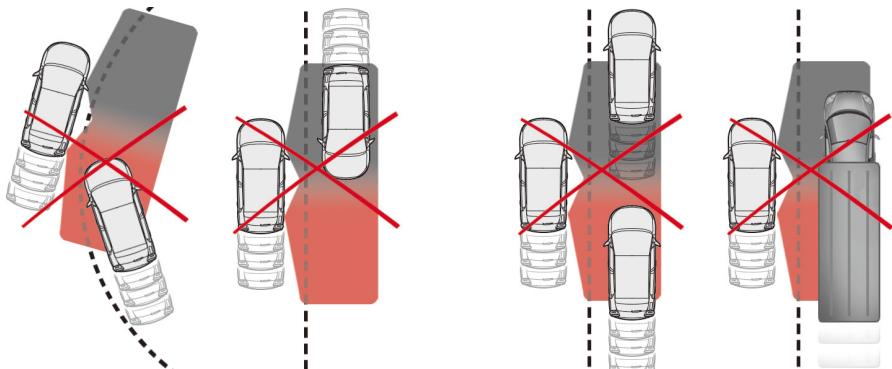
ブラインドスポットモニターが作動すると、インストルメントパネルの表示灯が点灯します。

\*仕様により異なります。

## 運転装置の使いかた

以下の条件を満たすとき、車両を検知してドアミラーの警告灯が点灯します。

- ・自車を含めた周囲すべての車が同じ方向に走行している
- ・時速12km以上で走行している
- ・追い越しをしている場合、他車との速度差が時速10km未満
- ・追い越される場合、他車との速度差が時速25km未満
- ・道路状況が混雑していない
- ・追い越しをしている場合、追い越し状態が継続していて、かつ追い越された車両が依然としてブラインドゾーンにある
- ・直線またはゆるやかなカーブを走行している
- ・トレーラーなどをけん引していない



以下の物や状況の場合、警告灯は点灯しません。

- ・静止している物（駐車している車、壁、街灯、道路標識）
- ・自車とは逆方向に走行している車
- ・曲がりくねった道や角度のきついカーブを走行しているとき
- ・大型車を追い越す（または追い越される）とき  
(大型車の先頭部分が運転者の視界にあり、かつ大型車の後方部分がブラインドゾーンにあることを検知したとき)
- ・道路状況が混雑しているとき  
(前方の車とブラインドゾーンにある車を同時に検知するため、システムは大型車と判断がつかない)
- ・急速に追い越すとき

## ● システムの解除

ブラインドスポットモニターの解除は、タッチスクリーンで設定します。



ブラインドスポットモニターが解除されると、インストルメントパネルの表示灯が消灯します。



- イグニッションをオフにしても、システムの作動／解除の設定は保持されます。
- シトロエン推奨のけん引装置を使用する場合は、システムが自動的に解除されます。

## ● システムの故障



システムに異常が発生したときは、表示灯が点滅した後に消灯するとともに、**SERVICE**警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。



MEMO

- システムは雨や雪などの天候に左右される可能性があります。
- 濡れた路面を走行しているときに、霧状の水しぶきなどを誤って検知することがあります。
- ドアミラーにある警告ゾーン、フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーをステッカーなどで覆わないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- 悪天候や冬期には、泥や氷雪などでセンサーが覆われないように注意してください。

## 注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。

# 運転装置の使いかた

## レーンデパーチャーウオーニング\*



3

レーンデパーチャーウオーニングは、カメラが走行車線の車線マーカーを検知し、時速60km以上で走行中に、車両のふらつきから運転者の注意力が低下していると判断すると警告を表示するシステムです。

 レーンデパーチャーウオーニングが車両のふらつきを検知すると、警告音とともに警告灯が点滅します。



- 方向指示器が作動している間と方向指示器の作動停止後の数秒間は警告を表示しません。
- レーンデパーチャーウオーニングは、高速道路や自動車専用道路などで走行しているときの使用が効果的です。

以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- ・車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- ・カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- ・消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- ・道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき
- ・視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- ・トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき

### ⚠ 警 告

レーンデパーチャーウオーニングは、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。

## ●レーンデパーチャーウオーニングの作動と解除



運転席側のダッシュボードのスイッチを押すと、レーンデパーチャーウオーニングが作動します。スイッチのインジケーターが点灯します。

再度スイッチを押すと、解除されます。スイッチのインジケーターが消灯します。



イグニッションをオフにしてもシステムの設定の記憶は残ります。

## ●システムの異常



システムに異常がある場合は、警告灯が点灯します。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

\*仕様により異なります。

## ドライバーアテンションアラート\*

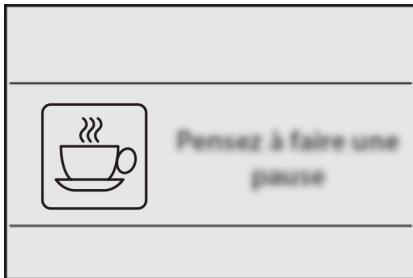
ドライバーアテンションアラートには以下の2つの機能が備わっています。

- ・連続運転警告
- ・疲労検知システム \*

### ⚠ 警告

ドライバーアテンションアラートは、運転時間やハンドル操作から運転者の疲労増加や注意力の低下を検知し、運転者へ休憩をとるように促すシステムです。疲労時の運転を補助するものではありません。システムを過信せず、十分に休憩をとり、安全運転に努めて適切なハンドル操作をしてください。

### ● 連続運転警告



連続運転警告は、運転者が休憩をとらずに時速65km以上で2時間以上走行したとき、警告音とともにメッセージを表示し、運転者に休憩をとるように促します。



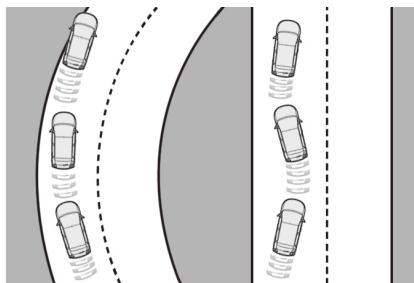
時速65km以下で走行しているときは走行時間として積算されません。

連続運転警告は、次のような対処が行われるまで、1時間おきに警告を表示します。

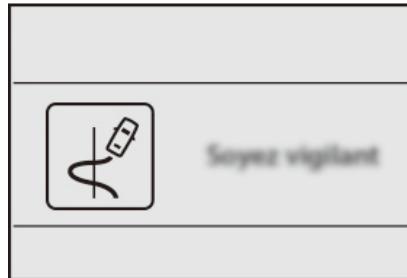
- ・エンジンがかかっている状態で、15分以上停止した
- ・イグニッションをオフにして数分間経過した
- ・運転席のシートベルトをはずしてドアを開けた

# 運転装置の使いかた

## ● 疲労検知システム \*



疲労検知システムは、フロントウィンドウ上部のカメラで走行車線の車線マークを検知し、車両のふらつきから運転者の疲労増加や注意力の低下を判断し、警告音とともにメッセージを表示して運転者に休憩をとるように促します。  
高速道路や自動車専用道路など、時速65km以上で走行しているときの使用が効果的です。



疲労検知システムが車両のふらつきを検知すると、警告音とともにメッセージを表示します。  
走行状態が改善されない場合、4回目の警告からは異なる警告音とともにメッセージが表示されます。



路面の状態が悪い道路の走行中や、強い風が吹いているときなどは、運転者の疲労の増加や注意力の低下の程度に関わらず、警告を表示することがあります。

## ● システムの作動と解除

ドライバーアテンションアラートの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。



イグニッションをオフにしてもシステムの設定の記憶は残ります。

\*仕様により異なります。

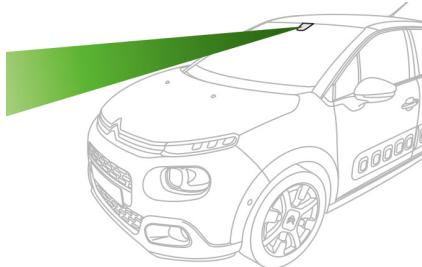
以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- ・ 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- ・ 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- ・ 路面の水たまりの反射光が強いとき
- ・ トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- ・ カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- ・ 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- ・ 消された車線マーカーがまだ見える道路を走行するとき
- ・ 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき
- ・ 前方の車両に近付すぎたとき
- ・ 細く曲がりくねった道路を走行するとき



フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

## アクティブセーフティ ブレーキ\*



アクティブセーフティブレーキは、フロントウィンドウのカメラにより同じ方向に走行している前方の車両や停車中の車両、歩行者を検知します。

アクティブセーフティブレーキには以下の3つの機能が備わっています。

- ・ディスタンスアラート
- ・エマージェンシーブレーキ
- ・インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

システムは時速7km以上で走行中に作動します。時速5km以下では作動しません。

アクティブセーフティブレーキは、以下のようなときは、前方の車両や歩行者を検知しないことがあります。

- ・視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- ・路面の水たまりの反射光が強いとき
- ・トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- ・カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき

## ⚠ 警告

- アクティブセーフティブレーキは、どのような状況下でも衝突を回避できるシステムではありません。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な車間距離を保って走行してください。安全の確保は運転者の義務です。
- ブレーキの作動をアクティブセーフティブレーキのみに頼らないでください。衝突事故を起こすことがあります。常に車間距離に注意して走行し、運転者の判断でブレーキを踏むなどの適切な操作をしてください。



●アクティブセーフティブレーキは、以下の車両などは検知しません。

- ・対向車線を走行している車両
- ・前方を横切って通過する車両
- ・自転車、オートバイ、動物
- ・路上の落下物

●システムが前方の車両などを検知すると、自動ブレーキの作動準備による作動音がしたり、減速するように感じられることがありますが、異常ではありません。

\*仕様により異なります。

## ●ディスタンスアラート

前方の車両との車間距離や走行車線に進入した歩行者との距離が設定した警告時間下回ると警告を表示します。

### ディスタンスアラートの警告表示機能



警告レベル1：設定した警告時間下回っているときに、警告

が表示されるとともにメッセージが表示されます。



警告レベル2：警告レベル1の状態が持続し、さらに前方の車

両との接近状況から、そのまま

では衝突に至ると判断されたときは、警

告が表示されるとともに警告音が鳴り、

メッセージが表示されます。



●警告レベル2は、車間距離だけではなく自車両および前方の車両の速度差や自車両の運転操作の状態、旋回中かどうかなどの情報を総合して表示されます。

●自車両の接近速度が高いとき、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されることがあります。

### 警告時間の設定

警告を開始する時間の設定は、タッチスクリーンで行います。

警告時間は以下の3種類から選択できます。

- ・**長い**：早めに警告が表示されます。
- ・**標準**：標準的な警告時間です。
- ・**短い**：やや遅れて警告が表示されます。

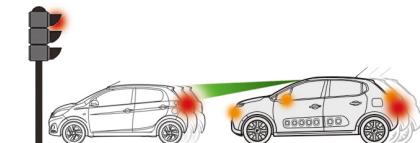


●警告時間を**短い**に設定すると、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されます。

●イグニッションをオフにしても、警告時間の設定の記憶は残ります。

# 運転装置の使いかた

## ● エマージェンシーブレーキ



ディスタンスアラートの警告が表示された後も運転者が衝突回避動作を取らなかったとき、自動ブレーキが作動し、衝突回避を支援したり、衝突時の速度を低減します。



エマージェンシーブレーキの作動中は、警告灯が点滅します。

ただし、エマージェンシーブレーキが作動しても、運転者が適切なハンドル操作を行い、しっかりと停止するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

### ⚠ 注意

エマージェンシーブレーキによる自動ブレーキで車両が停止すると、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。ブレーキペダルを踏んでクリープ現象による車の発進を防止してください。



● 次のようなときは、システムによるブレーキの作動が解除されます。

- ・アクセルペダルを踏み込んだとき
- ・ハンドルを大きく、または素早くさったとき

● 運転者がハンドル操作をしているとき、アクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいるときは、エマージェンシーブレーキの作動が遅れたり、作動しない場合があります。

● 自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。

## 動作条件

エマージェンシーブレーキは以下のときに作動します。

- ・時速5km以上、時速85km以下で走行中に、走行中の前方車両を検知したとき
- ・時速80km以下で走行中に、停車中の前方車両を検知したとき
- ・時速60km以下で走行中に、歩行者を検知したとき
- ・ESCシステムが正常に作動しているとき
- ・乗員全員がシートベルトを着用しているとき
- ・直線道路を一定の速度で走行しているとき

## ●インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

運転者のブレーキ操作が不十分でも、衝突の危険があるときに自動ブレーキが作動します。



インテリジェントエマージェンシーブレーキアシストは運転者がブレーキ操作を行ったときにのみ作動します。

## ●システムの作動と解除

アクティブセーフティブレーキの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。



システムを解除すると、警告灯が点灯します。



エンジンを始動すると、システムは作動状態になります。

# 運転装置の使いかた

## ● システムの異常

(三) システムに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

警告が表示されたら、カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。

警告が消えない場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。



事故の後や大きな衝撃を受けるとシステムが自動的にオフになります。シトロエン指定サービス工場でシステムをオンにしてください。

3

## ⚠ 警告

以下のようなときは、アクティブセーフティブレーキを解除してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ・トレーラーなどをけん引しているとき
- ・ルーフ上に長い荷物を積んでいるとき
- ・エンジンを始動したまま自走式の洗車機を使用するとき
- ・点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- ・エンジンを始動した状態でけん引されるとき
- ・スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき
- ・フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたとき
- ・ストップランプが故障しているとき

## 注意

● フロントウィンドウ上部のカメラ附近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。

システムの妨げとなり、正常に機能しません。

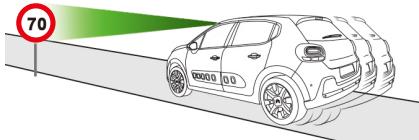
● ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。

● 冬期に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。



フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

## スピードリミットインフォメーション



スピードリミットインフォメーションは、カメラが車両の速度規制標識を認識して、インストルメントパネルに制限速度を表示する機能です。

インストルメントパネルに表示された制限速度は、クルーズコントロール／スピードリミッターの走行速度に設定することができます。

### ⚠ 警告

スピードリミットインフォメーションが正しく作動するために、スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください。誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- ・ 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- ・ フロントウィンドウが汚れている、曇っている、雪が積もっている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- ・ カメラが故障したとき
- ・ 速度規制標識が車、立木、汚れなどによって見えにくいとき
- ・ 速度規制標識が損傷するなどしていて見えにくいとき

以下のような個別の状況に応じて規制された速度制限は認識されません。

- ・ 悪天候（雨、雪、霧など）
- ・ 大気汚染
- ・ トレーラーなどのけん引
- ・ スペースセーバータイヤやスノーチェーンを装着しての走行
- ・ パンク修理キットで応急修理をしたタイヤでの走行

### ●スピードリミットインフォメーションの作動／解除

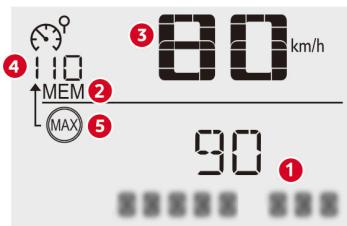
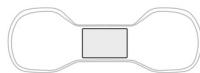
スピードリミットインフォメーションの作動／解除は、タッチスクリーンで設定します。

スピードリミットインフォメーションが作動すると、インストルメントパネルのスピードリミットインフォメーションオン／オフ状況表示に **MAX** と表示されます。

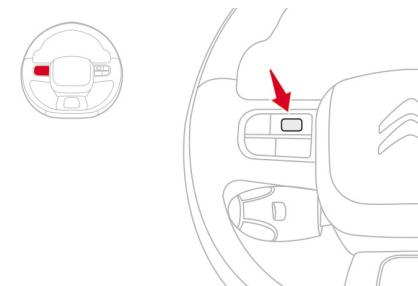
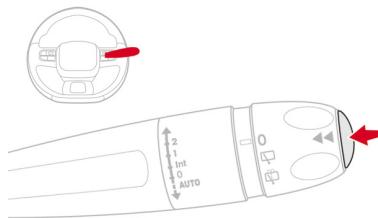
# 運転装置の使いかた

## ●インストルメントパネルの表示

スピードリミットインフォメーションの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。



- ①：速度規制標識の制限速度表示  
②：速度設定可能表示  
③：現在のスピード表示  
④：設定スピード表示  
⑤：スピードリミットインフォメーションオン／オフ状況表示

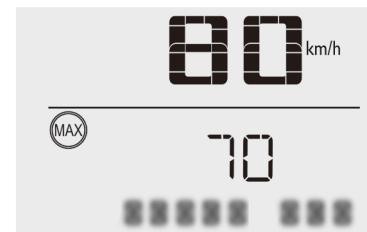


ワイヤーレバーの先端のスイッチを数回押す、またはステアリングスイッチの左側のダイヤルを回すとスピードリミットインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を表示することができます。

## ●制限速度の表示



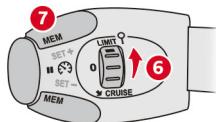
スピードリミットインフォメーションは作動していますが、認識した速度規制標識はありません。



スピードリミットインフォメーションが速度規制標識を認識し、制限速度を表示しました。

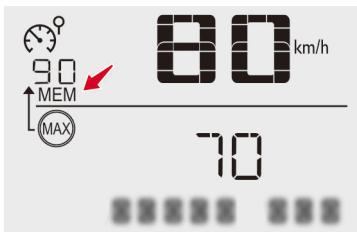
## ●速度の設定

インストルメントパネルに表示された制限速度をクルーズコントロール／スピードリミッターの走行速度に設定することができます。

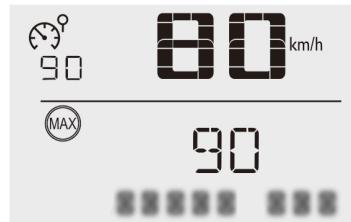


- 速度を設定したい機能に合わせ、ステアリングコラムのコントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ⑥を回します。

- スピードリミットインフォメーションが速度規制標識を認識し、制限速度を表示したら、MEMが数秒間点滅します。



- ステアリングコラムのコントロールレバーのスイッチ⑦を押して、表示された制限速度を設定速度として受け付けます。
- 再度ステアリングコラムのコントロールレバーのスイッチ⑦を押して設定速度を記憶します。



認識された速度制限と現在の設定速度の差が10km以下のときは、MEMは表示されません。

## 警 告

●スピードリミットインフォメーションは、法定速度を守った走行や、安全運転を支援する機能です。システムを過信せず、運転者の責任の下で速度規制標識を確認し、走行速度には十分注意してください。

●速度規制標識の角度や配置、汚れ、気象条件(雨、雪、光など)によっては、カメラが速度規制標識を正しく読み取ることができなかったり、制限速度を表示しない場合があります。



泥や雪などが付着するとフロントウィンドウにあるカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

# 運転装置の使いかた

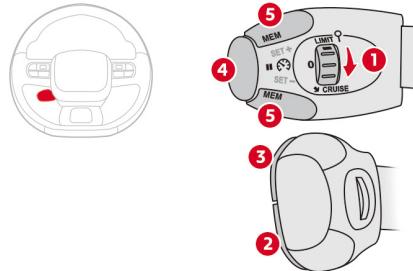
3

## クルーズコントロール／ スピードリミッター

クルーズコントロールは、ドライバーによって時速40km以上で設定された速度（シフトレバーD、またはマニュアルモード2速以上）を、アクセルペダルを踏まなくても道路の状態にかかわりなく常に一定に保って走行する機能です。

スピードリミッターは、あらかじめドライバーが設定した速度（最低時速30km以上）を超えて走行しないようにする機能です。設定速度以上にアクセルペダルを踏み込んでも加速しません。

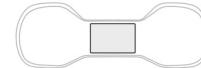
### ● クルーズコントロール



クルーズコントロールは、コントロールレバーのスイッチを使用して設定します。

- ①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
- ②：速度設定／設定速度の減少
- ③：速度設定／設定速度の増加
- ④：システムの一時停止／復帰
- ⑤：スピードリミットインフォメーションの表示速度受付

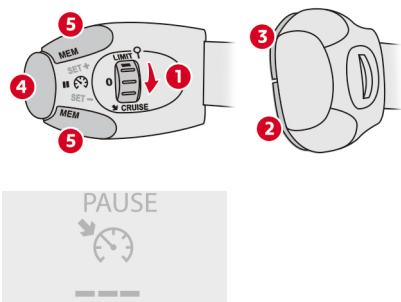
### ● 表示パネル



クルーズコントロールの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

- ⑥：クルーズコントロールモード選択表示
- ⑦：クルーズコントロールオン／オフ状況表示
- ⑧：設定スピード表示
- ⑨：スピードリミットインフォメーションオン／オフ状況表示

## ● クルーズコントロールの設定



コントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を **CRUISE** 側に回すと、クルーズコントロール機能が使用可能になりますが、速度は設定されていません。②または **LIMIT** の位置に回すとオフになります。

## ● 走行速度の設定



希望する速度（時速40km以上）で走行中にコントロールレバーのボタン②か③を押すと、その速度が記憶されて自動的にその速度を維持して走行します。スピードリミットインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を、スイッチ⑤の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「スピードリミットインフォメーション」項を参照してください。

## 警 告

クルーズコントロールを過信せず、走行速度には十分注意してください。



クルーズコントロールを使用中でも、アクセルペダルを踏んで加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。アクセルペダルから足を離すと元の速度で走行します。

急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定の速度を超えてしまう場合にも速度表示が点滅します。



## ● 設定速度の変更

定速走行中に、ボタン②を押すと設定速度が減少し、ボタン③を押すと増加します。短く押すと1km／hずつ、長く押すと5km／hずつ速度が変化します。またはアクセルペダルを踏んで加速した後にコントロールレバーのボタン②か③を押すと、あらためてその速度にセットされます。

## ● 設定速度の解除

ボタン④を押すか、ブレーキペダルを踏むと、クルーズコントロールが解除されます。また、最低速度や使用ギアの範囲を超えたとき、ESCが作動したときにも解除されます。解除後、再度ボタン④を押すと最後の設定速度に戻ります。

## ● 設定速度の消去

イグニッションをオフにしたり、スピーデリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチを0になると設定速度の記憶が消去されます。

## ● システムの異常

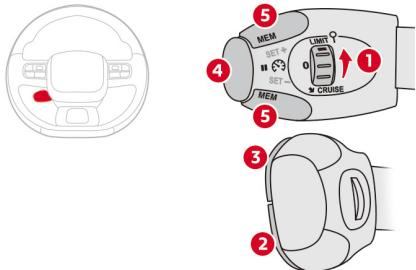


速度表示が消えてーが点滅しているときは、システムに異常があります。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

## ⚠️ 警告

- スイッチ②または③を押し続けて速度を変更するとき、急加速または急減速することがありますので十分注意してください。
- 交通量が多い道路や滑りやすい路面では、クルーズコントロールを使用しないでください。思わぬ事故を起こすことがあります。
- クルーズコントロールシステムを作動させている場合においても、適切な車間距離を保って走行してください。前を走行している車両との車間距離を適切に保つのは、運転者の義務です。
- クルーズコントロールシステムを使用しない場合には、クルーズコントロール機能をオフにしてください。誤ってシステムが働いてしまうのを防止します。
- 道路状況や交通状況に応じた車速を設定してください。誤った速度設定は事故につながるおそれがあります。

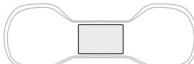
### ●スピードリミッター



スピードリミッターは、コントロールレバーのスイッチを使用して設定します。

- ①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
- ②：設定速度の減少
- ③：設定速度の増加
- ④：システムの一時停止／復帰
- ⑤：スピードリミットインフォメーションの表示速度受付

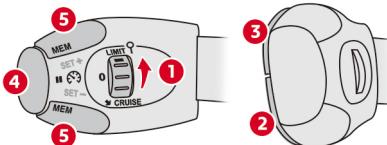
### ●表示パネル



スピードリミッターの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

- ⑥：スピードリミッターオン／オフ状況表示
- ⑦：スピードリミッターモード選択表示
- ⑧：設定スピード表示
- ⑨：スピードリミットインフォメーションオン／オフ状況表示

### ●スピードリミッターの設定



コントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を LIMIT 側に回すと、スピードリミッター機能が使用可能になり、設定速度が表示されます。

イグニッションをオフにしたり、スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチを①または CRUISE にするとシステムはオフになりますが、設定速度の記憶は残ります。

# 運転装置の使いかた

3

## ●最高速度の設定

コントロールレバーのボタン②か③を押して、希望する速度を設定します。ボタン②を押すと設定速度が減少し、ボタン③を押すと増加します。

短く押すと1km／hずつ、長く押すと5km／hずつ速度が変化します。

スピードリミットインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を、スイッチ⑤の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「スピードリミットインフォメーション」項を参照してください。

## ●スピードリミッターの作動



ボタン④を押すと、設定速度がディスプレイに表示されてスピードリミッターが作動します。アクセルペダルを踏み込んでその速度以上では走行しません。再度ボタン④を押すと、解除されます。

## ⚠ 警告

スピードリミッターを過信せず、走行速度には十分注意してください。



スピードリミッターが作動中でも、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むことで一時的に加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。アクセルペダルから足を離すと元の速度で走行します。急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超てしまう場合にも速度の表示が点滅します。



## ●システムの異常



速度表示が消えてーが点滅しているときは、システムに異常があります。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

## ヒルスタートアシスタンス

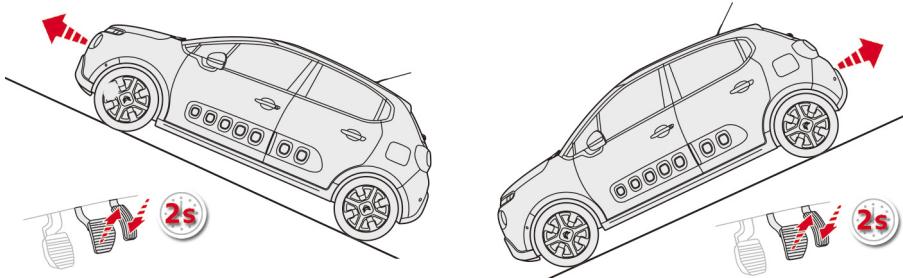
ヒルスタートアシスタンスは坂道発進を補助するための機能で、ブレーキペダルから足を離しても一定時間（ブレーキペダルからアクセルペダルまで足を移動する間）ブレーキがかかった状態を維持します。

この機能は以下の条件がすべて揃ったときに作動します。

- ・坂道で車が完全に停止してブレーキペダルがしっかりと踏まれている。
- ・運転席ドアが閉まっている。
- ・坂道の勾配が適正である。

### 警告

ヒルスタートアシスタンス作動中は、車から出ないでください。やむを得ずエンジンをかけたまま駐車して車を離れるときは、パーキングブレーキをかけ、インストルメントパネルのブレーキ警告灯が点灯していることを確認してください。



### ●登り坂で前方へ発進するとき

シフトレバーが D または M のとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。



ヒルスタートアシスタンスの機能を解除することはできません。

### ●下り坂で後方へ発進するとき

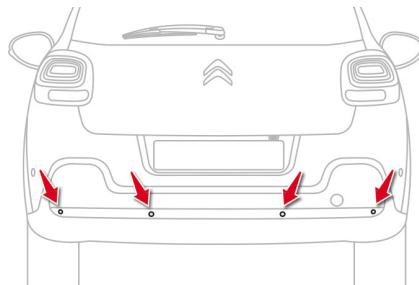
シフトレバーが R のとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

### ●ヒルスタートアシスタンスの故障



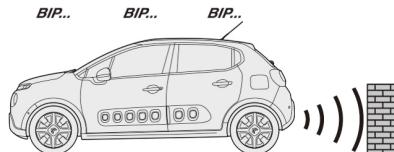
ヒルスタートアシスタンスに異常が発生した場合に点灯します。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

## バックソナー



リアバンパーに埋め込まれたセンサーが障害物（歩行者、車、立木、門など）を検知します。

システムは、エンジン回転中にシフトレバーを R に入れると作動します。



障害物に接近すると警告音の頻度が上がり、およそ30cm以内に接近すると連続した警告音に変わり、危険を表すアイコンが表示されます。

システムは、シフトレバーを R 以外に入れるると解除されます。

### ● バックソナーの設定

システムの機能をオン／オフするには、タッチスクリーンで設定します。

### ● システムの異常

この機能に異常があると、シフトレバーを R に入れると警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

## ⚠ 警告

障害物の形状によってはセンサーが検知できないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。

## 注意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上リアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。

3

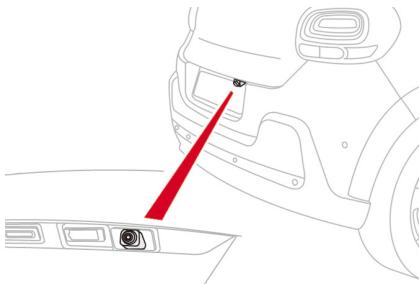


- リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。
- リアバンパーの真下付近は検知しません。
- けん引するときや自転車用リアキャリアを装着しているときは、システムを停止する必要があります。
- 走行中、車、トラック、ドリルなどの騒音によって警告音が鳴ることがあります。

# 運転装置の使いかた

## バックカメラ \*

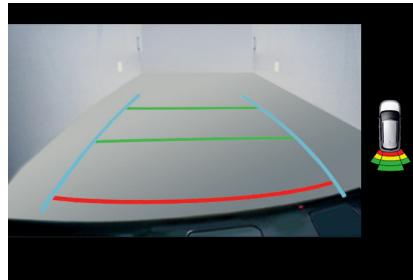
3



シフトレバーを R に入れると、テールゲートの番号表示灯横に取り付けられたカメラからの映像がタッチスクリーンに映し出されます。



バックカメラは、テールゲートが閉まった状態でご使用ください。



映像には距離や車幅の目安となるラインが表示されます。

- ・ 青いライン：ドアミラーを除いた車幅の目安です。
- ・ 赤いライン：バンパーの後方約30cmの目安です。
- ・ 緑色のライン：それぞれバンパーから1m、2m 後方の目安です。

## ⚠ 警告

- バックカメラは運転を補助する機能です。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な操作をしてください。安全の確保は運転者の義務です。
- バックカメラの映し出す映像を過信せず、必ず目視での確認も行ってください。

## ⚠ 注意

カメラより上の部分は映し出されません。高さのある障害物などには注意してください。

## 注意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上カメラから離してご使用ください。

\* 仕様により異なります。

## 間接式タイヤ空気圧警告

ESCシステムが検知しているタイヤの回転に関する情報をもとにして、タイヤの空気圧に大きな変化があった場合に、警告をする機能です。

この機能は、以下のような状況のときに正常に作動します。

- ・初期化がされている。
- ・時速5km以上での速度で走行している。

警告灯が点灯した場合はすみやかに停止し、タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。



- タイヤの空気圧に20%以上の変化があった場合に警告灯が点灯します。
- 異常が検知された場合は、8分以内に警告灯が点灯します。

### ●間接式タイヤ空気圧警告システムの初期化

タイヤの空気圧を調整したり、ホイールを変更したりした場合は、必ず間接式タイヤ空気圧警告機能を初期化してください。

これにより、その時点までの計測値をクリアして新たな標準値の取得とタイヤの回転情報の収集を開始します。

1. タッチスクリーンのこのアイコンにタッチします。
2. ドライビング機能にタッチします。
3. タイヤ空気圧警告 初期化にタッチします。
4. Yesにタッチします。

### ●システムの異常



間接式タイヤ空気圧警告システムに異常が発生した場合は、間接式タイヤ空気圧警告灯が点滅したのち連続点灯します。また、警告音とともに SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

### ⚠ 注意

- 初期化を行う前に、すべてのタイヤの空気圧が適正であることを確認してください。
- 間接式タイヤ空気圧警告機能は、初期化時の空気圧が適正であるかどうかを検知することはできません。

## 運転装置の使いかた

---

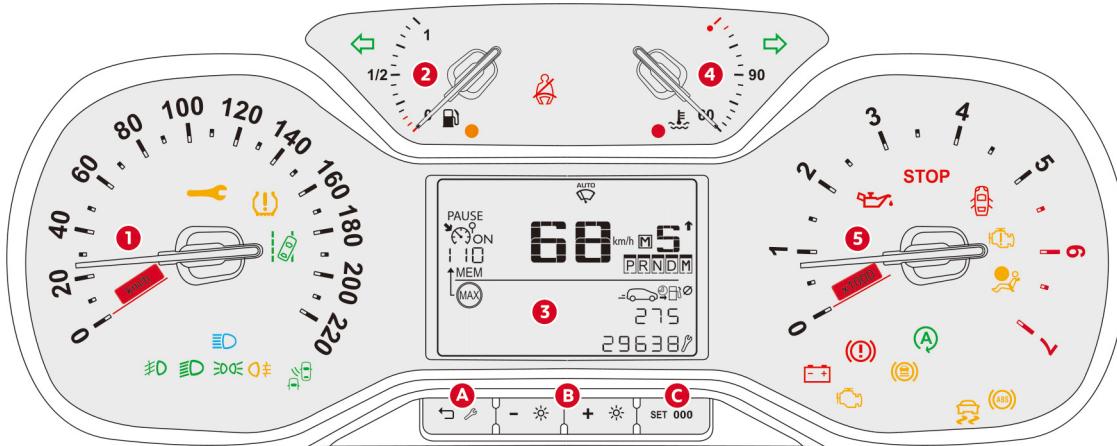
3

## 第4章 メーター・ライト・ワイパー 装置の使いかた

インストルメントパネル	4-2
表示灯類	4-4
警告灯類	4-7
冷却水温度計	4-12
エンジン油量インジケーター	4-13
サービスインジケーター	4-14
オドメーター／トリップメーター	4-15
インストルメントパネルの調整（明るさ調整）	4-16
ライト類（ヘッドライト、フォグランプ、方向指示器、 ハザードランプ）	4-17
ワイパー／ウォッシャー	4-24
ドライブコンピューター	4-27

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

## インストルメントパネル



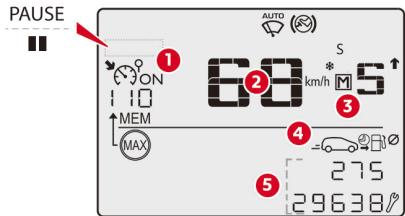
### ●メーター

1. スピードメーター
2. 燃料計
3. ディスプレイ
4. 冷却水温度計
5. タコメーター

### ●ボタン

- A. サービスインジケーターリセット／サービスインジケーター呼び出し
- B. インストルメントパネル照明コントローラー
- C. トリップメーターリセット

\* 仕様により異なります。



## ⚠ 警告

スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください。誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ● ディスプレイ

1. クルーズコントロール／スピードリミッター／スピードリミットインフォメーション表示
2. デジタルスピードメーター
3. シフトポジション／シフトタイミングインジケーター\*
4. ドライブコンピューター
5. トリップメーター／オドメーター／サービスインジケーター

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

## 表示灯類

表示灯は、作動状態を表示するものと機能停止を表示するものがあります。

いくつかの表示灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあります。また、ひとつの表示灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。

例：パーキングブレーキがかかっている／ブレーキシステムに異常がある。

### ●作動状態を表示する表示灯

表示灯	状態	意味	対処方法
	<b>左方向 ウインカー</b>	点滅／ブザー	ライトスイッチレバーが下に動かされています。 ライトスイッチレバーを水平にすると消灯します。
	<b>右方向 ウインカー</b>	点滅／ブザー	ライトスイッチレバーが上に動かされています。 同上
	<b>ポジション ランプ</b>	点灯	ライトスイッチがポジションランプの位置にあります。 ライトスイッチレバーを0にすると消灯します。
	<b>ロービーム</b>	点灯	ライトスイッチがロービームの位置にあります。 同上
	<b>ハイビーム</b>	点灯	ライトスイッチレバーが手前に引かれています。 ライトスイッチレバーを再度手前に引くとロービームに戻ります。
	<b>フロント フォグランプ</b>	点灯	ライトスイッチレバーのリングを前方へ回しました。 ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。
	<b>リア フォグランプ</b>	点灯	ライトスイッチレバーのリングを2回前方へ回しました。 ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。

# メーター・ライト・ワイヤー装置の使いかた

表示灯	状態	意味	対処方法	
	インテリジェントハイビーム	点灯	タッチスクリーンの設定で機能が有効になっていて、ライトスイッチが <b>AUTO</b> の位置にあります。	
			周囲の明るさや運転状況により、ロービームが点灯しています。	
	点灯	タッチスクリーンの設定で機能が有効になっていて、ライトスイッチが <b>AUTO</b> の位置にあります。	フロントウィンドウ上部のカメラが周囲の明るさや運転状況を検知し、ハイビーム／ロービームの切り替えを行います。 詳細は「インテリジェントハイビーム」項を参照してください。	
		周囲の明るさや運転状況により、ハイビームが点灯しています。		
	パーキングブレーキ	点灯	パーキングブレーキがかかっています。	ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキを解除してください。
	ブラインドスポットセンサー*	点灯	ブラインドスポットセンサー機能が作動しています。	詳細は「ブラインドスポットモニター」項を参照してください。
	ブレーキ作動促進*	点灯	ブレーキペダルを踏む必要があります。	エンジンがかかっているときは、パーキングブレーキを解除する前、またはシフトレバーを P から移動させる前に、必ずブレーキペダルを踏んでください。

\* 仕様により異なります。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

表示灯		状態	意味	対処方法
	ストップ&スタート	点灯	赤信号などで停止したときに、ストップ＆スタートによってエンジンが停止しています。	発進時には警告灯が消灯し、自動的にエンジンがかかります。
		数秒間点滅して消灯	停止モードが一時的に使用不可、または自動的にスタートモードになりました。	詳細は「ストップ＆スタート」項を参照してください。

## ●機能停止を表示する表示灯

表示灯		状態	意味	対処方法
	アクティブセーフティブレーキ*	点灯	アクティブセーフティブレーキ機能が解除されています。	詳細は「アクティブセーフティブレーキ」項を参照してください。

\* 仕様により異なります。

## 警告灯類

イグニッションがオンになると、警告灯類が数秒間点灯します。エンジンが始動するとそれらの警告灯は消えます。

いずれかの警告灯が、車が動き出す前まで点灯していたり、走行中に点灯または点滅したときは、関連する情報を参照してください。

いくつかの警告灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあります。また、ひとつの警告灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。

例：パーキングブレーキがかかっている／ブレーキシステムに異常がある。

また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。

例：パーキングブレーキがかかっている／ブレーキシステムに異常がある。

警告灯		状態	意味	対処方法
<b>STOP</b>	<b>STOP</b>	点灯／警告音／メッセージ	エンジン、ブレーキ、パワーステアリングなどに異常が発生しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを止め、シトロエン指定サービス工場へご連絡ください。
	<b>SERVICE</b>	点灯（一時的）／メッセージ	軽微な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 ・ドア、テールゲート、ボンネットの開閉状況、など 解決しない場合は、直ちにシトロエン指定サービス工場へご連絡ください。
		点灯／メッセージ	重大な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 直ちにシトロエン指定サービス工場へご連絡ください。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

4

警告灯	状態	意味	対処方法
(!)	ブレーキ	点灯 ブレーキ液量が大幅に低下しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、シトロエン推奨のブレーキ液を補給してください。 問題が解消されない場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
(!) (ABS)		点灯 電子式制動力制御装置 (EBFD) に異常が発生しています。 (ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時点灯)	直ちに安全な場所に車を停止させ、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
(ABS)	ABS(アンチロッ クブレーキ)	点灯 アンチロックブレーキシステムに異常が発生しています。	通常のブレーキとして機能します。 注意して速度を下げて走行し、直ちにシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
!	ESC	点滅 ESC システムが作動中です。	システムは正常です。 安定した走行に戻ると消灯します。
!		点灯 ESC システムに異常が発生しています。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
(!)	アクティブセーフ ティブレーキ *	点滅 アクティブセーフティブレーキの自動ブレーキが作動中です。	前方の車両との衝突速度を抑制するために自動的にブレーキが作動しました。ブレーキを踏んでスピードを落としてください。
!		点灯／警告音／メッセージ アクティブセーフティブレーキ機能に異常があります。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

\* 仕様により異なります。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯	状態	意味	対処方法
	半ドア	点灯／メッセージ (時速10km 以下)	
		点灯／警告音／ メッセージ (時速10km 以上)	ドアまたはテールゲートが開いています。 ドアまたはテールゲートを閉めてください。
	レーン デパートチャ ーウオーニング *	点滅／警告音	車線マーカーを逸脱する可能性 があると判断されました。 詳細は「レーンデパートチャーウオーニング」項を参照して ください。
		点灯	レーンデパートチャーウオーニング 機能に異常があります。 レーンデパートチャーウオーニング機能が作動していません。 注意して走行し、シトロエン指定サービス工場で点検を 受けてください。
	エアバッグ	点灯（一時的）	システムの点検中です。 (数秒間点灯した後に消灯) エンジンを始動すると消灯します。 警告灯が消えない場合は、シトロエン指定サービス工場 にご連絡ください。
		点灯	エアバッグまたはシートベルト プリテンションシステムに異常 が発生しています。 シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	シートベルト	点灯または点滅／ 警告音	シートベルトを着用していません。 着用していたシートベルトをはずしました。 ベルトを引き出しバックルに差し込んでください。

## メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

4

警告灯	状態	意味	対処方法
	冷却水温	点灯 冷却水の温度が過剰に上昇しています。	直ちに安全な場所に車を停止させてください。冷却水の補給が必要な場合は、エンジンが冷えてから補給してください。 問題が解消されない場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	エンジン油圧	点灯 油圧が不足しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	バッテリー	点灯 充電機能に異常が発生しています。	エンジンを始動すると消灯します。 警告灯が消えない場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯／警告音／メッセージ タイヤの空気圧に異常があります。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。
	タイヤ空気圧	点滅後に点灯 <b>(SERVICE 警告</b> 灯も点灯) タイヤ空気圧警告システムに異常が発生しています。システムは作動していません。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。 シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

\* 仕様により異なります。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯	状態	意味	対処方法
	自動診断	点灯	排気ガス浄化システムに異常が発生しています。 エンジンを始動しても警告灯が消えない場合は、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	点滅	エンジン制御システムに異常が発生しています。 触媒コンバーターが故障しているおそれがあります。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。	
	自動診断	点灯 ( <b>SERVICE</b> 警告灯も点灯)	エンジンに軽微な不良が発生しています。 シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯 ( <b>STOP</b> 警告灯も点灯)	エンジンに重大な不良が発生しています。 直ちに安全な場所に車を停止させ、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	燃料残量	点灯／警告音／メッセージ	燃料が少なくなっています。 早めに燃料を補給してください。
			イグニッションをオンにする度に警告灯は点灯します。 燃料タンクの容量は約45リットルです。 燃料がなくなるまで、走行を続けないでください。 排気ガス浄化システムおよび点火系統が損傷するおそれがあります。
	FAP (ディーゼルパーティキュレートフィルター) *	点灯	イグニッションをオンになると数秒間点灯しますが、異常ではありません。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

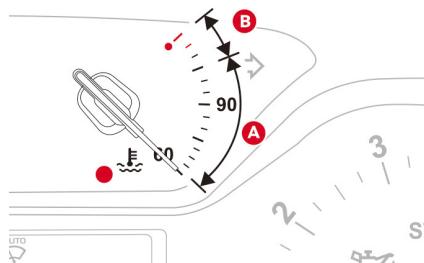
## △警告

- STOP 警告灯と連動して警告灯が表示されたときは直ちに車を停止させてください。
- 警告灯が表示される故障は、深刻なケガや車両へのダメージを引き起こすことがあります。安全な場所に停車し点検してください (6-3ページ参照)。



4  
MEMO  
高速道路など自動車専用道路での燃料切れは、道路交通法違反になります。走行前に燃料が十分あることを確認してください。

## 冷却水温度計



針が A のゾーンにあるときは、水温は適正です。

針が B のゾーンにあるときは、オーバーヒートの状態です。冷却水温警告灯と STOP 警告灯が点灯して、警告音とともにメッセージが表示されます。

直ちに安全な場所に車を移動させ、1分間アイドリングを行ってからエンジンを停止してください。そのまましばらく冷却水温度計が下がるのを待ってください。冷却水の補給が必要な場合は、エンジンが冷えてから補給してください。

冷却水温度計が下がらない場合は、シトロエン指定サービス工場へご連絡ください。

## △警告

エンジンが冷えてから、冷却水を補充してください。冷却系統には圧力がかかっています。やけどを防ぐために、キャップを2回ほど回し、圧力を逃してから、キャップをはずして冷却水を補充してください。

## エンジン油量インジケーター \*

イグニッションをオンにすると、インストルメントパネルに油量の状態が数秒間表示されます。

油量は、車体が水平な場所にあってエンジン停止後30分以上経過しているときに正確に表示されます。

エンジンオイル量は正常です。

OIL OK

エンジンオイル量が少なくなっています。

OIL

警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。エンジンオイルレベルゲージで正確な量を確認し、少ないときは補充してください。エンジンオイルが少ないまま使用すると、エンジンが損傷するおそれがあります。

オイルレベルセンサーの故障です（セグメントが点滅します）。

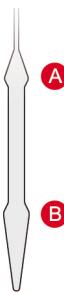
OIL\_\_

車体を水平な場所に置き、エンジン停止後30分以上経過してからエンジンオイルレベルゲージで測定してください。油量に問題がなければ、オイルレベルセンサーが故障しているので、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。



### オイルレベルゲージ

ゲージには2ヶ所のマークがあります。



**A** : オイル量最大  
これを超えないようにしてください。

**B** : オイル量最少  
**A**と**B**の間になるよう  
にオイルを補充してください。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

## サービスインジケーター



サービスインジケーターは、お客様に次回のメーカー推奨点検時期がいつ頃かをお知らせするものです。

### ●作動

次の点検まで3000km以内になったとき、イグニッションをオンにした後の数秒間、スパナのマークが表示され、次回の点検までのおよその残りキロ数が表示されます。

また、表示が消えた後、インストルメントパネルのサービスインジケータリーセット／サービスインジケーター呼び出しボタンを押すと数秒間表示されます。

例：次回の点検までおよそ2800kmであることを示しています。この表示は数秒間表示されます。



その後は本来の機能に戻り、オドメーターとして機能します。



次の点検まで900kmであることを示しています。この表示は数秒間表示されます。



その後はオドメーターとして機能しますが、1000km以内の場合はスパナのマークは残ります。



### ●点検時期を経過した場合

イグニッションをオンにした後の数秒間、スパナのマークが点滅し、点検時期経過後のおよその走行キロ数がマイナス表示されます。

例：点検時期を経過してからおよそ300km走行したことを示しています。この表示は数秒間表示されます。



その後はオドメーターとして機能しますが、スパナのマークは残ります。



点検時期のお知らせは、走行距離と前回の点検時期から割り出されています。最後の点検から2年を経過した場合にもスパナマークが点灯します。

## ●ゼロリセット



リセットはシトロエン指定サービス工場にて点検終了後に行いますが、お客様がご自分でリセットする際には以下の方法で行います。

1. イグニッションをオフにします。
2. インストルメントパネルのボタンを押し続けます。
3. イグニッションをオンにします。
4. 数字のカウントダウンが始まります。
5. カウントダウンが終了したら、押していたボタンを放します。
6. リセットが完了。スパナのマークが消えます。



●シトロエン指定サービス工場では、定期点検が完了したときにサービスインジケーターをリセットして、次の定期点検時期をお知らせするようにしています。もし、サービスインジケーターを継続してご使用になりたいときは、車をお預けの際にシトロエン指定サービス工場の担当者にお伝えください。

●リセット直後にバッテリーをはずすと、リセットが無効になります。ドアを施錠して少なくとも5分間待つてから、バッテリーをはずしてください。

## オドメーター／トリップメーター



上：ドライブコンピューターをリセットしてから現在までの走行距離（トリップメーター）

下：総距離数（オドメーター）

以下のときにオドメーター／トリップメーターが表示されます。

- ・施錠する
- ・解錠する
- ・イグニッションをオフにする
- ・イグニッションがオフで運転席ドアを開ける

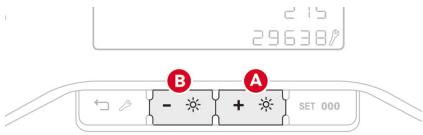


距離の単位は必ず km 表示を使用してください。  
設定はタッチスクリーンで行います。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

## インストルメントパネルの調整（明るさ調整）

### ●インストルメントパネル照明コントローラー



4 インストルメントパネルの明るさを調整することができます。ボタンAを押すと暗から明へ、ボタンBを押すと明から暗へ明るさが変化します。ボタンを放すと、その明るさに設定されます。



インストルメントパネルの明るさを調整すると、タッチスクリーンの照度も調整されます。

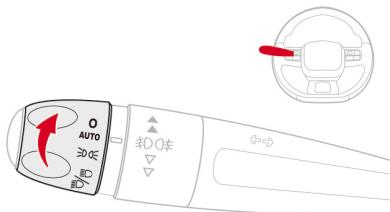
### ●タッチスクリーンの照度調整



タッチスクリーンで調整します。  
<または>にタッチするか、カーソルを動かして調整してください。

## ライト類（ヘッドライト、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）

### ● ヘッドライト



- 低温高湿度のとき、ヘッドライトやテールランプのレンズ内側が曇ることがあります。点灯して数分後になくなります。
- 電球の交換が必要な場合など、ランプ類に異常があるときはメッセージが表示されることがあります。

### ● ライトスイッチ（リング A）

ヘッドライトの操作は、レバーのリングを回します。

**O** ランプが消灯します。

**AUTO** オートライトモード

ポジションランプおよびテールランプが点灯します。

### ⚠ 警告

ポジションランプは、他の車からあなたの車を確実に確認できるほどの十分な明るさではありません。事故のおそれがありますので、周囲が暗いときはや視界が悪いときは、ヘッドライトを点灯してください。



ヘッドライトのロービーム／ハイビームが点灯します。

ヘッドライトをハイビームに切り替えるときは、スイッチレバーを手前に引きます。再度、手前に引くとロービームに切り替わります。

### ● パッシング

スイッチレバーを浅く手前に引くと、パッシングライトとして使用できます。

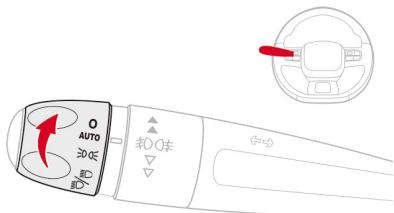


● イグニッションをオフにすると、すべてのライトが消灯します（フォローミーホーム機能がオンのときを除く）。ライトスイッチをいったんOにすることによって、ライトを再点灯することができます。

● マニュアルモードでライト点灯中に、イグニッションがオフの状態でライトスイッチをオンにしたまま運転席側のドアを開けると、ライト消し忘れブザーが鳴ります。ライトスイッチをオフにするとブザーは止まります。イグニッションがオフの状態でライトを点灯したままにすると、バッテリー上がりを防止するために一定の時間後自動的に消灯します。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

## ●オートライト



4  
周囲が暗くなったりワイパーが作動すると、自動的にポジションランプやヘッドラップが点灯します。周囲が明るくなったりワイパーが停止すると、自動的に消灯します。

### 作動

リングを **AUTO** 位置に回します。  
オートライトが選択されていることが表示されます。

### 機能解除

リングを **AUTO** 以外の位置に回します。  
オートライトが解除されたことが表示されます。

## ⚠ 注意

● 昼間の霧や雪のときは、周囲が明るいのでオートライトが作動しないことがあります。

安全のため、手動でライトを点灯してください。

● フロントウィンドウの照度センサーを覆わないでください。オートライト機能が正常に作動しません。

照度センサーに異常が発生した場合、自動的にヘッドランプが点灯し、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

## ● インテリジェントハイビーム \*

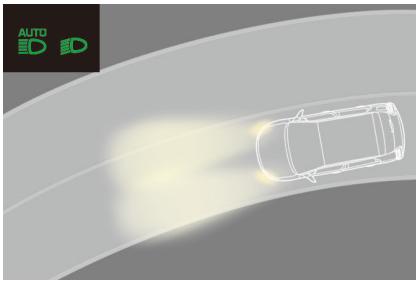
フロントウィンドウ上部に備えられたカメラによって周囲の明るさと運転状況を検知し、ヘッドライトのロービームとハイビームを自動的に切り替える機能です。

## ⚠ 警告

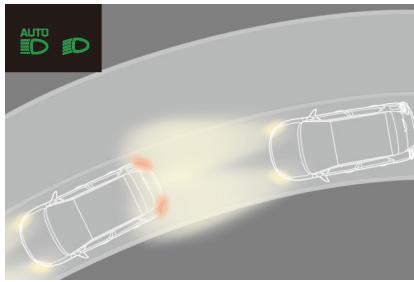
インテリジェントハイビームは操作を補助する機能です。運転者の責任の下で、点灯状態、視界、道路状況などを把握し、他の車の妨げにならないよう、また法律で義務付けられた方法に従つて、正しく使用してください。

\*仕様により異なります。

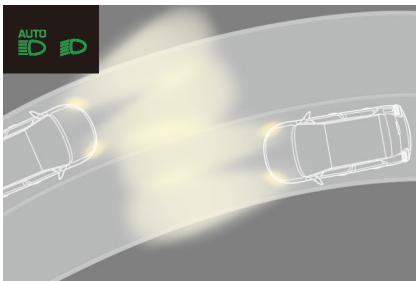
# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた



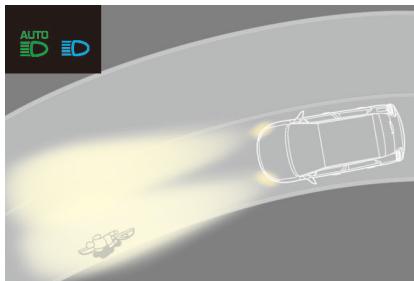
ロービーム点灯：周囲が明るいためハイビームが不要な場合



ロービーム点灯：先行車がある場合



ロービーム点灯：対向車がある場合



ハイビーム点灯：ハイビームが必要な場合

## 機能をオンにする

1. ライトスイッチレバーのリングを AUTO 位置に回します。
2. タッチスクリーンのこのアイコンにタッチします。
3. ドライビング機能にタッチします。
4. インテリジェントハイビームにタッチします。



インテリジェントハイビームは時速25km以上で作動します。時速15km以下になると作動が停止します。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

## ハイビーム／ロービームの切り替え条件

以下のときにロービームが点灯します。

- 周囲の明るさが十分にあり、運転状況がハイビームの点灯に適さないとき

 ロービームが点灯すると、この表示灯が点灯します。



以下のときにハイビームが点灯します。

- 周囲の明るさが十分になく、運転状況がハイビームの点灯に適したとき

 ハイビームが点灯すると、この表示灯が点灯します。



## 作動を中断する

システム作動中でも、インテリジェントハイビーム機能を中断し、オートライトモードに切り替えることができます。

- ライトスイッチレバーを手前に引いて機能を停止します。オートライトモードに切り替わります。

インテリジェントハイビームに戻したいときは、再度ライトスイッチレバーを手前に引きます。



●機能を中断または再度作動させると、状況により、ハイビームまたはロービームが点灯します。

●濃い霧が発生している場所を走行しているときは、自動的にインテリジェントハイビームの機能が一時中断されることがあります。機能が一時中断されると、表示灯が消灯します。その後、システムがインテリジェントハイビーム機能の作動に適していると判断すると、インテリジェントハイビーム機能が再度作動します。

## 機能をオフにする

インテリジェントハイビーム機能をオフにするには、タッチスクリーンで設定します。



●ライトスイッチレバーの操作ではインテリジェントハイビームをオフできません。

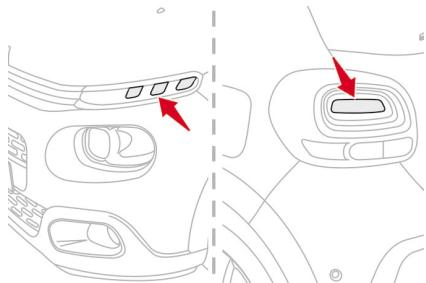
●以下のようなときは、機能が正確に作動しないことがあります。

- 降雪、豪雨、濃霧などの悪環境のとき
- フロントウィンドウが汚れている、曇っている、ステッカーを貼っているなど、カメラ部分の視界が不十分なとき
- 看板や標識などに反射した強い光が車両に当たっているとき

●カメラは以下のような対象物は検知しません。

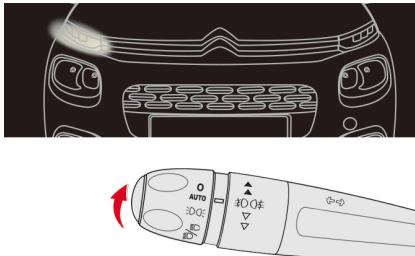
- 歩行者のように光を発しないもの
- 高速道路の中央分離帯などで光を遮られている車両
- 急勾配な坂の頂上やふもと、曲がりくねった道、交差点などにおける周囲の車両

## ● デイタイムライト



エンジンを始動すると、ライトスイッチが **O** または **AUTO** で周囲が明るいときにデイタイムライトだけが自動的に点灯します。これ以外のランプやインストルメントパネル内のポジションランプ表示灯は点灯しません。

## ● パーキングライト

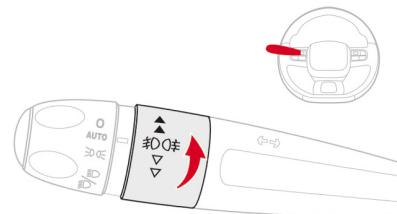


路肩に駐車する場合、ポジションランプを片側（通常は車両通行側）のみ点灯させることができます。

イグニッションをオフにして、1分以内にライトスイッチレバーを点灯させたい側に操作します。警告音とともに表示灯（ワインカー）が点灯し、片方のポジションランプが点灯します。

レバーを戻すと、ポジションランプは消灯します。

## ● フロント／リアフォグランプ



ポジションランプまたはヘッドライトがオンのときに使用できます。

リングを1回前方へ回すとフロントフォグランプが点灯します。リングをさらに1回前方へ回すとリアフォグランプも点灯します。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

## △警告

リアフォグランプは晴天時や雨天時には使用しないでください。後続車に眩惑を与えます。



エンジン回転中にオートライトで消灯してもフォグランプおよびポジションランプは点灯し続けます。リングを回して消灯してください。フォグランプが消灯するとポジションランプも消灯します。

4

### ● フォローミーホーム（駐車時照明機能）

周囲が暗いときや夜間にイグニッションをオフにした後しばらくの間、ヘッドライトが点灯したままになります。

#### オート操作

オートライトモードになっていると自動的にこの機能が作動します。

#### マニュアル操作

オートライトモードでないときも、作動させることができます。

イグニッションをオフにして、パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

#### キャンセル操作

パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

#### 設定

フォローミーホームのオン／オフの切り替え、点灯時間の設定は、タッチスクリーンで行います。

### ● エクステリアウェルカムランプ

周囲が暗いときや夜間に、車外でリモコンの解錠ボタンを押すと、ヘッドライトなどが点灯して乗車をサポートします。

#### 点灯



リモコンの解錠ボタンを押します。

ドアの解錠とともに、ヘッドライトのロービームおよびポジションランプが点灯します。

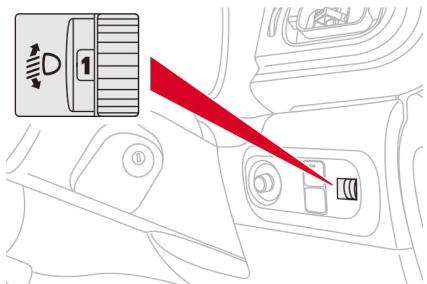
#### 消灯

イグニッションをオンにする、またはドアを施錠すると自動的に消灯します。

#### 設定

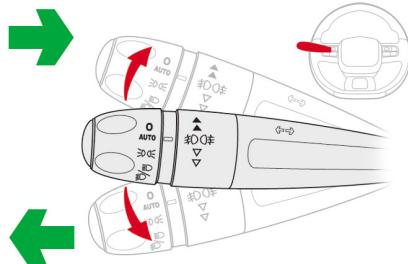
エクステリアウェルカムランプのオン／オフの切り替え、点灯時間の設定は、タッチスクリーンで行います。

## ● ヘッドライト照射角度調整



ラゲッジルームに重量物を積んでヘッドライトが上向きになったときは、対向車に眩しくないよう、ダイヤルの数値を上げて照射角度を下向きにしてください。

## ● 方向指示器



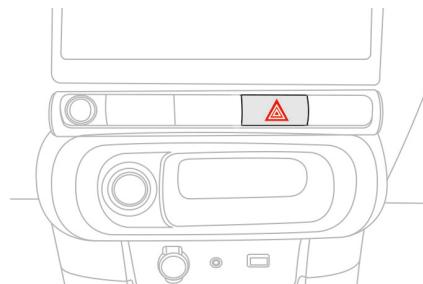
**右方向に出す場合**：ライトスイッチレバーを上に動かします。

**左方向に出す場合**：ライトスイッチレバーを下に動かします。



車線変更などのとき、ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。

## ● ハザードランプ



イグニッションキーまたは**START / STOP**スイッチの位置に関係なくスイッチを押すと作動します。

他車に緊急停車中であることを示します。

### 緊急制動表示灯

急ブレーキをかけると、減速度によってハザードランプが自動的に点滅を始めます。車が加速を始めると自動的に解除されますが、スイッチを押して解除することもできます。

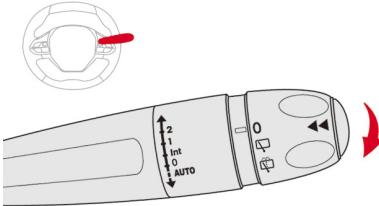


渋滞の最後尾についたときは、手動でハザードランプを点滅させて、他の運転者に警告してください。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

## ワイパー／ウォッシャー

### ● フロントワイパー



4 ワイパーレバーは以下のように5段階で作動します。

- 2 高速作動
- 1 通常作動
- Int 間欠作動
- 0 停止
- AUTO ↓ 自動作動／1回作動

間欠作動は、車速に応じて休止時間が変化します。

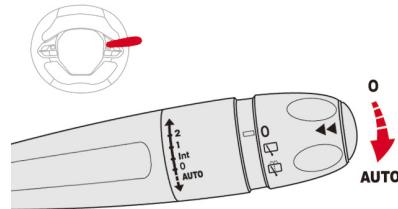
## △ 注意

- ウィンドウガラスが乾いているときは、ワイパーを使用しないでください。フロントウィンドウに傷を付けることがあります。
- 外気温が高温のときや、低温で凍結のおそれがあるときは、ワイパーがフロントウィンドウにくっついていないか確認してください。ワイパーを損傷するおそれがあります。

### ● オートワイパー

ワイパーを AUTO モードにしておくと、降る雨の量に応じて自動的にワイパーが作動します。

### 作動



レバーを押し下げる AUTO モードが作動します。インストルメントパネルの表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。システムに異常が発生すると、ワイパーレバーが AUTO の位置では間欠作動となります。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

## 解除

レバーをもう一度押し下げるか、もしくは0以外のポジションに動かします。インストルメントパネルの表示灯が消灯し、メッセージが表示されます。



イグニッションを1分以上オフになると、**AUTO** モードは解除されます。  
**AUTO** モードを使用する場合は再度レバーを押し下げてください。

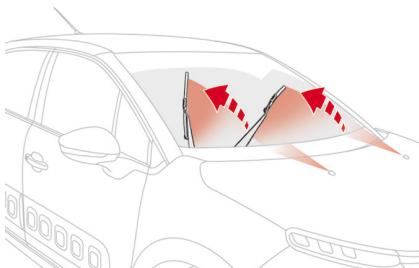
## △注意

洗車する際は、オートワイパー機能を解除してください。水滴によってオートワイパーが突然作動して、ケガをしたり、車を損傷するおそれがあります。

## 注意

- ルームミラーの裏側にある雨滴センサーを覆わないでください。
- フロントウィンドウが凍結しているときは、氷などが完全に溶けるまでオートワイパーの使用を控えてください。

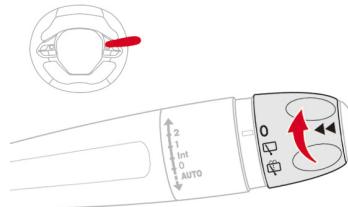
## ● ウィンドウウォッシャー



ワイパー レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射され、ワイパーが数秒間作動します。

ワイパー レバーを浅く手前に引くと、ウォッシャー液は噴射されずにワイパーが1回だけ作動します。

## ● リアワイパー



リングを回すとリアワイパーが作動します。(間欠式)



停止



間欠作動



ウォッシャー作動

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

## シフトレバー連動機能

フロントワイパーを作動中にシフトレバーを R に入れると、リアワイパーが作動します。

シフトレバーを R から変更すると、リアワイパーは停止します。

この機能のオン／オフを切り替えるときはタッチスクリーンで設定します。

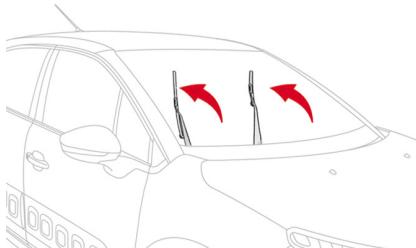


MEMO

リアウィンドウに雪が積もっているときやテールゲートにキャリアを取り付けているときは、この機能をオフにすることをお勧めします。

4

## ●ワイパープレードの交換



ワイパープレードの交換は、ワイパーをメンテナンスポジションにしてから行います。

1. イグニッションをオフにしてから1分以内にワイパーレバーを操作するとワイパーがメンテナンスポジションで停止します。
2. ワイパープレードを交換するときはこの位置にしてください。
3. イグニッションをオンにしてワイパーレバーを操作すると、ワイパーは元の位置に戻ります。

## ⚠ 警告

傷んだり汚れたワイパープレードは視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。すべてのウィンドウで良好な視界が確保された状態で走行してください。



MEMO

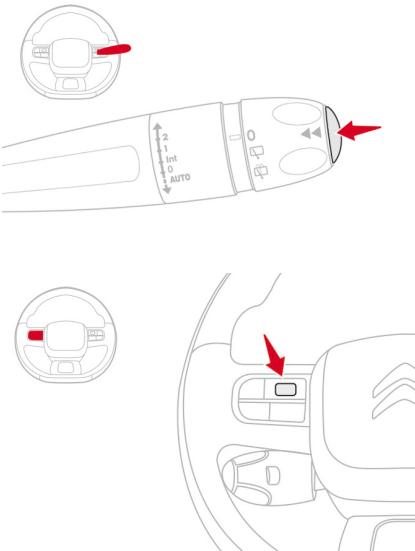
## ●ワイパープレードを長持ちさせるには、次のことに気をつけてください。

- ・丁寧に取り扱ってください。
- ・せっけん水で定期的に洗ってください。
- ・紙や異物を挟まないでください。
- ・ワイパーゴムが摩耗しているときは早めに交換してください。

## ●ワイパーアームの交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

## ドライブコンピューター

### ●コントロールスイッチ



ドライブコンピューターは、ワイパーレバー先端のスイッチを押す、またはステアリングスイッチの左側のダイヤルを回すことにより、燃費など、次の情報を切り替えて表示します。

- ・瞬間燃料消費量
- ・平均燃料消費量
- ・平均速度
- ・走行可能距離
- ・スピードリミットインフォメーション
- ・エンジン停止時間
- ・トリップメーター



瞬間燃料消費量、平均燃料消費量、平均速度、走行可能距離、エンジン停止時間、トリップメーターの下側にはオドメーターが表示されます。

### ●瞬間燃料消費量

過去数秒間の燃料消費量を表示します。

ただし、車の速度が時速30km以上とのみ作動し、表示します。

### ●平均燃料消費量

コンピューターをリセットしてから現在までの平均燃料消費量を表示します。

### ●平均速度

コンピューターをリセットしてから現在までの平均速度を表示します。

ただし、イグニッションをオンにしている状態の時間をもとに計算します。

### ●走行可能距離

タンク内に残っている燃料で、後どのくらい走行できるかを表示します。

過去数キロに消費された燃料の情報をもとに、今後も同じ割合で燃料が消費されるものと想定して表示します。

走行可能距離が30km以下になると、距離の表示はされません。

燃料の補給後は、数値が100km以上になると再度表示されます。



走行中に数値の代わりにーが連続して表示されるときは、シトロエン指定サービス工場へご連絡ください。

# メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

## ●スピードリミットインフォメーション

詳細は「スピードリミットインフォメーション」項を参照してください。

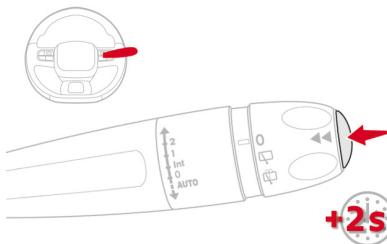
## ●エンジン停止時間

(A) ストップ＆スタートによってエンジンが停止した時間を表示します。イグニッションをオンにする度にゼロにリセットされます。

## ●トリップメーター

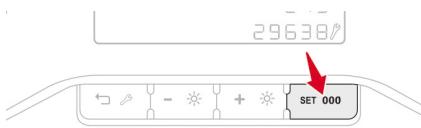
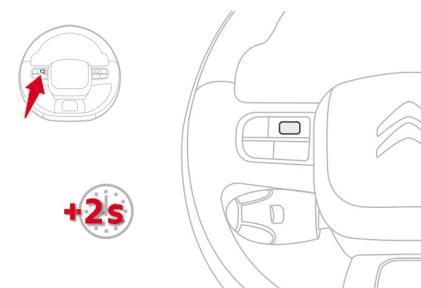
コンピューターをリセットしてから現在までの走行距離を表示します。

## ●リセット



コンピューターをリセットするときは、ワイパーレバー先端のスイッチ、ステアリングスイッチの左側のダイヤル、またはインストルメントパネルのリセットボタンを2秒以上押し続けます。リセット後しばらくはデータ不足のために正確な値が表示されないことがあります。

数字の代わりに水平なセグメントだけが表示されるときは、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

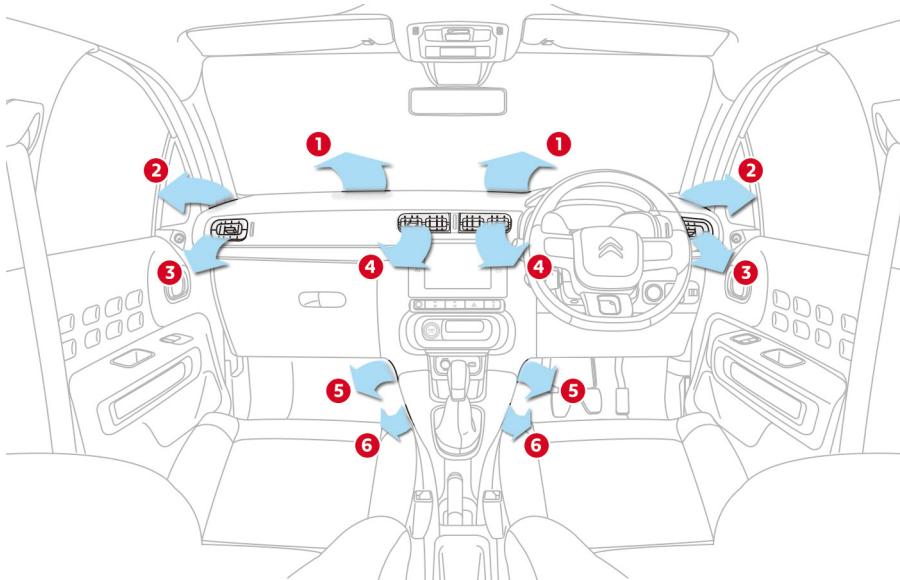


## 第5章 室内装置の使いかた

エアコンディショナー	5-2
タッチスクリーン	5-8
ラゲッジルーム	5-15
ルームランプ	5-17
インテリア	5-19
ConnectedCAM™	5-22

## 室内装置の使いかた

### エアコンディショナー



- ①：フロントウィンドウ吹き出し口
- ②：サイドウィンドウ吹き出し口
- ③：ダッシュボード左右吹き出し口
- ④：ダッシュボード中央吹き出し口
- ⑤：ダッシュボード足元吹き出し口
- ⑥：後席用吹き出し口

ダッシュボード中央と両側の吹き出し口には、ルーバーやシャッターが付いています。これを使用すると、風向や風量の調整、他の吹き出し口へより多くの風を送るなどができます。

### ⚠ 警告

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

### ⚠ 注意

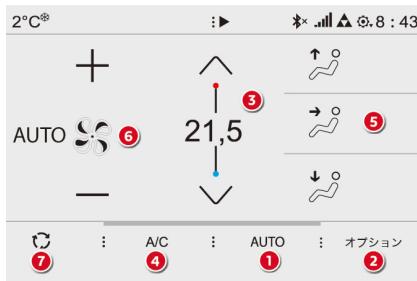
ストップ＆スタートによってエンジンが停止しているときは、暖房や冷房も止まります。必要に応じてストップ＆スタートを解除してください。



- 室内の空気の入れ替えが十分に行えるように、装置を適切にコントロールしてください。
  - ・ 室内と設定温度に差があっても、設定温度は変更する必要はありません。自動制御により、できるだけ早く温度差を解消します。
- 冬期のエアコンから吹き出す風量は、エンジンが温まる前の冷たいときは少なく、温度が上昇するのに合わせて多くなります。
- 空気の流れをスムーズにするために、次のことに注意してください。
  - ・ ボンネット内の外気取り入れ口がふさがれていなか。
  - ・ 前席下のエアダクトや吹き出し口がふさがれていなか。
  - ・ ラゲッジルーム内の空気排出口がふさがれていなか。
- ダッシュボードには日射センサーがあります。この上に物を置いたり、布を被せるなどしないでください。エアコンが正しく作動しない場合があります。
- エアコンを長期間、快適に使用するためにも、1ヶ月に1度は5分から10分間の使用を推奨しています。
- 長時間、高温の場所に停車すると、室内の温度は非常に高くなります。吹き出し風量を最大にして数分間、換気を行ってください。
- 車外からの花粉や粉じん、悪臭の侵入を防ぐフィルターが装備されています。このフィルターは定期的に交換する必要があります。詳しくはシトロエン指定サービス工場にお問い合わせください。
- エアコンを正しくお使いいただくため、定期的に点検することを推奨しています。
- 湿度が高いときなど、エアコンを使用していると車体の下から無色の水が流れ出ることがあります。これは空気中の水分が凝結したもので、異常ではありません。
- エアコンを使用していても冷気が出ないとときは、使用を中止してシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

# 室内装置の使いかた

## ●オートエアコン



オートモードでは、ディスプレイに表示されているそれぞれの数値になるまで、エアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口が選択されます。

## △注意

寒冷時や雨天時には、ウインドウの曇りを防ぐためにオートモードを選択してください。

## ●エアコン設定の表示

エアコンの設定は、タッチスクリーンで行います。

このアイコンにタッチして、エアコン設定画面を表示させてください。



タッチスクリーン画面上部のエアコン表示にタッチすると、エアコンの設定画面にアクセスできます。この画面では、温度の設定、風量の調整、およびエアコンのオン／オフができます。

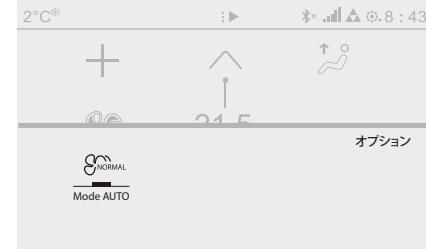
## ●オートモード

### ①：オートモードの設定

AUTO このアイコンにタッチすると、インジケーターが点灯しオートモードになります。

### ②：オプション

オプション このアイコンにタッチすると、オートモードの作動モードを変更できます。



**SOFT**：室内の送風量を制限し、静かで穏やかに作動します。

**NORMAL**：室内の温度を最適に保ちながら、エアコンの作動音を抑えて作動します。

**FAST**：室内の送風量制御を効果的に最大限活かして作動します。



- オートモードでは、エアコンが適切に制御できるよう、各吹き出し口を開いた状態にしてください。
- ウィンドウが開いていたり、直射日光下でサンシェードが開いていると設定した温度を保てないことがあります。
- イグニッションをオフにしてもエアコン設定の記憶は残ります。

## ③：温度の設定



ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。

△にタッチすると温度が上がり、▽にタッチすると温度が下がります。この値は室内温度ではなく、快適さのレベルを表しています。

21に設定しておくと、快適な室内となります。お好みにより**14～28**の間を設定してください。

## ●マニュアルモード

オートモードで設定された条件は個々に変更できます。

変更した条件を元に戻すときは、**AUTO**にタッチするとオートモードになります。



温度を最高に設定したいときは、ディスプレイに**HI**が表示されるまで△にタッチし、最低に設定したいときは、**LO**が表示されるまで▽にタッチします。

# 室内装置の使いかた

## ④：エアコンのオン／オフ

A/C このアイコンにタッチするとエアコン（冷房・除湿機能）は停止します。エアコンを作動させるには、再度アイコンにタッチします。インジケーターが点灯してエアコンが作動します。

## ⑤：吹き出し口の切り替え

アイコンにタッチして吹き出し口を選択します。

 フロントウィンドウとサイド ウィンドウ

 ダッシュボード中央と左右の吹き出し口

 足元

5

## ⑥：風量の調整

アイコンにタッチすると風量が増減します。



ディスプレイのファンの羽根が消えて OFF が表示されるとエアコンが停止します。室温の調整は行われませんが走行により微量の風が吹き出し口から出ます。  
再度アイコンにタッチすると、停止時の設定でエアコンが作動します。

## ⚠ 注意

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

## ⑦：内／外気の切り替え



外気が車内に入るのを防ぎます。外のいやな臭いの遮断や急速に冷暖房するときに使用します。

アイコンにタッチする度に内気モード／外気モードが切り替わります。インジケーターが消灯しているときは外気モード、点灯しているときは内気モードになっています。

内気モードでの長時間の使用は避けてください。換気が行われず、ウィンドウが曇ることがあります。

## ⚠ 警告

内気循環モードは、必要以外は使用しないでください。ウィンドウが曇るだけでなく、車内の空気が新鮮でなくなり、運転者の集中力が低下したり疲れやすくなるため、事故やケガにつながるおそれがあります。

## ● 視界の確保

天候や乗車状況によっては、オートモードを選択していてもウィンドウガラスが曇ることがあります。フロント／リアそれぞれの視界確保モードボタンを押して曇りを取ってください。

## ⚠️ 警告

すべてのウィンドウの視界が保たれないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## フロントウィンドウ



タッチスクリーンの下にあるボタンを押すとインジケーターが点灯し、システムは自動的に曇りを取り除くようにエアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口を選択してコントロールします。このモードを解除するときは再度ボタンを押すか、**AUTO**にタッチします。インジケーターが消灯します。



このモードを使用しているときは、ストップ＆スタートの停止モードは使用できません。

## リアウィンドウ



エンジンがかかっているときにタッチスクリーンの下にあるボタンを押すと、リアウィンドウやドアミラーの曇りを取ります。スイッチは自動的に切れます。このモードを解除するときは再度ボタンを押します。

## ● 換気モード

イグニッションをオンにしてから数分間、エンジンが停止していてもエアコン設定画面で風量と吹き出し口の切り替えを操作することができます。



- 換気モードは、バッテリーの電力が十分なときに作動します。
- 換気モードでは、エアコン（冷房・除湿機能）は作動しません。

## タッチスクリーン

コンソールのタッチスクリーンから、車の設定やオーディオシステムの操作など、以下のような操作や表示が行えます。

- ・エアコンの操作
- ・車の機能の設定
- ・オーディオの設定
- ・タッチスクリーンの設定
- ・ハンズフリー通話の設定
- ・バックソナーなどの画面表示と設定
- ・外気温度計
- ・カーナビゲーション

## △警告

安全上の理由から、各種設定などの複雑な操作は、車両を停止し、イグニッションをオンにした状態で実施してください。

5

### ●タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンを操作する際は、一本の指でやや強めにタッチおよびフリック（タッチした状態での指の移動）を行ってください。



スクリーンを拭く際は、市販の不織布（メガネ拭きなど）をご使用いただけます。

### ページの移動

← 前のページに戻ります。



タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

### 設定の変更

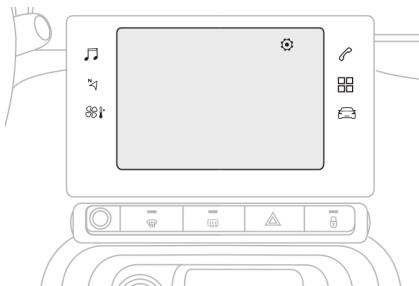
OK 設定項目の変更後、変更画面にあるOKにタッチして設定を有効にします。

### 詳細設定



さらに詳細な設定項目がある場合には、このアイコンにタッチします。

## ●メニュー



タッチスクリーンのアイコンにタッチすると、それぞれ以下のような設定が行えます。

オーディオやラジオの再生・設定画面を表示します。

ナビゲーションを表示します。  
(装着車のみ)

エアコンの設定画面を表示します。

ハンズフリー通話の通話・設定画面を表示します。  
Apple CarPlay や Android Auto™の画面を表示します。(使用中のみ)

画像ファイルを表示します。

車の機能の設定を表示します。

タッチスクリーンの設定画面を表示します。

ツマミを回して音量を調節できます。ツマミを押すと、ミュート(消音／停止)になります。



- タッチスクリーンに指3本でタッチすると、メニューが表示されます。
- オーディオ、ハンズフリー通話、Apple CarPlay や Android Auto™に関しては、付録を参照してください。
- ナビゲーションに関しては、ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。

# 室内装置の使いかた

## ● 日付と時刻の設定

### 時刻の設定

1.  タッチスクリーンのこのアイコンにタッチします。
2.  にタッチします。
3.  にタッチします。
4. 時間にタッチします。
5. 時間にタッチしてタッチスクリーンで数値を入力します。
6. OKにタッチします。

5

### 日付の設定

1.  タッチスクリーンのこのアイコンにタッチします。
2.  にタッチします。
3.  にタッチします。
4. 日付にタッチします。
5. 日付けにタッチし、画面をスクロールして、日付を設定します。

\* 仕様により異なります。

## ●設定項目一覧

アイコン	設定項目	追加設定項目
 ドライビング機能	インテリジェントハイビーム	アイコンにタッチすると、インテリジェントハイビームがオン／オフします。
	ストップ＆スタート	アイコンにタッチすると、ストップ＆スタートがオン／オフします。
	パーキングセンサー	アイコンにタッチすると、バックソナーがオン／オフします。
	ブラインドスポットモニター*	アイコンにタッチすると、ブラインドスポットセンサーがオン／オフします。
	タイヤ空気圧警告 初期化	間接式タイヤ空気圧警告の初期化を行います。
	トラクションコントロール	アイコンにタッチすると、ASR システムがオン／オフします。
	ダイアグノシス	不具合の発生状況を呼び出します。

## 室内装置の使いかた

アイコン			設定項目	追加設定項目
 車両設定	パーキング	電格ミラー	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 OFFになると、解錠／施錠時にドアミラーが展開／格納します。	-
		リバース運動 リヤワイパー	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 リバース時にリアワイパーが作動します。(フロントワイパー作動時)	-
	ヘッドライト	フォローミー ホームライト	アイコンにタッチすると、フォローミーホームがオン／オフします。	点灯時間を設定することができます。
		ウェルカムライト	アイコンにタッチすると、エクステリアウェルカムランプがオン／オフします。 リモコンによって解錠したときに一定時間ライトが点灯します。	点灯時間を設定することができます。
	セーフティー	アクティブセーフティブレーキ*	アイコンにタッチすると、アクティブセーフティブレーキがオン／オフします。	車間距離を設定することができます。
		制限速度の表示/ 推奨速度	アイコンにタッチすると、スピードリミットインフォメーションがオン／オフします。	-
		疲労検知システム*	アイコンにタッチすると、ドライバーアテンションアラートがオン／オフします。	-

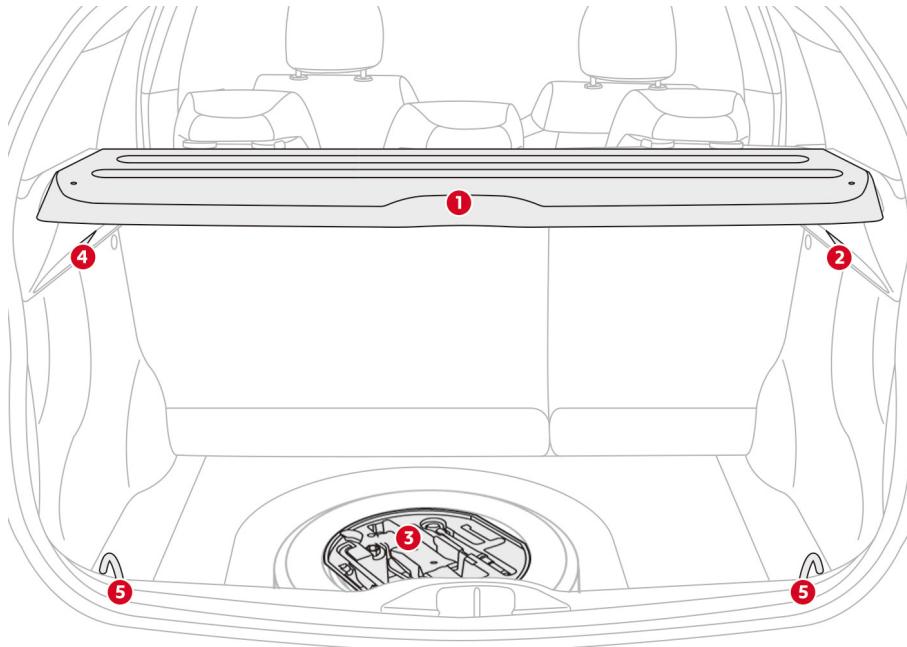
\* 仕様により異なります。

アイコン		設定項目	追加設定項目
		タッチスクリーンの画面が消灯します。	-
		タッチスクリーンの画面の明るさを調整します。	-
		タッチスクリーンのプロファイルを設定します。	-
		<b>単位</b> 温度の単位や燃費表示の単位を設定します。	-
		<b>初期設定</b> タッチスクリーンの初期化を行います。	-
		<b>システム情報</b> タッチスクリーンのシステム情報を参照します。	-
		<b>プライバシー</b> GPS（車両の位置情報）の共有を制限する機能です。 <b>データ及び車両位置情報をシェアしない</b> ：GPS の共有を制限します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が無効になります。 <b>データのみシェア</b> ：GPS の共有を制限します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が無効になります。 <b>データ及び車両位置情報をシェア</b> ：GPS の共有を許可します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が有効になります。	-
		<b>明るさ</b> タッチスクリーンの画面の明るさを調整します。	-
		<b>アニメーション</b> 画面のアクションなどを設定します。	-

## 室内装置の使いかた

アイコン		設定項目	追加設定項目
		画面の色を変更します。	-
		言語を設定します。	-
		日時を設定します。	-
		表内のプライバシーの項目を参照してください。	-

## ラゲッジルーム



### ●各部の名称

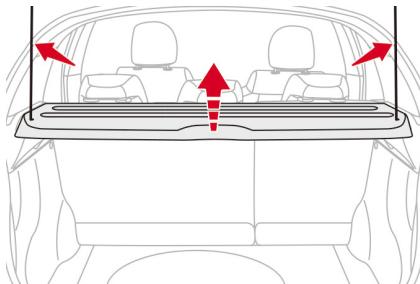
- ① : リアパーセルシェルフ
- ② : フック
- ③ : 工具入れ
- ④ : ラゲッジルームランプ
- ⑤ : 固定リング

## ⚠ 警告

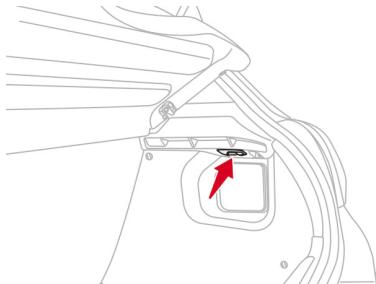
ラゲッジルームに荷物を積む際には、しっかりと荷物を固定してください。固定されていないと荷物が突然動き、走行に影響をおよぼしたり、急ブレーキや事故の際に、荷物により乗員がケガをするおそれがあります。

# 室内装置の使いかた

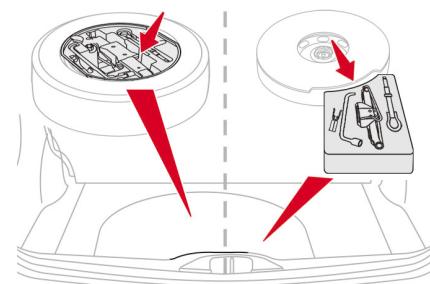
## ● リアパーセルシェルフ



## ● フック



## ● 工具入れ



### はずしかた

1. 2つのひもをテールゲートからはずします。
2. シェルフを一方に少し傾けながら持ち上げてはずします。

買い物袋などを引っかけるのに便利なフックです。

中敷板を持ち上げると工具入れがあります。

## 注意

荷物を積む前に工具入れを元の位置に戻してください。  
工具入れはラゲッジルームの床の支えを兼ねていますので、ないと床が変形します。

## ルームランプ



①: ルームランプ

②: マップランプ

### ● ルームランプ

ルームランプは、スイッチの位置を切り替えると点灯条件が変更できます。



次の状況でルームランプは徐々に点灯します。

- ・ドアのロックを解除したとき
- ・イグニッションをオフにしたとき
- ・ドアを開けたとき
- ・車外からリモコン／スマートキーが操作されたとき

また、次の状況では徐々に暗くなって消灯します。

- ・ドアをロックしたとき
- ・イグニッションをオンにしたとき
- ・イグニッションがオフで、最後のドアが閉まって30秒後



消灯したままになります。



点灯したままになります。

点灯時間は、次の状況で変わります。

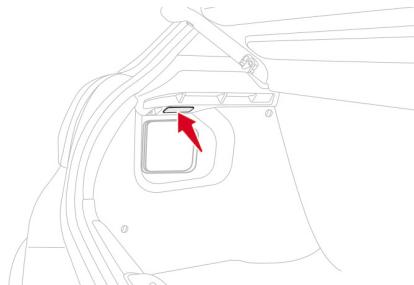
- ・イグニッションをオフにして約10分間
- ・エコノミーモードで約30秒間
- ・エンジンを始動すると無制限

### ● マップランプ

イグニッションがオンのときにスイッチの位置を切り替えると点灯／消灯します。

## 室内装置の使いかた

### ● ラゲッジルームランプ



テールゲートの開閉に合わせて点灯／消灯します。

点灯時間は、次の状況で変わります。

- ・イグニッションをオフにして約10分間
- ・エコノミーモードで約30秒間
- ・エンジンを始動すると無制限

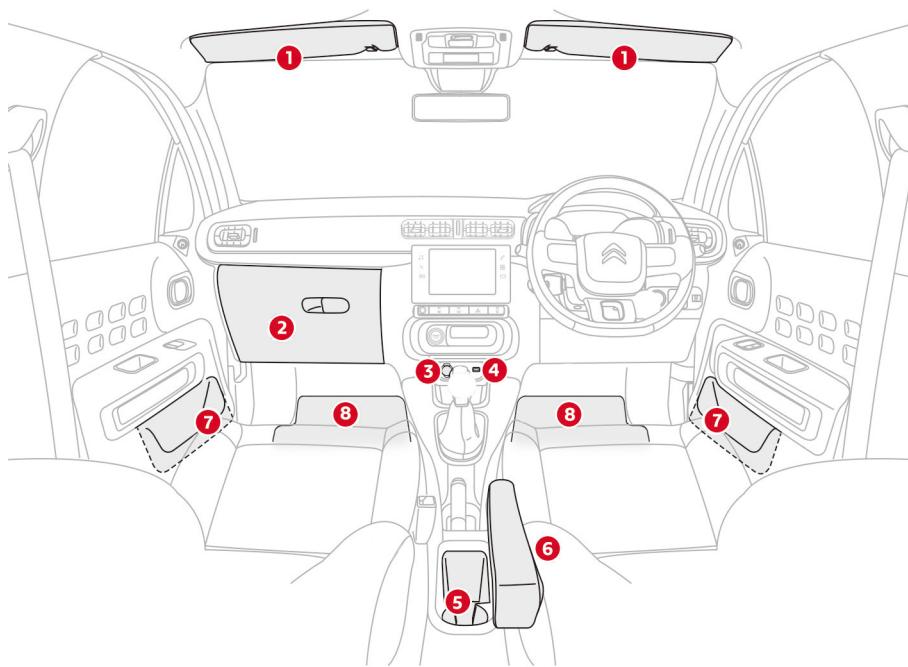
5

### 注意

ルームランプに何も物が触れないよう  
にしてください。

\* 仕様により異なります。

## インテリア

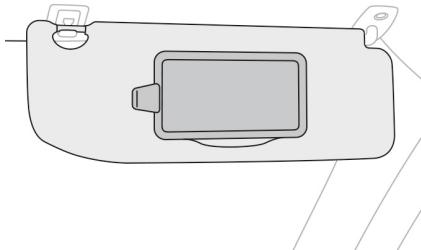


### ●各部の名称

- ① : サンバイザー
- ② : グローブボックス
- ③ : 12V 電源ソケット
- ④ : USB ポート
- ⑤ : 小物入れ／カップホルダー
- ⑥ : アームレスト \*
- ⑦ : 小物入れ
- ⑧ : フロアマット \*

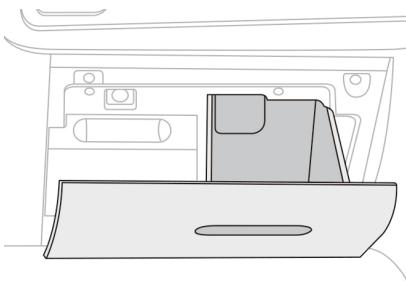
## 室内装置の使いかた

### ●サンバイザー



サンバイザーの裏側には、ミラーが備え付けられています。  
通行券などを挟むカードホルダーも備え付けられています。

### ●グローブボックス

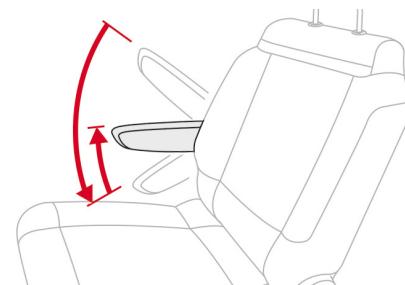


ハンドルを引くと開きます。

### ⚠ 警告

グローブボックスのふたを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時や衝突時に身体がぶつかり、ケガをするおそれがあります。

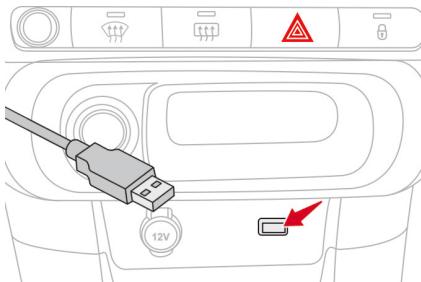
### ●アームレスト\*



アームレストは好みの高さ（低／中／高）に調整できます。高位置まで引き上げると、低位置まで戻すことができます。

\*仕様により異なります。

### ● USB ポート



USB ポートにさまざまなデバイスをつなげ、保存された音楽を車両スピーカーで楽しむことができます（接続する機器やファイル形式により再生できないものもあります）。

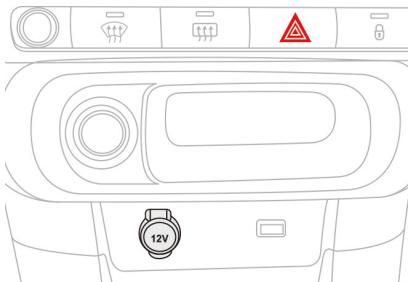
ステアリングスイッチおよびタッチスクリーンで再生操作が行えます。

USB ポートを使用すると、接続したデバイスが自動的に検出されます。



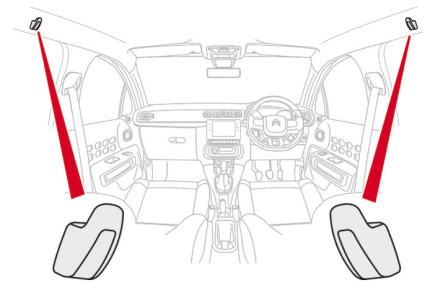
- USB ポートへ接続すると、自動的に接続した機器の充電が行われます。
- 使用電力が規定容量を超える機器を使用するとメッセージが表示されることがあります。

### ● 12V 電源ソケット



12V 電源（最大使用電力：120W）を使用する際は、カバーを持ち上げてはすし、適切なアダプターを接続します。

### ● コートフック



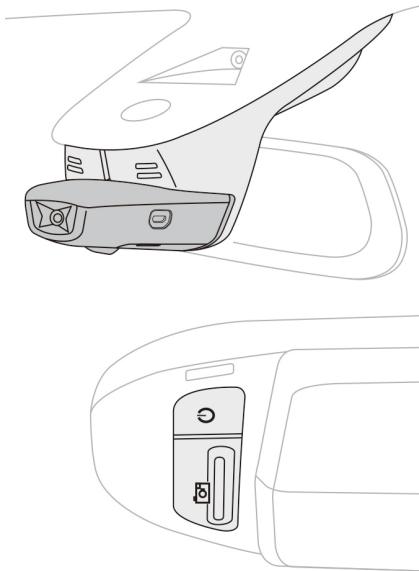
コートなどを引っかけるのに便利なフックです。

## 注意

- 12V 電源ソケットを使用するときは、最大使用電力を守ってください。規定容量を超える電気製品を使用すると、車両ヒューズが切れることができます。
- 接続する機器によっては、車に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性があります。

## 室内装置の使いかた

### ConnectedCAM™ \*



5

ConnectedCAM™は、エンジンがかかっているときに、フロントウィンドウ上部のカメラで前方視界を記録し、スマートフォンにインストールした専用アプリケーションを使用して記録した動画／画像をメールやSNSで簡単にシェアできます。また、衝撃を検知したときに、約90秒（衝撃検知前：約30秒、衝撃検知後：約60秒）の動画を記録します。ConnectedCAM™のGPS位置情報を利用して、駐車した車の位置を専用アプリケーションの地図上に表示することができます。

#### ⚠ 警告

安全上の理由から、ConnectedCAM™や専用アプリケーションの操作は、車両を安全な場所に停止した状態で実施してください。



- ConnectedCAM™は、すべての動画／画像を記録することを保証するものではありません。動画／画像が記録されなかった場合や破損していた場合による損害や、ConnectedCAM™の故障や使用によって生じた損害については保障をいたしません。
- 記録した動画／画像は、事故発生時の証拠としての効力を保証するものではありません。
- 記録した動画／画像は、その使用目的や使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、いたずらなどの目的では使用しないでください。これらの場合については一切の責任を負いません。
- 60Hz電源域内のLED信号機は記録できない場合があります。
- 音声は記録されません。

\* 仕様により異なります。

## ● ConnectedCAM™の設定

ConnectedCAM™のご使用の前に、まず、以下の設定を行ってください。

- 専用アプリケーションをスマートフォンにインストールする
- スマートフォンとConnectedCAM™を接続（ペアリング）する



●専用アプリケーションは、App Store®またはGoogle Play™ストアから「ConnectedCAM Citroën」で検索して無料でダウンロードできます。

●専用アプリケーションのダウンロードや利用にはパケット通信料がかかります。

●専用アプリケーションを使用するには、専用アプリケーション対応のスマートフォンが必要です。

●スマートフォンとConnectedCAM™の接続（ペアリング）は、専用アプリケーションの指示に従ってください。ペアリングは、初回接続時のみ必要です。以降は自動的に接続されます。

●App StoreはApple Inc. のサービスマークです。

●Google PlayはGoogle Inc. の商標です。

## ● ConnectedCAM™の作動と解除

### 作動



電源ボタンを長く押すと作動します。ボタンのインジケーターが点灯します。

### 解除



電源ボタンを長く押すと作動が解除されます。ボタンのインジケーターが消灯します。



●ConnectedCAM™の作動中は、動画を常時記録する状態になります。

●ConnectedCAM™本体には、常時記録された約120秒の動画を60ファイルまで、衝撃を検知して記録された動画を11ファイルまで記録できます。記録上限に達すると、古い動画から順に消去され、新しい動画が記録されます。

●ConnectedCAM™の作動を解除すると、エンジンを始動しても作動状態になりません。電源ボタンを押して作動させてください。

## ● 動画／画像の記録

### 画像の記録



シャッターボタンを短く押します。チャイムが鳴り、画像が記録されます。

### 動画の記録



シャッターボタンを長く押します。チャイムが鳴り、動画が記録されます。



●ConnectedCAM™本体には、画像を約100ファイルまで、および約20秒～約60秒の動画を1GBまで記録できます。記録上限に達すると、古い動画／画像から順に消去され、新しい動画／画像が記録されます。

●専用アプリケーションで設定すると、記録した動画／画像をメールやSNSなどに自動的にシェアすることができます。

●ConnectedCAM™のマイクロUSBポートにパソコンなどを接続することで、動画／画像を他のメディアに保存することができます。接続に必要なケーブルは付属していません。

# 室内装置の使いかた

## ● ConnectedCAM™の初期化



電源ボタンとシャッターボタンをチャイムが鳴るまで同時に長く押すと、ConnectedCAM™が初期化されます。



ConnectedCAM™本体に記録された動画／画像が消去され、専用アプリケーションで変更したペアリングコードが初期化されます。



ConnectedCAM™を初期化しても、衝撃を検知して記録された動画は消去されません。

## ● ConnectedCAM™の異常



ConnectedCAM™に異常がある場合、この表示灯が点滅します。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください

## 第6章 お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ	6-2
内装のお手入れ	6-2
エンジンルームの点検	6-3
電球の交換	6-7
ヒューズの交換	6-12
燃費の改善について	6-13
推奨交換時期	6-14
推奨油脂類	6-15
推奨点検時期	6-15

## 外装のお手入れ

自動車の使用される環境はさまざまです、工場地帯の酸を含んだ空気、鉄道沿線の鉄粉、沿岸部の塩分を含んだ風、積雪地帯の融雪剤などは車体に対して腐食、錆といった悪影響を与えます。

長期間にわたって車を美しく安全に使用していただくためには、こまめなお手入れをお勧めします。

### ●洗車機による洗浄

通常のお手入れは、洗車機による洗浄で十分です。

ただし、ボンネットの合わせ目、ドアの下などは汚れが残ることが多いので、手洗いをお勧めします。

### ●手による洗浄（手洗い）

まずホースでたくさん水をかけて、ほこりを落とします。

次にスポンジと適当に薄めたカーシャンパーで車体の上から下へと洗います。

最後に車体の下側をホースで水をかけてきれいにします。

## 内装のお手入れ

### ●レザーシート

レザーは、汚したままにしておくと摩耗してもらくなります。

定期的にお手入れすることをお勧めします。

清掃は、水につけて固くしぼった布で表面を拭き、その後やわらかい清潔な布で乾拭きします。

汚れがひどいときは、市販の皮革用洗剤を使用します。

### ●ビニール（インストルメントパネル、ドアトリムパッド、ヘッドライニング）

やわらかい布に温かい石けん液を含ませ、よくしぼって拭きます。

### ●ディスプレイ（インストルメントパネルやタッチスクリーンなど）

塵やほこりを取り除き、水を浸したやわらかい布を固くしぼってから、軽く拭きます。

## 注意

●固いブラシや布、ティッシュ、乾いた布などでディスプレイの表面をこすらないでください。傷をつけるおそれがあります。

●アルコールや消毒液、石けん液などをディスプレイの表面に直接使用しないでください。傷をつけるおそれがあります。

### ●シートベルト

石けん水をつけた固くしぼった布で、ベルト部分だけを拭きます。

清掃時は、金属部分に水が付かないようにしてください。

シトロエン販売店では、シートベルトに使用できるクリーニング製品を取り扱っています。

### ● ウィンドウガラス、ミラー

市販のガラス専用クリーナーで洗浄してください。

### ● フロアマット、カーペット

車外に取りはずし、ほこりや砂を十分に落として内装用洗剤で洗ってください。

### ● 長期間使用しないとき

車を長期間使用しないときは、保管中の故障を防ぐために以下の保守を行ってください。

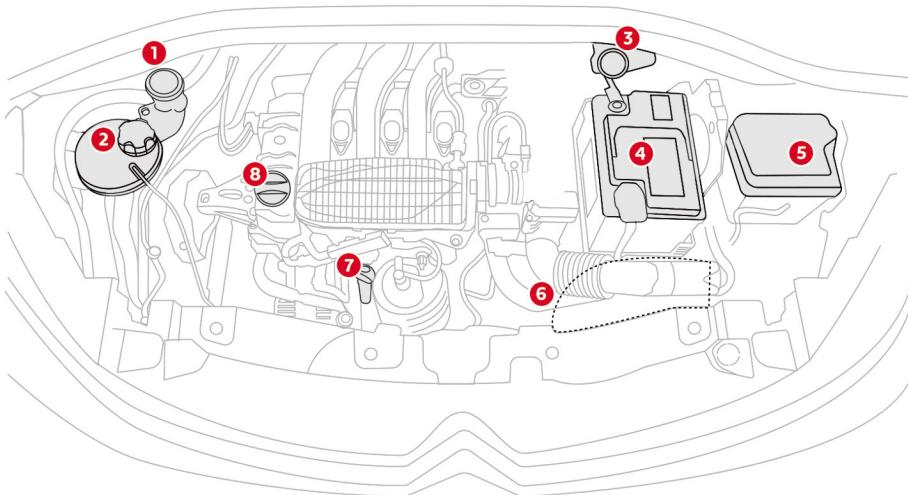
#### 保管前に行うこと

- ・タイヤのフラットスポット（変形）を防ぐために、タイヤ空気圧を規定より30～50%ぐらい上げてください。
- ・バッテリーの端子をはずしてください。
- ・必要に応じて、ボディーカバーをかけてください。

#### 保管中に行うこと

1ヶ月に1回程度、バッテリーの端子を接続してエンジンを数分～数十分かけてバッテリーを充電してください。

## エンジンルームの点検



- ①：ウィンドウウォッシャー液タンク  
 ②：クーラント（冷却水）タンク  
 ③：ブレーキフルードタンク  
 ④：バッテリー

- ⑤：ヒューズボックス  
 ⑥：エアフィルター  
 ⑦：エンジンオイルレベルゲージ  
 ⑧：エンジンオイル注入口

## △警告

- エンジンルーム内の点検をする前に、エンジンが冷えていることを確かめてください。  
エンジンが熱いときは、イグニッションがオフになっていてもファンが回りだして、思わぬケガをすることがあります。
- エンジンルームから蒸気や冷却水が噴き出している場合は、ポンネットを開けないでください。やけどやケガを負うことがあります。
- 作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
- エンジンが停止しているのを確認し、キーをイグニッシュョンスイッチから抜く、またはスマートキーを車外に出してください。また、シフトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけてください。

## △警告

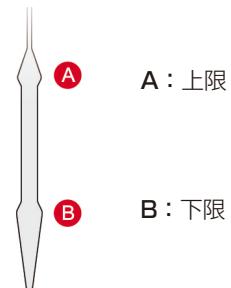
熱くなっているエンジンの部品には触れないでください。また、熱くなっているエンジンやエキゾーストシステムの上に、オイルなどの液体をこぼさないでください。やけどや火災のおそれがあります。

## △注意

エンジンルームのカバー類を取りはずすときは、止めているクリップを損傷しないように注意してください。また、取り付けるときにも注意して取り付けてください。  
カバーがしっかりと取り付けられていないと、走行中にはずれて可動部に巻き込まれるなどして、故障や事故の原因になることがあります。

## ●エンジンオイルの点検

- 車を水平な場所に停めます。
- エンジンを停止して30分以上経過してからオイルレベルゲージを抜き取り、布でオイルを拭き取ります。
- 元の穴にいっぱいに差し込み、再び静かに抜いてゲージに付いたオイルで油量を調べます。



A：上限

B：下限

レベルゲージに付着したオイルの汚れ具合も点検します。オイルはエンジンの回転によって消費されますので、次のオイル交換までの間にオイルを補充しなければいけないことがあります。

走行5000kmごとにオイルレベルを点検し、必要に応じて補充してください。オイルの消費量が急に増えたり、汚れがひどくなったときは、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

## 注意

遠方へのお出かけ前だけでなく、日頃からエンジンオイルの点検をしてください。

### ● エンジンオイルの補給

補充する前に、オイルレベルゲージを抜き取っておきます。オイルレベルが上限を超えないようにしてください。補充が完了した後は、キャップの閉め忘れに注意してください。

### ● エンジンオイルの交換

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。  
ただし、市街地や山岳地の走行が多いときは、オイル交換を早めに行います。

## 注意

- エンジンを正常な作動状態に保つため、エンジンオイルに添加剤を入れることは避けてください。
- オイルの交換の際は、騒音や排気ガス規制を遵守するためにも、シトロエン純正部品のご使用をお勧めします。

### ● オイルフィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。  
交換するオイルフィルターは、シトロエンの純正部品をご使用ください。



冷却水の補給はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

### 交換

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

### ● ブレーキフルードの量

ブレーキフルードの量は、タンクのMAX レベル付近にあれば適正です。定期的に量を確認してください。

### ● ブレーキフルードの交換

ブレーキフルードは、時間がたつと吸湿し耐熱温度が低く（ベーパーロックが起こりやすく）なりますので、定期的に交換してください。

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

### △ 警告

ラジエター内の圧力が低下する前にキャップをはずすと、高温の冷却水が噴出しやけどの原因になります。

### △ 警告

ブレーキフルードが肌に直接触れるのは避けてください。腐食性が強く、健康に害を及ぼすことがあります。

# お手入れ・メンテナンス

## 注意

ブレーキフルードは車の塗装面を傷めますので、付着した際にはすぐに水で洗い流してください。

### ●オートマチックトランスマッシュョンフルード(ATF)

交換の必要はありません。

### ●ウォッシャー液

タンク内のウォッシャー液が少ないとときは、シトロエンの推奨品を補給してください。

### ●バッテリー

特に寒冷地の使用では、冬になる前にシトロエン指定サービス工場でのチェックをご依頼ください。

### ●エアフィルター、室内フィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

市街地やほこりが多いところでの走行が多いときは、早めに交換してください。交換はお近くのシトロエン指定サービス工場にご依頼ください。

### ●ブレーキパッド／ライニング

ブレーキパッド／ライニングは運転の状況により消耗の度合いが変わります。定期的に点検を受けてください。ブレーキパッド／ライニングが摩耗するとブレーキフルードのレベルも下がります。

### ●ブレーキディスク

ブレーキディスクは消耗部品です。シトロエン指定サービス工場で定期的に点検を受けてください。

### ●パーキングブレーキ

パーキングブレーキの引きしろが適正であるか確認してください。

シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

## △注意

環境汚染防止のために、使用済みのエンジンオイルやブレーキフルードなどは、絶対に地面や下水に廃棄しないでください。

## 注意

●車のパフォーマンスを最大に引き出すためには、パワーステアリングやブレーキシステム同様、シトロエンが指定する部品を使用することが重要です。

●エンジン本体への高圧洗浄は、電子機器への影響を避けるためにも絶対におやめください。

## 電球の交換

### ⚠ 警告

- 作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
- 電気回路を改造しないでください。

### ⚠ 注意

電球の表面が冷えてから交換してください。消灯直後は電球の表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。

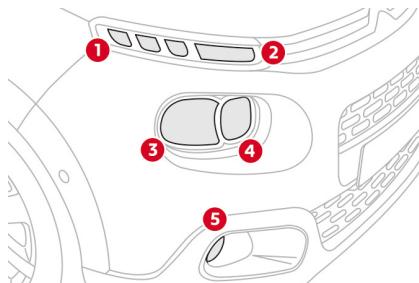
## 注意

- 交換する電球には、油などの汚れを付けてください。電球は、きれいで、乾いた布で持ち、指紋などを付着させないでください。
- ヘッドライトの透明レンズはプラスチック製です。溶剤を使用したり、硬い布などで強くこすらないでください。
- 高圧洗車機を使用するときは、ヘッドライト付近に長時間当てないでください。塗装がはがれるおそれがあります。
- 交換作業中に電気配線を切断しないように注意してください。
- ヘッドライトを交換するときは、UVカット仕様の電球を使用してください。ヘッドライトのレンズなどが変色するおそれがあります。
- 電球の交換の際は、必ず同じ規格の新しい電球を使用してください。



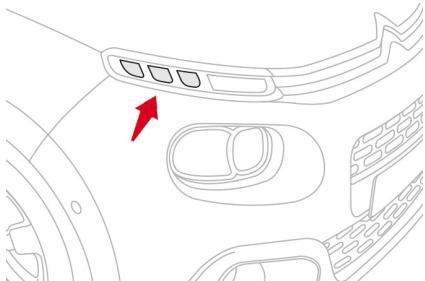
低温高湿度のときなど、ヘッドライトの透明レンズの内側が曇ることがあります。異常ではありません。ライトが点灯すると、数分で消滅します。

### ●ヘッドライト

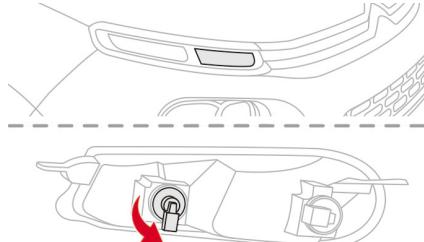


①：デイタイムライト／ポジションランプ (LED)  
②：方向指示器 (PY21 W)

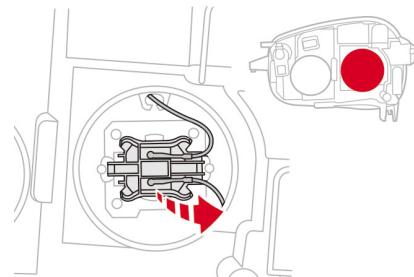
③：ロービームヘッドライト (H7)  
④：ハイビームヘッドライト (H7)  
⑤：フロントフォグランプ (PSX24 W)



①：デイタイムライト／ポジションランプ用電球（LED）  
デイタイムライト／ポジションランプの  
交換はシトロエン指定サービス工場にお  
申し付けください。



- ②：方向指示器用電球（PY21 W）
- バルブホルダーを反時計回りに1／4回転させて引き抜きます。
  - 電球を交換します。



- ③：ロービームヘッドライト用電球(H7)
- タブを引いて、交換する電球のカバーをはずします。
  - コネクターをはずします。
  - 電球を交換します。

## 注意

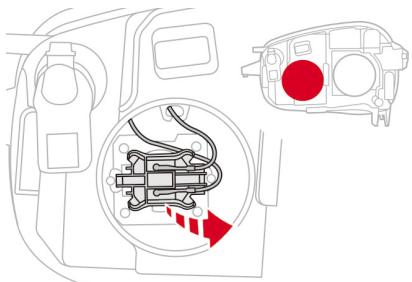
色付きバルブは、同じ規格の同じ色の  
電球を使用してください。



バルブは突起を上向きにして取り付けてください。

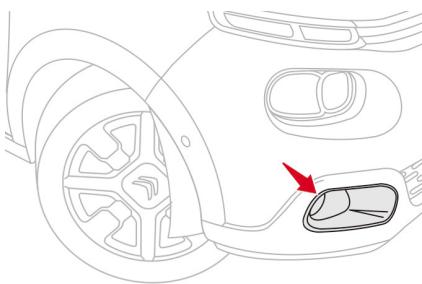


ウィンカー表示灯の点滅が早くなった  
ときは、点滅が早い方の方向指示灯の  
電球切れが考えられます。



### ④:ハイビームヘッドライト用電球 (H7)

- タブを引いて、交換する電球のカバーをはずします。
- コネクターをはずします。
- 電球を交換します。



### ⑤:フロントフォグランプ用電球 (PSX24 W)

フロントフォグランプの交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

### ● ドアミラーウィンカー

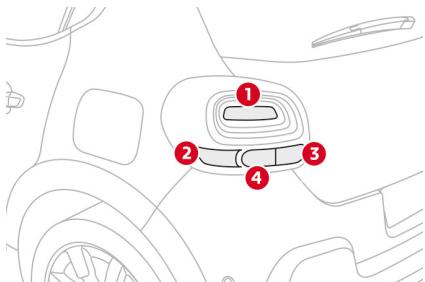
ドアミラーウィンカーの交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。



バルブは突起を下向きにして取り付けてください。

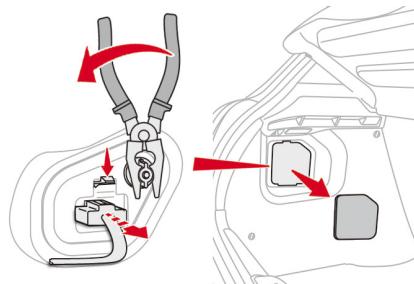
# お手入れ・メンテナンス

## ● テールランプ



- ①：デイタイムライト／ポジションランプ (R10 W)
- ②：ストップランプ (P21 W)
- ③：左側：リバースランプ (P21 W)  
右側：リアフォグランプ (PR21 W)
- ④：方向指示器 (PY21 W)

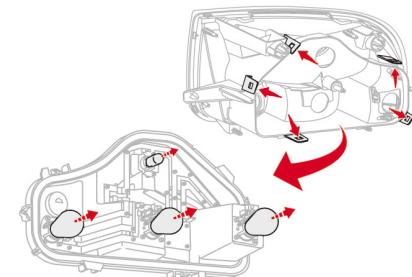
### テールランプ用電球の交換



1. テールゲートを開きます。
2. テールゲート内側のトリムカバーをはずします。
3. コネクターをはずします。
4. 落とさないように注意しながらナットをゆるめてはずします。
5. ランプユニットのクリップをはずして外側に向かって引き出します。



ナットの取りはずしにはプライヤーなどの工具が必要な場合があります。

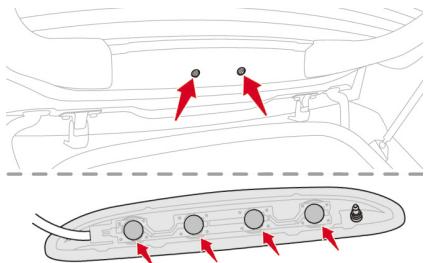


6. タブを広げてホルダーを取りはずします。
7. 電球を1／4回転させてはずして交換します。

## 注意

電球を交換した後は、ランプユニットをガイドに固定して車体にしっかりとめ込んでください。

## ●ハイマウントストップランプ (4 T10 W5 W)

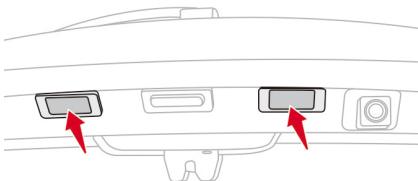


1. テールゲートを開きます。
2. ゴムのカバーをはずします。
3. ドライバーなどで本体を押して外側からランプユニットをはずします。
4. 交換する電球のバルブホルダーを1／4回転させてはずします。
5. 電球を交換します。



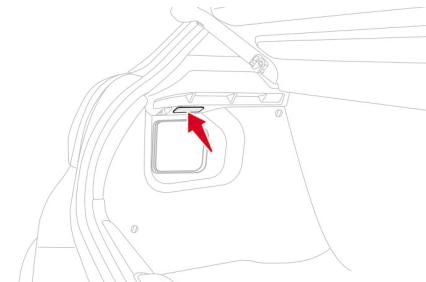
電球を交換した後は、リヤワイパーのウォッシャー液吹き出し口が左側にあることを確認してからランプユニットを車体に取り付けてください。

## ●番号灯 (W5 W)



1. テールゲートを途中まで開きます。
2. マイナスドライバーの先をプラスチックカバーの穴に差し込み、下側に向かってこじってレンズをはずします。
3. 電球を交換します。

## ●ラゲッジルームランプ (W5 W)



ラゲッジルームランプの交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

## ●ルームランプ (W5 W または LED)

ルームランプの交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

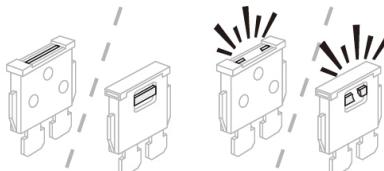
## ヒューズの交換

ヒューズボックスは、助手席のグローブボックス内とエンジンルームにあります。ヒューズの交換は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。

### △警告

誤った容量のヒューズに交換した場合、不具合を引き起こし、火災の原因となります。

ヒューズは容量によって色分けされています。必ず同じ色（容量）のヒューズと交換してください。



正常なヒューズ 切れたヒューズ

ヒューズを交換するときは、グローブボックス内のカバーに備えてある専用ピンセットを使用してください。



### 注意

交換する前に、ヒューズが不良となつた原因を見つけて処置をしておいてください。正しい処置をしておかないと、再発するおそれがあります。

### △注意

車の電気回路は、出荷時に装着されている装備に合わせて設計、製作されています。

推奨していないアクセサリーの取り付け、アクセサリーの不適切な取り付け、ワイヤーハーネスの加工などは、他の電装品の正常な作動を妨げたり火災の原因となることがあります。

シトロエンでは、当社が供給や推奨していない、10mA以上の大電流を消費するアクセサリーの取り付けや、当社の指示に従わない装着方法によって発生した車、および機器の不具合の修理については、その費用を負担いたしません。

エンジンルーム内ヒューズボックスにある大容量ヒューズには手を触れないでください。整備が必要な場合は、必ずシトロエン指定サービス工場に依頼してください。

アクセサリーその他の電気製品の取り付けは、シトロエン指定サービス工場に依頼ください。

## 燃費の改善について

燃費は、車の設計だけではなく、車の状態や運転方法によって大きく影響を受けます。車を最良の状態に保ち燃費を良くするためにも、定期的に点検整備を行ってください。

### ● エンジンコンディション

主要部品については、少なくとも年に1回は点検を受けてください。

### ● エアフィルター

フィルターがつまるとエンジンの効率が悪化します。ほこりの多い環境や市街地での走行が多いときは、こまめに点検を受けてください。

### ● 積載物

ラゲッジルームに不用な積載物が積みっぱなしになっていると、車両重量が増加して、燃費の悪化につながります。ルーフキャリアやスキーキャリアなどのアクセサリーは、風の抵抗を受けて燃費を悪化させます。必要がなくなったらすみやかに取りはずしてください。

### タイヤ

交換するときは、現車と同一サイズでシトロエンが推奨する銘柄、グレードのタイヤを使用してください。

### ● 運転方法

エンジン始動後に長時間の暖機運転は必要ありません。

運転時は、ゆっくり発進し、急加速や空ぶかしを避けてください。

走行中はなるべく高いギアを選択し、一定のスピードを保つようにしてください。走行速度が上がると燃費も悪化します。法定速度を遵守して、スムーズな運転を心がけてください。

エンジン始動後の数分間は、適正温度の状態と比較して2倍以上燃費が悪化します。

あらかじめ走行経路を考慮して、無駄な走行をなくしましょう。

## 推奨交換時期

車の使用頻度が高いとき、市街地や高温環境下での使用が多いときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

エンジンオイル	1年または10,000km ごと
オイルフィルター	1年または10,000km ごと
ブレーキフルード	2年ごと
エアフィルターエレメント	4年または20,000km ごと
スパークプラグ	4年または20,000km ごと
室内フィルター	1年または10,000km ごと
クーラント	10年または160,000km ごと
補機ドライブベルト	5年または90,000km ごと
タイミングベルト	5年または90,000km ごと
タイミングベルトキット	10年または180,000km ごと

### ●エンジンオイルについて

上記の交換時期は、推奨する化学合成ベースのエンジンオイル（例：TOTAL QUARTZ INEO XTRA FIRST 0W-20）を使用した場合です。

シトロエンの規格により推奨されるオイルは、ACEA 規格のオイルよりも優れた特性を備えています。

### 注意

エンジンオイルに添加剤を使用することは厳禁です。

## 推奨油脂類

エンジンオイル

TOTAL QUARTZ INEO XTRA FIRST  
0W-20

ブレーキフルード

純正ブレーキフルード (DOT4)

クーラント

純正クーラント

## 推奨点検時期

車の使用頻度が高いとき、通常よりも厳しい状態の使い方をしたときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

タイミングベルトの点検	1年ごと
クーラント pH の点検	初回4年または120,000km。 以降、1年または10,000km ごと

## お手入れ・メンテナンス

---

6

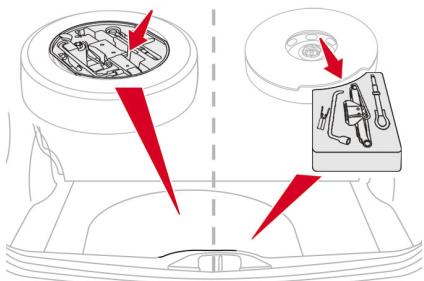
## もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換	7-2
パンク修理キット	7-7
バッテリーが上がったとき	7-13
けん引されるとき	7-16

# もしものとき

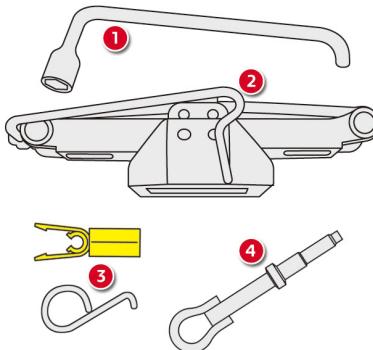
## ホイール（タイヤ）の交換\*

### ●スペアタイヤと工具の位置

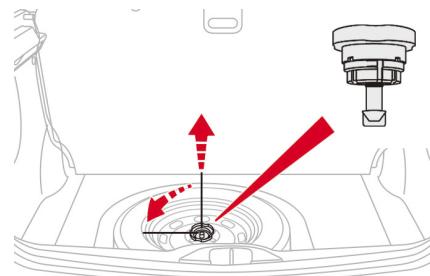


スペアタイヤ、ジャッキ、および工具は、ラゲッジルームの中敷板の下に格納されています。

### ●ジャッキと工具



### ●スペアタイヤの取り出し

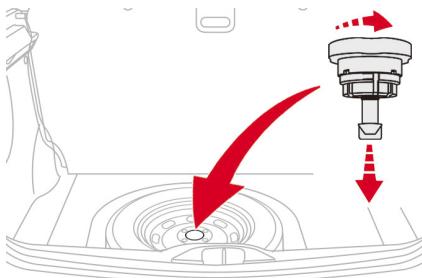


スペアタイヤは、ラゲッジルームの中敷板の下に格納されています。

1. ジャッキを取り出します。\*
2. 中央のナットをゆるめます。
3. 工具入れを取り出します。\*
4. スペアタイヤを取り出します。

\*仕様により異なります。

## ● タイヤの格納



1. タイヤを入れます。
2. 工具入れをホイールの中央に戻します。\*
3. ナットを少しうるめ、ねじ込みます。
4. タイヤが正確に収まっていることを確認して、きつく締めます。
5. ジャッキを戻します。\*



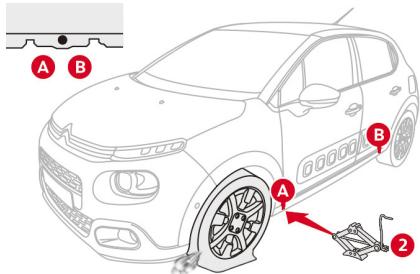
- タイヤを格納しないと、ナットは取り付けられません。
- 装備されているスペアタイヤがスペースセーバータイヤのときは、取りはずしたタイヤはサイズが異なるため、ここには格納できません。

## ● タイヤ交換後の処理

1. 交換したスペアタイヤの空気圧とホイールバランスを確認してください。
2. はずしたタイヤの修理を早急に行い、スペアタイヤと交換してください。

# もしものとき

## ● ホイールの取りはずし

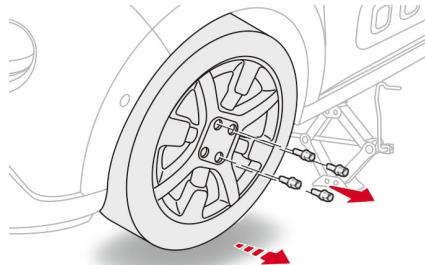
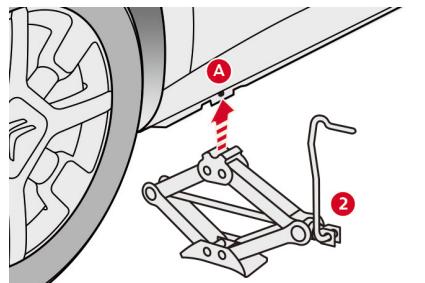
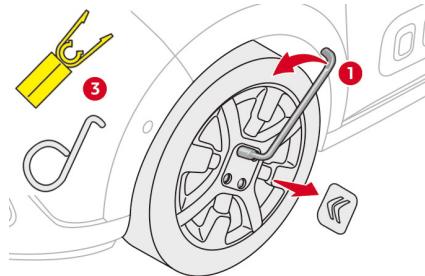


硬く平坦な路面で安全な場所に車を停めます。  
パーキングブレーキを引き、シフトレバーをPに入れてイグニッションをオフにします。  
取りはずすタイヤと対角位置にあるタイヤに、市販の輪止めを当てます。



ホイールカバー装着車は、ホイールレンチ①の柄の部分を使い、タイヤバルブ付近から徐々にホイールカバーをはずしてからホイールを取りはずします。

### 手順



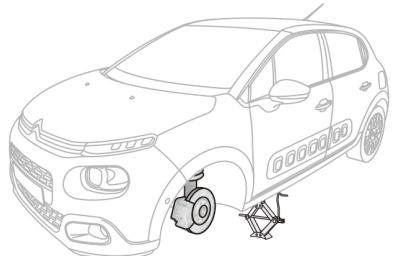
- 専用ピンセット／ホイールトリムリムーバー③を使用して、ボルトカバーをはずします。\*
- ホイールレンチ①でボルトを少しうるめます。
- ジャッキ②を車の下側フレームA部分（リアはB部分）にあてがい、軽くジャッキアップしてジャッキがA（もしくはB）に確実に収まっていることを確認します。
- タイヤが地面から完全に離れるくらいまでジャッキアップします。
- ボルトをはずします。なくさないように注意してください。
- ホイールをはずします。

### 注意

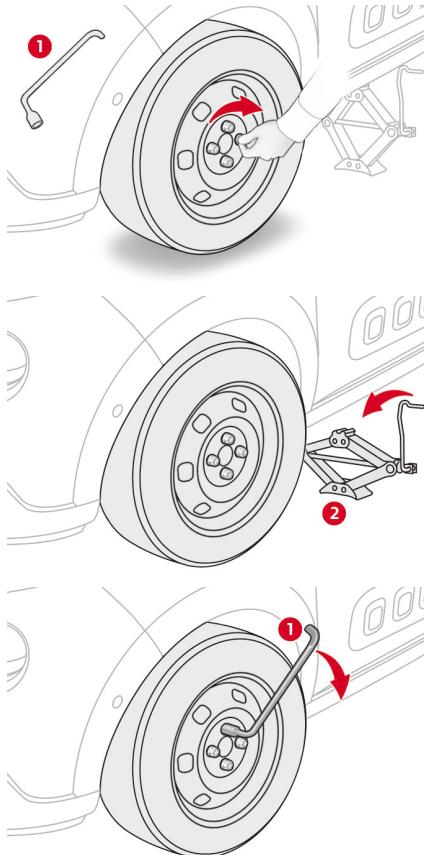
プラスチック仕上げ部分にはジャッキをあてがわないでください。

\*仕様により異なります。

## ●スペアタイヤの取り付け



### 手順



1. ホイールをハブにはめます。
2. ボルトを差し込み、手で止まるまで回します。
3. ホイールレンチ①を使ってボルトを軽く締めます。
4. ジャッキ②を完全にゆるめ、タイヤを接地させます。
5. ホイールレンチ①を使ってボルトをしっかり締めます。
6. はずしたボルトカバーをそれぞれのボルトに取り付けます。\*

## △警告

- ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用し、絶対に車の下に入らないでください。バランスが崩れた場合に車がジャッキからはずれ、落下するおそれがあります。
- ホイールボルトとハブのネジ部に注油したり、他のボルトを使用しないでください。走行中にネジがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。
- ジャッキアップするときは、乗員を全員車両から降ろしてください。
- ジャッキアップ中はエンジンを始動させないでください。エンジンの振動により、ジャッキがはずれるおそれがあります。
- 指定された場所以外にジャッキを装着しないでください。車両が損傷したり、ジャッキがはずれるおそれがあります。
- スペースセーバータイヤを2本以上同時に使用しないでください。

## △注意

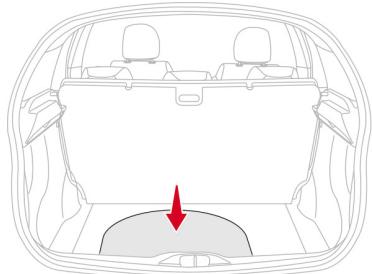
- タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼします。
- スペースセーバータイヤの空気圧は420kPaです。定期的に点検してください。また、このタイヤ使用時の最高速度は時速80kmです。
- スペースセーバータイヤは一時的な使用に限られています。常用タイヤのパンクなどで使用したときは、早急にパンクの修理を行い交換してください。
- 搭載されているジャッキやレンチ、スペアタイヤは、この車専用です。他の車に使用したり、他の車のものを使用したり、他の用途に使用しないでください。



- ホイールボルトの締め付けトルクは10DaNm(約9.5kgm)です。
- アルミホイールの代わりにスチールホイールやスペースセーバータイヤを使用するとき、ホイールボルトの平ワッシャーがリムに接せず遊んでいても問題ありません。
- タイヤ交換を行った後は、間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットを行ってください。

## パンク修理キット\*

### ●パンク修理キットの場所

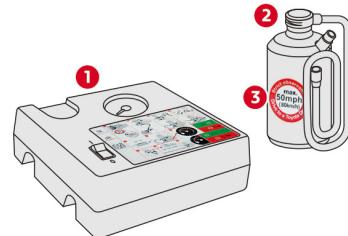


パンク修理キットは、ラゲッジルームの中敷板の下に格納されています。



- パンク修理キットはシトロエン販売店でお買い求めいただけます。
- タイヤのトレッド部またはショルダー部以外の損傷によるパンクは、パンク修理キットを使用して修理することができません。
- タイヤに刺さった釘などは抜かずにそのまま応急修理をしてください。
- 修理キットを使用するときは、すべての手順を行ってください。

### ●各部の名称



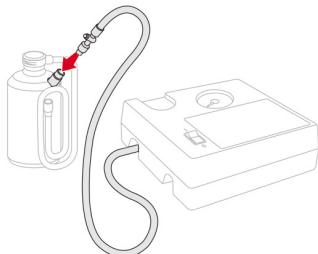
- ①：コンプレッサー
- ②：修理剤カートリッジ
- ③：注意ステッカー

### ⚠ 警告

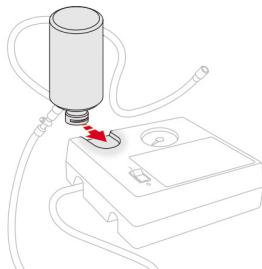
- パンク修理キットで修理した後は、修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーを車内の運転者から見える位置に必ず貼り付けてください。
- パンク修理キットで修理したタイヤで走行するときは、時速80km以下で走行してください。

# もしものとき

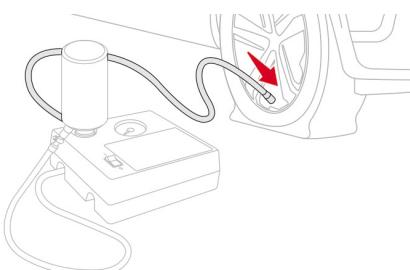
## ●使いかた



1. イグニッションをオフにします。
2. 修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーをはがして、車内の運転者から見える位置に貼り付けます。



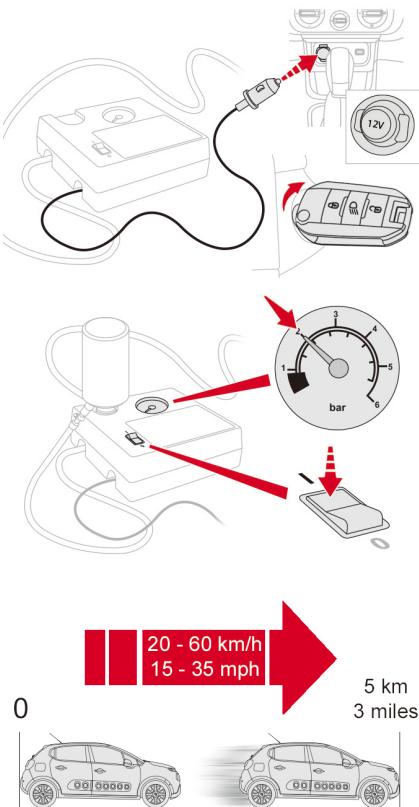
3. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、カートリッジに接続します。



4. 修理剤カートリッジをコンプレッサーに固定します。
5. 修理剤カートリッジから出ているホースを修理するタイヤのバルブに接続します。

## ⚠ 警告

修理剤カートリッジから出ているホースをつなぐ前に、電源を入れないでください。修理剤が噴き出すおそれがあります。



6. スイッチが〇になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを12V電源ソケットに差し込みます。
7. エンジンを始動します。
8. スイッチをIにして、空気圧を2.0barsまで昇圧します。
9. スイッチを〇にしてから、パンク修理キットを取りはずし、直ちに走行してタイヤ内に修理剤を行き渡らせます。このとき、時速20～60kmで約5km走行します。

## ⚠ 警告

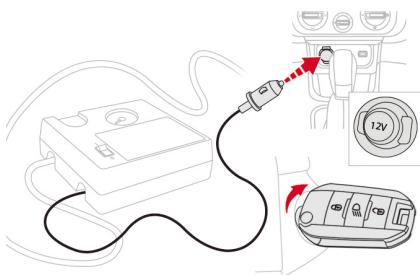
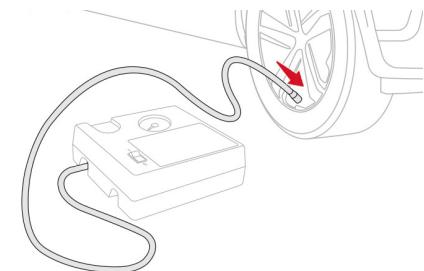
- パンク修理キットはコンプレッサーで圧力をかけて修理剤をタイヤに入注します。修理剤の注入中にホースをバルブから抜かないでください。ホースの口から修理剤が噴き出すおそれがあります。
- 修理剤が目や口に入らないように十分注意してください。
- パンク修理キットはお子さまには使用させないでください。

## ⚠ 注意

5～7分以内に**2.0bars**まで昇圧しないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。シトロエン指定サービス工場にお問い合わせいただか、レッカーの手配をしてください。



パンク修理キットを取りはずすときは、修理剤が車に付着しないように気を付けてください。付着するとシミになるおそれがあります。



- コンプレッサーの裏からホースを引出し、修理するタイヤのバルブに接続します。

## 警告

パンク修理キットで修理した後は、約200km以上走行しないでください。できるだけ早くシトロエン指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

- スイッチがOFFになっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを12V電源ソケットに差し込みます。

- エンジンを始動します。

- 空気圧が助手席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。

- 昇圧：スイッチをIにする。
- 減圧：ホースの先にあるコネクターの黒いボタンを押す。

- 空気の漏れがないことを確認します。

- コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。

- 時速80km以下で走行し、できるだけ早くシトロエン指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

## 注意

空気圧が適正値にならないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。シトロエン指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。



- 修理剤は一度しか使用できません。使用後は、新品の修理剤をシトロエン指定サービス工場でお買い求めください。
- 使用済みの修理剤カートリッジはシトロエン指定サービス工場までお持ちいただくか、地域条例に従って廃棄してください。

## ⚠ 注意

パンク修理剤の有効期限は、製造後約8年です。有効期限はカートリッジに表示されています。

例：EXP：04/2027

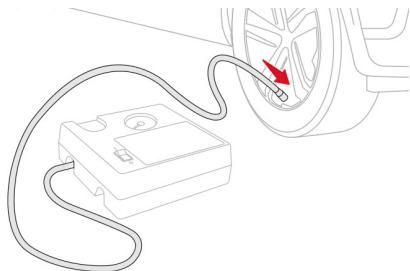
||

2027年4月まで

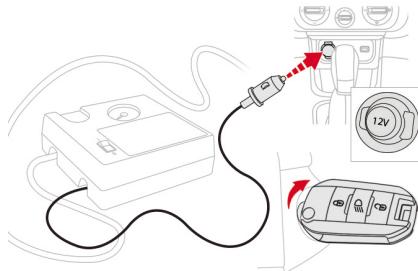
# もしものとき

## ● コンプレッサーとして使用する場合／ タイヤの空気圧を点検する場合

パンク修理キットは、汎用のコンプレッサーとして使用できます。また、タイヤの空気圧を点検することができます。



1. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、車両のタイヤのバルブに接続します。



2. スイッチが〇になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを12V電源ソケットに差し込みます。
3. エンジンを始動します。
4. 空気圧が助手席側ドアピラー部に表示されている適正值になるように調整します。
  - ・昇圧：スイッチをIにする。
  - ・減圧：ホースの先にあるコネクターの黒いボタンを押す。
5. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。



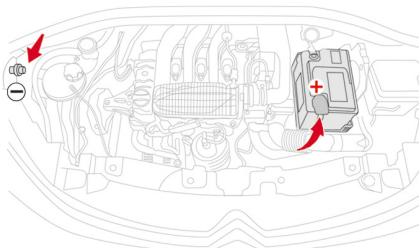
タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。

## バッテリーが上がったとき

万一バッテリーが上がってしまったときは、充電器（バッテリーチャージャー）で充電するか、同じ電圧（12V）のバッテリーで始動させます。

接続には、市販のブースターケーブルを使用します。ケーブルの接続時は、車の充電系統に損傷を与えないように正しく接続してください。

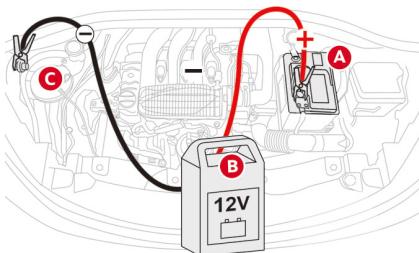
### ● バッテリーの位置



バッテリーはエンジンルーム左側（ボンネットを開いて右側）にあります。

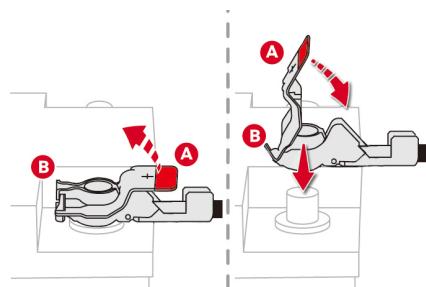
充電器のマイナス端子（-）／電源を供給する車のバッテリーのマイナス端子（-）に接続した黒いケーブルは、エンジンルーム右側（ボンネットを開いて左側）の矢印で示した箇所に接続します。

### ● 充電器を使用して充電



1. バッテリー A の（+）ケーブルをはずし、バッテリーの端子に汚れがないことを確認します。
2. 最初に充電器 B のマイナス端子（-）を車体 C に接続し、次にプラス端子（+）をバッテリー A のプラス端子（+）に接続します。
3. 充電器の取扱説明書に従って充電します。

### ● ケーブルのはずしかた／接続のしかた



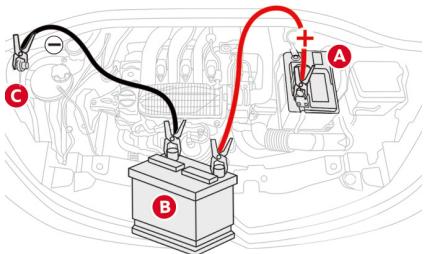
1. ロックタブ A をいっぱいまで起こします。
2. クリップ B がバッテリーのプラス端子（+）の上部に来るよう位置を合わせ、クリップ B の位置がずれないように、上からバッテリーに押し当てます。
3. ラグを広げてロックタブ A を倒し、クリップをロックします。

## 注意

クリップは正しい位置にないとロックしません。無理にロックタブを倒さないでください。

# もしものとき

## ●他のバッテリーで始動



1. バッテリーA(上がったバッテリー)・B(電源を供給するバッテリー)のプラス端子(+)を赤いケーブルで接続します。
2. 電源を供給する側の車のバッテリーBのマイナス端子(-)に、黒いケーブルを接続します。
3. 未接続の黒いケーブルを、バッテリー上がりを起こした車両の車体Cに接続します。
4. スターターを回してエンジンを始動します。
5. アイドリング状態になるのを待ってからエンジンを停止し、ケーブルをはずします。

## ●バッテリーを再接続したとき

エンジンを始動する前に、イグニッションをオンにしたまま約1分間保持します。電子機器の初期化が行われます。

長時間バッテリーの接続をはずしていたときは、次の機能の初期化や再設定が必要な場合があります。

- ・リモコン／スマートキー
- ・パワーウィンドウ など

また、ストップ＆スタート車では一度バッテリーの接続をはずすと数時間は停止モードになりませんが、これは異常ではありません。

## 注 意

電子機器に異常を感じたら、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。



車を1ヶ月以上使用しない場合は、バッテリーの接続をはずしてください。

## ⚠ 警告

- バッテリーのプラス端子（+）とマイナス端子（-）を逆に接続しないでください。
- エンジンの回転中は、バッテリーのターミナルから車両ケーブルをはずさないでください。
- バッテリーの車両ケーブル（+）を接続したまま充電しないでください。
- アイドリング状態になる前にバッテリーのターミナルからケーブルをはずさないでください。
- ケーブルのプラス端子とマイナス端子を絶対に接触させないでください。
- バッテリーは可燃性のガスを発生しますので、バッテリーの近くでは火気を避けてください。
- バッテリー液は腐食性の強い希硫酸です。万一皮膚にバッテリー液がかかった場合は、大量の水で洗い流してください。
- 凍ったバッテリーを充電すると爆発するおそれがあります。バッテリーが凍ったら新品と交換してください。
- 電源を供給するバッテリーは12Vのものを使用してください。

## ⚠ 警告

- 黒いケーブル（マイナスケーブル）を車体に接続する際には、燃料系統やブレーキホース／パイプに接触させないでください。
- ケーブルやエンジンルーム内の回転部分や可動部分に接触しないよう注意してください。

## 注意

- イグニッションをオフにして約4分経過してからバッテリーの接続をはずしてください。
- バッテリーからケーブルをはずす前に、パワーウィンドウを閉めてください。  
閉めていないと、充電後に再度の初期化が必要になります。



バッテリーは硫酸や鉛などの有害物質を含んでいます。環境汚染防止のため、正しく廃棄してください。

## もしものとき

### ●バッテリー上がり防止モード

バッテリーの電圧が一定レベル以下の場合、エアコンやリアウインドウデフレッガーなどの多く電力を消費する機能が自動的にオフになります。オフになった機能は、バッテリーの電圧が回復した後、自動的にオンに戻ります。

### ●エコノミーモード

エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大30分行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。

エンジンを再始動すると、電源の供給が再開されます。

すぐにアクセサリーを使用したいときは、エンジンを始動して数分間回してください。

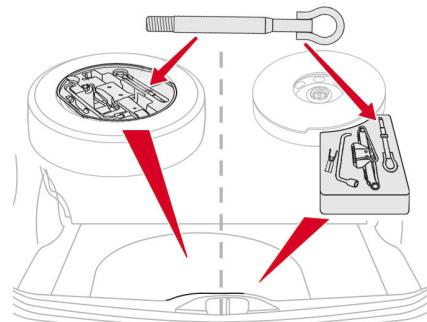
エンジンをかけていた時間の倍の間、アクセサリーを使用できます。ただし、この時間は5～30分に限られます。



- バッテリーが弱っているときは、エンジンの再始動ができなくなるおそれがあります。
- バッテリーの充電が不十分なときは、電源の供給時間が短くなることがあります。

### けん引されるとき

#### ●けん引ボルトの場所

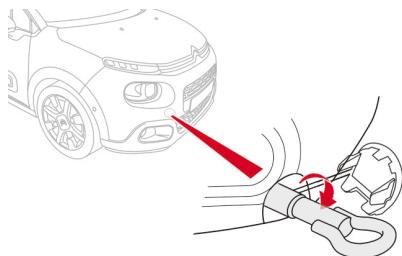


けん引ボルトはラゲッジルーム下の工具入れに入っています。

### ●けん引について

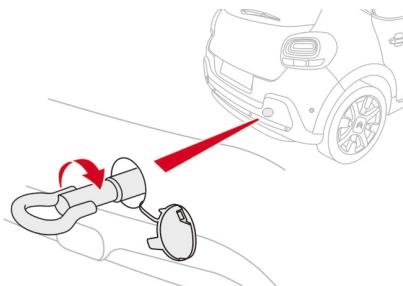
吊り上げずに（4輪が接地した状態）けん引されるとき  
けん引時は、シフトレバーをNにしてください。

#### 前からけん引される場合



カバーの左側を押してはずし、けん引ボルトが止まるまでねじ込みます。

#### 後ろからけん引される場合



カバーの下側を押してはずし、けん引ボルトが止まるまでねじ込みます。

#### 吊り上げて（2輪が接地した状態）けん引されるとき

けん引用の車輪に乗せて移動してください。

### 警 告

エンジンが始動していない状態でけん引される車両は、ブレーキペダルが重く効きが悪くなっています。けん引している前方の車両に追突しないよう注意してください。また、パワーステアリングも作動していません。ハンドルも重くなっていますので注意してください。

## 注意

- 以下の場合、けん引は専門業者にご依頼ください。
  - ・高速道路で走行中に車両が故障した。
  - ・シフトレバーが**N**に入らない、ステアリングのロックが解除できない、またはパーキングブレーキが解除できない。
  - ・2輪が接地した状態でけん引される。
  - ・この車専用のけん引ボルトが使用できない。
- けん引されるときは、以下の点にご注意ください。
  - ・シフトレバーは**N**にしてください。
  - ・シフトレバーを**N**以外でけん引すると、ブレーキシステムが損傷するおそれがあります。また、次回エンジンを作動するとき、ブレーキアシストが作動しないことがあります。
  - ・50km以内の距離を、低速（時速30km以下）で移動してください。

## 注意

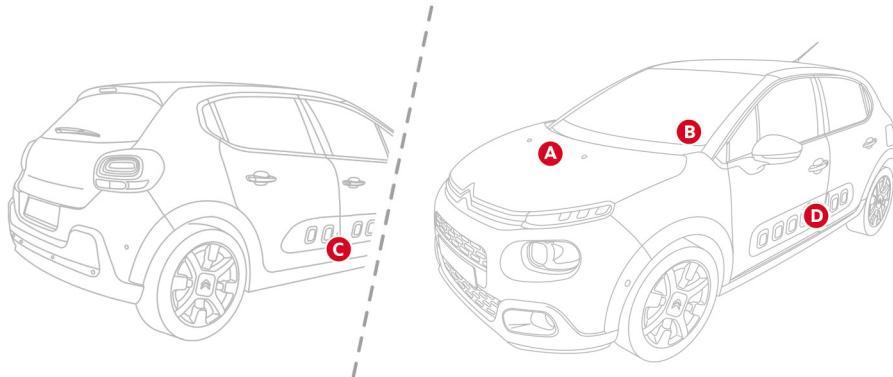
- この車より重量の重い車両でけん引してください。
- 4輪が接地した状態で車両がけん引されるときは、必ずけん引ボルトを使用してください。
- けん引ボルト以外の箇所にけん引フックをかけないでください。
- けん引される車両は、ハザードランプをオンにしてください。

## 車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示	8-2
外形寸法	8-3
アクセサリー類	8-4
索引	8-6
付録	8-11

# 車両データ

## ●識別表示



- A 車台番号（エンジンルーム内）
- B 車台番号（フロントガラス下側）
- C 認証ラベル
- D タイヤ仕様と車体塗色コードラベル  
タイヤとホイールサイズ、メーカー名、適正空気圧、車体色などが記載されたラベルが、助手席側のピラー部に貼られています。

## ⚠ 注意

タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼします。

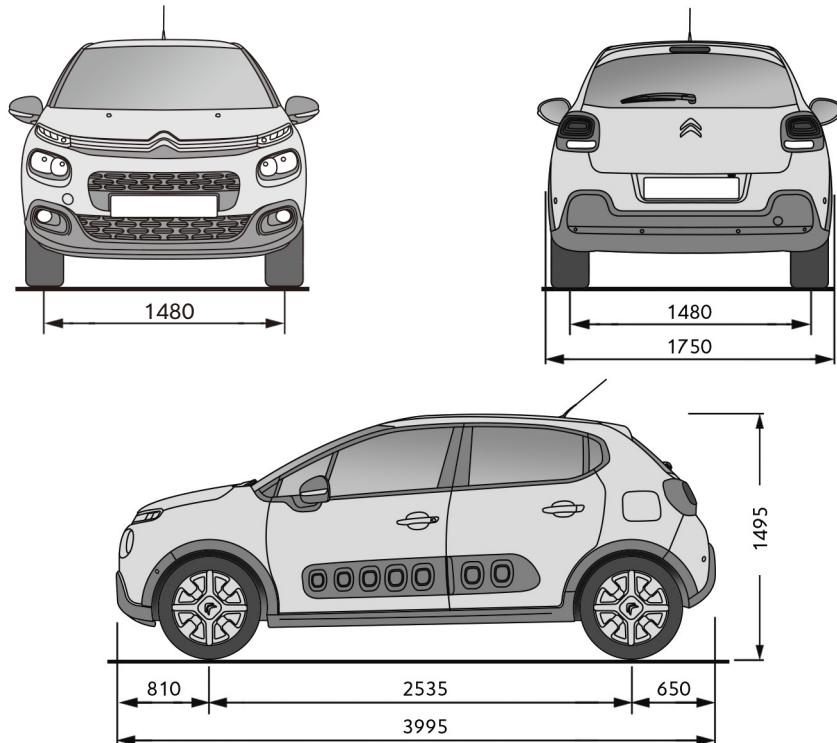
## 注意

- タイヤのサイズによっては、タイヤチェーンが装着できません。詳しくはシトロエン販売店へお問い合わせください。
- タイヤの空気圧は、走行前少なくとも月一回の割合でチェックしてください。必ずシトロエンが指定する空気圧に調整してください。



タイヤの空気圧が低すぎると、燃費が悪くなります。

## ● 外形寸法



\*数値は予告なく変更されることがあります。

## アクセサリー類

### アクセサリー類

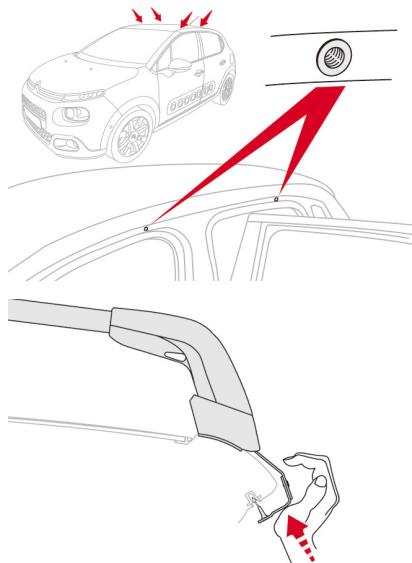
アクセサリー類は、シトロエン純正部品を使用してください。取り付けは、付属の取扱説明書に従ってください。

#### ●ルーフキャリア

キャリアを含めた許容荷重は70kgです。



使用しないときはルーフキャリアを取りはずしてください。



#### ルーフキャリアの取り付け

キャリアを取り付けるときは、ルーフのマークに合わせて取り付けてください。

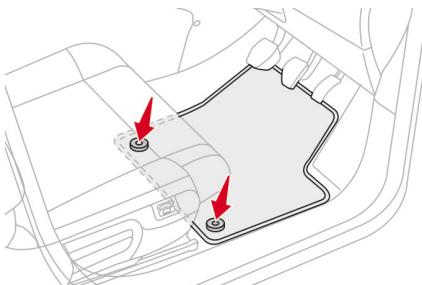
### 警告

- ルーフキャリアはシトロエン純正品を取扱説明書に従って正確に取り付けてください。
- シトロエン純正以外のルーフキャリアを使用したり、指示通りに取り付けなかったりした場合、ルーフキャリアや荷物が落し、事故やケガにつながるおそれがあります。
- 荷物の固定には、細すぎたり、損傷したひもや不適切なひもは使用しないでください。荷物を固定する際には、適切なひもを使用し、しっかりと固定してください。やむを得ず荷物がルーフ部分から突き出る場合は、適切な目印を取り付けて周囲に知らせてください。
- ルーフキャリアに荷物を積む際には、ルーフキャリア許容荷重を超えないようにしてください。
- ルーフに重い荷物や大きな荷物を積んでいると、車両の重心が変わったり風の抵抗が大きくなり走行に影響を与えます。速度を控えたり、急ブレーキ、急ハンドルを避けるなど慎重な運転を心がけてください。

## ⚠ 注意

キャリアの高さには注意してください。特に高速走行を行うと、予想以上に負荷がかかるので思わぬトラブルの原因となることがあります。

## ● フロアマット\*



運転席側のフロアマットを取り付けるときは、フロアマットを正しい位置に合わせ、クリップで留めてください。フロアマットがしっかりと固定されていることを確認してください。

## ⚠ 警告

- 車両側に装備されている固定フックに適したフロアマットのみを使用してください。また、2枚以上のフロアマットを重ねて使用しないでください。ペダル操作の妨げになります。
- シトロエン未指定のフロアマットの使用は、ペダル操作の妨げになるだけでなく、クルーズコントロール／スピードリミッター機能の使用の妨げにもなり、重大な事故につながるおそれがあります。

\* 仕様により異なります。

## 数字

- 12V電源ソケット ..... 5-21  
6速オートマチックトランスマッision ..... 11、3-6

## アルファベット

- ABS (アンチロックブレーキシステム) ..... 3-13  
ASR (トラクションコントロール) ..... 3-13  
ConnectedCAM™ ..... 5-22  
DSC(ダイナミックスタビリティコントロール) ..... 3-13  
EBA (ブレーキアシスト) ..... 3-13  
ESC (エレクトロニクックスタビリティコントロール) ..... 3-13  
ISOFIXチャイルドシート ..... 1-14、1-17  
i-Sizeチャイルドシート ..... 1-16  
START/STOPスイッチ ..... 3-3  
USBポート ..... 5-21

## あ

- アームレスト ..... 5-20  
アクセサリー類 ..... 8-4  
アクティブセーフティブレーキ ..... 3-22  
イグニッションキー ..... 4、2-2、3-2  
イモビライザー(盗難防止システム) ..... 2-10  
インストルメントパネル ..... 4-2  
インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト ..... 3-25  
インテリジェントハイビーム ..... 4-18  
ウインドウウォッシャー ..... 4-25  
エアコンディショナー(エアコン) ..... 15、5-4  
エアバッグ ..... 1-18  
エアフィルター ..... 6-6、6-14  
エクステリアウェルカムランプ ..... 4-22  
エコノミーモード ..... 7-16  
エマージェンシーブレーキ ..... 3-24  
エンジンオイル ..... 6-14  
エンジンオイルの点検 ..... 6-4  
エンジンの始動 ..... 3-2、3-3  
エンジン油量インジケーター ..... 4-13  
エンジルームの点検 ..... 6-3

---

オーディオ	8-11
オートドアロック	2-13
オートマチックトランスミッション	11、3-6
オートライト	4-18
オートワイパー	4-24
オイル交換	6-5
オドメーター	4-15

## か

外形寸法	8-3
間接式タイヤ空気圧警告	3-39
キー	4、2-2
給油	8、2-20
緊急用キー	2-12
クルーズコントロール	11、3-30
グローブボックス	5-20
警告灯	4-7
けん引されるとき	7-16
工具	7-2

## さ

サービスインジケーター	4-14
サンシェード	2-18
サンバイザー	5-20
シートの調整	5、1-2
シートベルト	7、1-7
識別表示	8-2
シフトレバー	11、3-6
シフトタイミングインジケーター	3-9
ジャッキ	7-2
使用燃料について	1-23
触媒コンバーター	1-25
助手席エアバッグキャンセルスイッチ	13、1-19
推奨交換時期	6-14
推奨点検時期	6-15
推奨油脂類	6-15
スーパードアロック	2-3、2-8
ストップ&スタート	12、3-10
スノーチェーン／スノーネット	1-24
スピードリミッター	11、3-33
スピードリミットインフォメーション	11、3-27

# 索引

スペアタイヤ ..... 7-2  
スマートキー ..... 4、2-5

ドライブコンピューター ..... 4-27  
トリップメーター ..... 4-15

## た

タイヤ空気圧 ..... 1-23、8-2  
タイヤの交換 ..... 6-13、7-2  
タイヤの点検 ..... 1-23  
タッチスクリーン ..... 5-8  
チャイルドシート ..... 1-10  
チャイルドセーフティ ..... 13、2-17  
チルト・テレスコピックステアリング ..... 6、3-5  
テールゲート ..... 2-14  
テールランプの交換 ..... 6-10  
ディスタンスアラート ..... 3-23  
デイタイムライト ..... 4-21  
電球の交換 ..... 6-7  
電池の交換（リモコン／スマートキー） ..... 2-4、2-9  
ドアミラー ..... 6、1-4  
ドアロック ..... 2-12  
ドライバーアテンションアラート ..... 3-19

## な

燃料 ..... 1-23  
燃料タンクの容量 ..... 8、2-20

## は

パーキングブレーキ ..... 3-5  
ハザードランプ ..... 4-23  
バックカメラ ..... 3-38  
バックソナー ..... 3-36  
バックミラー ..... 6、1-5  
パッキング ..... 4-17  
バッテリーが上がったとき ..... 7-13  
パノラミックガラスルーフ ..... 2-18  
パワーウィンドウ ..... 7、2-15  
パンク修理キット ..... 7-7

ヒューズの交換	6-12
ヒルスタートアシスタンス	3-35
フォグランプ	4-21
フォローミーホーム	4-22
フュエルリッド	8、2-20
ブラインドスポットモニター	3-15
ブレーキ	3-5
フロアマット	8-5
ヘッドランプ	10、4-17
ヘッドランプの交換	6-7
ヘッドラスト	7、1-3、1-6
ホーン	3-5
保安炎筒	1-25
方向指示器	4-23
ボンネット	8、2-19
ミラー	6、1-4

## ま

## ら

ライトスイッチ	10、4-17
ラゲッジルーム	5-15
リアシート	1-5
リモコン	4、2-2
ルーフキャリア	8-4
ルームランプ	5-17
レーンデパーチャーウオーニング	3-18
冷却水温度計	4-12
冷却水の交換	6-5、6-14
冷却水の点検	6-5、6-15

## わ

ワイパー	10、4-24
ワイパープレードの交換	4-26





- 接続するオーディオ機器によっては動作が異なる場合があります。
- このオーディオには盗難防止機能が付いています。他の車両では使用できません。
- 利用可能な Bluetooth® の機能、およびその表示内容は、携帯電話の種類とその設定、および契約内容によって異なります。詳細はお客様がお使いの携帯電話会社へお問い合わせください。
- Bluetooth® は Bluetooth SIG, Inc. の商標です。
- Apple、iPhone、Apple CarPlay、および Siri は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Android Auto は、Google LLC. の商標です。
- MirrorLink® は Car Connectivity Consortium LLC. の商標です。
- タッチスクリーンのシステムのバージョンアップやオプションのナビゲーションの接続によって、操作や表示、アイコンのデザイン、色などが変更されることがあります。

## オーディオ／ハンズフリー通話 (タッチスクリーン)

基本操作	8-12
ラジオ	8-14
USB／Bluetooth®	8-16
画像ファイルの表示	8-18
ハンズフリー通話	8-19
通話をする	8-20
Apple CarPlay	8-25
Android Auto	8-26
プロファイルの設定	8-27
FAQ (よくある質問)	8-29

### △警告

安全上の理由から、各種設定など複雑な操作は、車両を停止し、イグニッションを ON にした状態で実施してください。

## 基本操作



オーディオの操作はタッチスクリーンから行います。

このアイコンにタッチすると、ラジオや USB メディアの再生・設定画面に移動します。

### ●各画面共通のアイコン

各画面では、以下のようなアイコンが表示されます。

← 前のページに戻ります。

OK 設定を有効にします。

詳細設定画面を表示します。



タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

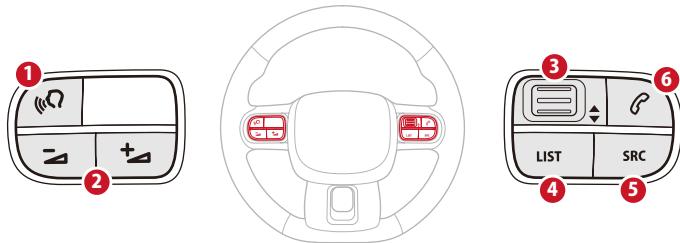
### ●音量の操作



音量の操作はタッチスクリーンの下にある音量調整ツマミで行います。

音量調整ツマミを押すと、音量のオン／オフが行えます。音量がオフの間は、USB などの再生メディアは停止しています。

## ●ステアリングスイッチ



① : 音声認識機能起動ボタン

接続する携帯電話などの音声認識機能を使用して電話を発信します。

② : 音量調整ボタン

ボリュームが増減します。

+ と - のボタンを同時に押すと音量のオン／オフができます。

③ : 設定ダイヤル

登録したラジオ放送局やメディアのトラック選択に使用します。または、ダイヤルを回して設定項目を選択します。押し込むと、設定項目を決定できます。

④ : LIST ボタン

音楽の再生リストやラジオの放送局リストなどを表示します。

⑤ : SRC ボタン

入力ソースを切り替えます。

⑥ : TEL ボタン

発着信履歴や連絡先などの表示、ハンズフリー通話の受話および終話などに使用します。

## ●入力ソースの切り替え



1. にタッチします。

2. ソースにタッチします。

3. 入力ソースにタッチします。



入力ソースの切り替えは、ステアリングの SRC ボタンを押しても行えます。

## ラジオ

### ● ラジオモードへの切り替え

1.  にタッチします。
2. ソースにタッチします。
3. ラジオを選択します。

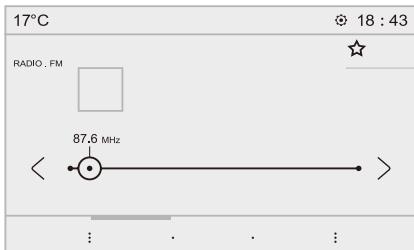


入力ソースの切り替えは、ステアリングの SRC ボタンを押しても行えます。

### ● FM / AM の切り替え

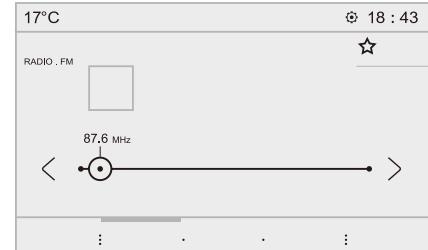
1.  にタッチします。
2. オプションにタッチします。
3.  にタッチして AM または FM ラジオを選択します。

### ● 手動サーチ



タッチスクリーンのカーソルを左右に動かすと受信周波数が変わります。またはカーソルの上の現在受信している放送局周波数にタッチし、タッチスクリーンから周波数を入力して OK にタッチします。

### ● 自動サーチ



タッチスクリーンのカーソルの端にある < または > にタッチすると、自動サーチが開始され、受信可能な放送局が見つかったところで止まります。



自動サーチで合わせたい放送局に止まらない場合は、電波状況が弱いなどが考えられます。手動サーチで放送局を設定してください。

## ●プリセットへの登録

自動サーチまたは手動サーチでサーチした放送局を各プリセットに登録します。

1. タッチスクリーンのプリセットにタッチします。
2.  に長くタッチします。



- ☆にタッチしてもプリセットへの登録ができます。プリセット済みの放送局はアイコンが黒色で表示されます。
- ☆に長くタッチし、**Yes** にタッチするとプリセットへの登録を解除できます。

## ●登録した放送局の呼び出し

1. タッチスクリーンのプリセットにタッチします。
2. 呼び出したいプリセット番号にタッチします。



ステアリングの設定ダイヤルを上下に回しても登録した放送局の呼び出しができます。

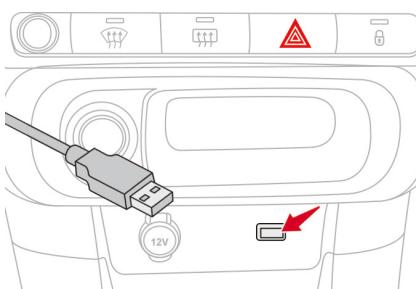
## ●受信可能放送局リスト

タッチスクリーンのリストにタッチするか、ステアリングの LIST ボタンを押すと受信できる放送局のリストが表示されます。

リスト中の放送局を選択するには、タッチスクリーンの放送局リストにタッチするか、ステアリングの設定ダイヤルで放送局を選択して、押し込みます。

## USB / Bluetooth®

### ● USB ポートへの接続



まず、USB ポートにオーディオ機器や音楽ファイルが記録された USB メモリを接続します。

### ● Bluetooth® 接続

Bluetooth® での接続を行うには、機器のペアリング／接続をします。手順は、「電話機との接続（ペアリング）」の項を参照してください。

### ● USB / Bluetooth® モードへの切り替え

1. ♪ にタッチします。
2. ソースにタッチします。
3. 入力ソースにタッチして選択します。



入力ソースの切り替えは、ステアリングの SRC ボタンを押しても行えます。



- 接続するオーディオ機器の仕様により認識できないことがあります。
- 認識可能なファイルフォーマットは WMA (9 のみ)、AAC、OGG、MP3 です。  
接続するオーディオ機器の仕様により再生できないことがあります。
- 再生可能な MP3 のサンプリング周波数は 32kHz 以上です。
- ファイル名などの表示できる文字数や種類には制限があります。
- USB ポートに、オーディオ機器以外の USB 装置やハードディスクなどを接続しないでください。オーディオが故障するおそれがあります。
- ストリーミング再生は電話機の機能に依存します。
- 音質は、電話機からの送信品質によって決まります。
- オーディオファイルの再生・停止などは、電話機で操作しなければならない場合があります。
- 接続に必要なケーブルは付属していません。

## ●再生と停止

メディアを接続すると自動的に再生が始まります。

再生と停止は、タッチスクリーンのプレーヤーにタッチし、画面右上の再生／停止のアイコンにタッチして行います。音量調整ツマミを押すか、+と-の音量調整ボタンを同時に押しても再生と停止ができます。

## ●選曲

ステアリングの設定ダイヤルを回すか、タッチスクリーンのプレーヤーにタッチし、<または>にタッチすると前後の曲に変わります。

タッチスクリーンの<または>に長くタッチすると巻き戻し／早送りできます。

## ●再生リストの表示

再生リストは以下の手順で表示させます。

1. ステアリングの **LIST** ボタンを押します。
2. ステアリングの設定ダイヤルを回してフォルダまたは曲を選択します。
3. ステアリングの設定ダイヤルを押し込んで決定します。



●再生リストはタッチスクリーンのセレクションやライブラリにタッチしても表示させることができます。

●接続するオーディオ機器の仕様により、ステアリングの **LIST** ボタンで再生リストを表示できない場合があります。

## ●再生オプション

以下の再生オプションを設定できます。

- ・ランダム再生
- ・リピート再生

1. にタッチします。
2. オプションにタッチして再生オプションに表示させます。

## ●オーディオの設定

再生時の音質などのオーディオの設定を行うことができます。

1.  にタッチします。
2. オプションにタッチします。
3.  にタッチしてオーディオの設定画面を表示させます。

## ●オーディオの設定項目一覧

項目名	説明
トーン	プリセッタから音質を選択できます。ユーザー設定を選択した場合は、任意の音質に設定できます。
バランス	リスニングポジションに合わせた前後左右の音量バランスを調整します。
サウンド	操作音の音量や、車速感応式自動音量補正機能を設定します。
呼出音（着信音）	着信音量を設定します。



接続する機器の仕様により呼出音（着信音）の設定ができないことがあります。

## ●ナビ／TV のレベル調整\*

ナビやテレビの音量は、音量調整ツマミで調整します。

## 画像ファイルの表示

1.  にタッチします。
2.  にタッチします。
3. 表示したい画像が格納されているフォルダにタッチします。
4. 画像にタッチして表示させます。

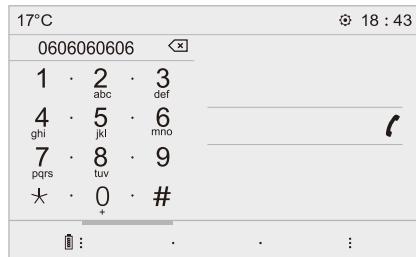


- 表示できるファイルは、jpeg、bmp、gif、tiff です。  
接続する機器の仕様により表示できないことがあります。
- 動画の再生はできません。
- 同じ画面に表示される SMS のアイコンは日本国内では使用できません。

\* 仕様により異なります。

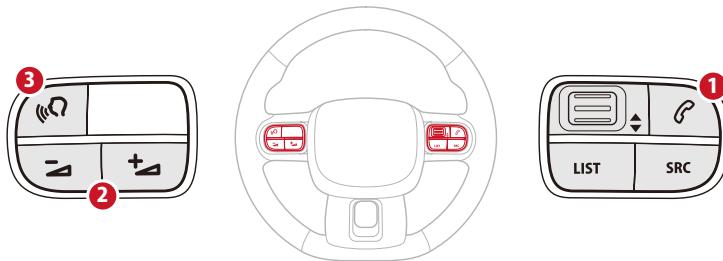
## ハンズフリー通話

### ●ハンズフリーの通話・設定画面への移動



 このアイコンにタッチすると、ハンズフリーの通話・設定画面に移動します。

### ●ステアリングスイッチ



#### ① : TEL ボタン

着信があった場合に、短く押すと着信を受け付けます。長く押すと着信を拒否できます。

通話中に短く押すと、メニュー（終話、保留、リダイヤル、マイク OFF）を表示します。  
通話中でないときに短く押すと、メニュー（連絡先、発着信履歴）を表示します。

#### ② : 音量調整ボタン

通話音量を調整できます。

#### ③ : 音声認識機能起動ボタン

接続する携帯電話などの音声認識機能を使用して電話を発信します。

## 通話をする

### ●電話機との接続（ペアリング）

1. 電話機の Bluetooth<sup>®</sup> 機能をオンにして、外部から検索可能な状態に設定します（電話機の説明書を参照）。
2.  にタッチします。
3. TEL にタッチします。
4.  にタッチします。
5.  にタッチして Bluetooth<sup>®</sup> 機器の検索を行います。
6. リストから接続したい電話機を選択します。

7. タッチスクリーンと電話機に表示されたペアリングコードを確認し、タッチスクリーンの Yes にタッチします。電話機側でも同様に操作します。ペアリングに失敗した場合は、イグニッションを OFF にしたり、電話機の電源を OFF にするなどして、再度接続を試みてください。



- 初回接続時は、②にタッチした後、③にタッチして Bluetooth<sup>®</sup> 機器の検索を開始します。
- 電話機名の代わりに電話機の機種名が表示される場合があります。
- 画面に表示される MirrorLink<sup>®</sup> は日本国内では使用できません。

### ⚠ 警 告

安全上の理由から、Bluetooth<sup>®</sup> ハンズフリーシステムのペアリングは、車両を停止し、イグニッションを ON にした状態で実施してください。



- 電話機として一度に接続できる機器は1台だけです。
- 利用できる機能はネットワーク、SIMカード、および使用する電話機の仕様（互換性）により異なります。
- エンジンを始動する度に自動再接続を可能にするには、電話機側での設定が必要な場合があります。
- ペアリングは、電話機から Bluetooth<sup>®</sup> デバイスを検索して開始することもできます。

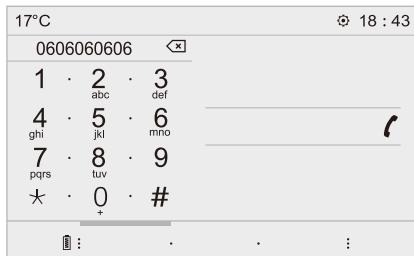
## ●電話をかける

### ⚠ 警告

安全のため、車両を停止してから発信してください。

### 発信

1.  にタッチします。
2. キーパッドにタッチして、タッチスクリーンから電話番号を入力します。



3. 発信にタッチして発信を開始します。

## 発着信履歴からの発信

1.  にタッチします。
2. 発着信履歴にタッチします。
3. リストにタッチして発信を開始します。



- 発着信履歴は、ステアリングの **TEL** ボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルで選択して表示することができます。
- 発着信履歴には、接続した電話機により車両経由で行った発信と受信が含まれています。
- 電話機により、発着信履歴からの発信ができない場合があります。

## 連絡先からの発信

1.  にタッチします。
2. 連絡先にタッチします。
3. リストにタッチします。
4. 表示された電話番号にタッチして発信を開始します。



- 連絡先は、ステアリングの **TEL** ボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルで選択して表示することができます。

## 音声認識機能を使用した発信

1. 音声認識機能起動ボタンを押します。
2. 「〇〇〇に電話」などと話します。



あらかじめスマートフォンの音声認識機能をオンにしてから操作してください。

## ●電話を受ける

1. 受信通話があると、着信音が鳴り、タッチスクリーンに表示されます。
2. ステアリングのTELボタンを短く押すか、タッチスクリーンの♪にタッチして通話を受けます。



●着信を拒否するには、タッチスクリーンの拒否マークにタッチするか、ステアリングのTELボタンを長く押します。

●着信を保留にするには、タッチスクリーンの保留マークにタッチします。

●受話後、**プライベート通話**にタッチすると、ハンズフリー通話から電話機での通話に切り替わります。

●受話後、**マイク OFF**にタッチすると、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。

## ●電話を切る

電話を切るには、タッチスクリーンの**終話**にタッチするか、ステアリングのTELボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルを回して**終話**を選択して、押し込みます。

## ●着信音量の設定

1. にタッチします。
2. オプションにタッチします。
3. にタッチします。
4. タッチスクリーンのカーソルを左右に動かして着信音量を調整します。



接続する機器の仕様により着信音量の設定ができないことがあります。

### ● 連絡先の並べ替え

連絡先を苗字または名前で並べ替えできます。

1.  にタッチします。
2. オプションにタッチします。
3.  にタッチして苗字または名前で並べ替えます。

### ● 連絡先の検索

タッチスクリーンで名前を入力して連絡先の検索ができます。

1.  にタッチします。
2. 連絡先にタッチします。
3.  にタッチします。
4. タッチスクリーンから検索したい連絡先の名前を入力します。
5. 表示された連絡先候補の中から連絡先を選択します。



日本語はひらがな、またはカタカナで登録された連絡先のみ検索できます。

### ● 応答の保留の設定

着信をしたら自動的に保留に切り替わる設定ができます。

1.  にタッチします。
2. オプションにタッチします。
3.  にタッチして応答の保留をオンにします。

## ●接続設定の変更

Bluetooth<sup>®</sup>による電話機との接続には、ハンズフリー接続およびオーディオ接続が含まれます。通常はどちらの機能も自動的に接続されます。



電話機によっては、どちらか1つの接続しかできない場合があります。

1. にタッチします。
2. **TEL** にタッチします。
3. にタッチして Bluetooth<sup>®</sup> 機器のリストを表示します。
4. 接続設定を変更したい Bluetooth<sup>®</sup> 機器のこのアイコンにタッチします。
5. ボックスにチェックをしてプロファイルを選択します。
6. **OK** にタッチします。

## ●電話機との接続（ペアリング）を切断する

1. にタッチします。
2. **TEL** にタッチします。
3. にタッチして Bluetooth<sup>®</sup> 機器のリストを表示します。
4. Bluetooth<sup>®</sup> 機器のリストにタッチして接続を切断します。再度タッチすると、接続が再開されます。

## ●電話機との接続（ペアリング）を削除する

1. にタッチします。
2. **TEL** にタッチします。
3. にタッチして Bluetooth<sup>®</sup> 機器のリストを表示します。
4. Bluetooth<sup>®</sup> 機器のリスト右上のアイコンにタッチします。
5. 接続を削除したい Bluetooth<sup>®</sup> 機器のこのアイコンにタッチします。
6. **Yes** にタッチして接続を削除します。

## Apple CarPlay

Apple CarPlay に対応した iPhone は、USB で接続して iPhone のアプリをタッチスクリーンに表示することができます。

### ⚠ 警 告

安全上の理由から、Apple CarPlay の操作は、車両を停止し、イグニッションを ON にした状態で実施してください。

#### ● USB で接続する

iPhone をフロントコンソールの USB ポートに接続します。Apple CarPlay に対応したアプリが表示されます。



● iPhone を接続する前にあらかじめ iPhone の Siri 機能をオンにしてください。

● USB で接続した後、タッチスクリーンの他のメニューを表示している状態から Apple CarPlay の画面を表示するには、タッチスクリーンの♪にタッチしてください。

● プライバシー機能のメッセージが表示されたら OK にタッチしてから再接続してください。

#### ● Siri を起動する

Apple CarPlay は Siri による音声操作が可能です。ステアリングの音声認識機能起動ボタンを押すと Siri を起動できます (Siri が搭載された iPhone を接続している場合のみ)。



● 接続する iPhone の仕様により認識できないことがあります。

● 接続に必要なケーブルは付属していません。

● Apple CarPlay を使用するには、Apple CarPlay 対応の iPhone とアプリが必要です。

● Apple CarPlay の使用中は、Bluetooth の接続ができません。

● iPhone で Apple CarPlay の機能を制限している場合は、制限を解除してください。

● Apple CarPlay の使用にはパケット通信料がかかります。

## Android Auto

Android Auto に対応したスマートフォンは、USB で接続してスマートフォンのアプリをタッチスクリーンに表示することができます。

### △警告

安全上の理由から、Android Auto の操作は、車両を停止し、イグニッションを ON にした状態で実施してください。

### ● USB で接続する

- スマートフォンをフロントコンソールの USB ポートに接続します。
- スマートフォンおよびタッチスクリーンにメッセージが表示されることがあります。メッセージに従い操作します。Android Auto に対応したアプリが表示されます。



●スマートフォンがロックされている場合は、ロックを解除してから再接続してください。

●USB で接続した後、タッチスクリーンの他のメニューを表示している状態から Android Auto の画面を表示するには、タッチスクリーンの にタッチしてください。

●プライバシー機能のメッセージが表示されたら **OK** にタッチしてから再接続してください。

### ● 音声認識機能を起動する

Android Auto の音声認識機能を使用するには、ステアリングの音声認識機能起動ボタンを押します。



●スマートフォンをUSBで接続し、Android Autoの設定を完了すると、スマートフォンが自動的にBluetooth接続されます。

●走行中は Android Auto の動作が制限される場合があります。

●接続するスマートフォンの仕様により認識できないことがあります。

●接続に必要なケーブルは付属ていません。

●Android Auto を使用するには、Android Auto 対応のスマートフォンとアプリが必要です。

●Android Auto の使用にはパケット通信料がかかります。

## プロファイルの設定

タッチスクリーンの設定を、個別のプロファイルとして3つまで、または1つの共有プロファイルとして記憶できます。プロファイルには、アンビエンス（カラー）などの設定を記憶できます。

### ● プロファイルを設定する

1.  タッチスクリーンの画面上部にあるこのアイコンにタッチします。
2.  にタッチします。
3. 設定したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンのプロファイル  
1、プロファイル 2、プロファイル 3、または**共有プロファイル**にタッチします。
4.  にタッチします。
5. タッチスクリーンからプロファイルの名前を入力します。
6. **OK** にタッチして入力内容を保存します。
7.  にタッチしてプロファイルをオンにします。



**共有プロファイル**は名前の設定はできません。

### ● プロファイルの呼び出し

1.  タッチスクリーンの画面上部にあるこのアイコンにタッチします。
2.  にタッチします。
3. 呼び出したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンのプロファイル  
1、プロファイル 2、プロファイル 3、または**共有プロファイル**にタッチします。
4.  にタッチします。

## ● プロファイルの初期化

1.  タッチスクリーンの画面上部にあるこのアイコンにタッチします。
2.  にタッチします。
3. 初期化したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンのプロファイル  
1、プロファイル 2、プロファイル 3、または**共有プロファイル**にタッチします。
4.  にタッチします。
5. **[00.0]** にタッチします。
6. **Yes** にタッチします。プロファイルが初期化されます。

## ⚠ 警 告

安全上の理由から、プロファイルの設定は、車両を停止し、イグニッションを ON にした状態で実施してください。

## FAQ (よくある質問)

ナビゲーション（地図／設定）の操作については、別冊の取扱説明書をお読みください。

質問	回答	対応方法
ラジオの受信感度が徐々に悪くなり、記憶させた放送局が表示されず、すべて同じ周波数が表示されてしまいます。	<p>周囲に放送局がなく、電波を受信することができません。</p> <p>周囲に電波を遮るものがあり、電波を受信することができません。</p> <p>アンテナが故障しています。</p>	その場所から移動してください。 シトロエン指定サービス工場にお問い合わせください。
プリセット設定を選択した後、低音・中・高音の個別設定を行うと、プリセット設定がユーザー設定になってしまいます。	プリセット設定と低音・中・高音の個別設定は同時にできません。	どちらか片方で音質の調整を行ってください。
USBメモリを接続してから、長い時間反応がありません。	USBメモリを最初に接続すると、メディアに含まれる曲名やアーティスト名を読み込むために少し時間がかかります。	
USBメモリの音楽の再生に時間がかかるています。	音楽ファイル以外のファイルの読み込みには、時間がかかることがあります。	該当のファイルを削除してください。また、ディレクトリの階層を浅くしてください。
自動再生が始まりません。	一部の機器は自動再生に対応していません。	機器の側で再生を行ってください。
ラジオやUSBなどの入力ソースによって音質が異なります。	ボリュームや低音・中・高音などの音質設定は、入力ソースごとに保存されています。	入力ソースごとに最適な設定を行ってください。
エンジンを切っても、しばらくの間オーディオが動作しています。	エンジンを切ってもしばらく動作しますが、走行直後は最大30分で自動的に電源が切れます。	引き続きオーディオを使用したい場合は、エンジンをかけてください。

## 付 錄

質問	回答	対応方法
Bluetooth®で電話機を接続できません。	電話機の Bluetooth®機能がオフになっているか検索可能な状態になっていません。	Bluetooth®機能を ON にしてください。または、検索可能な状態にしてください。
Bluetooth®で接続した電話機の音量が小さくて聞き取れません。	受話音量はオーディオ本体と電話機の両方で調節できます。	電話機の音量を上げる、または、オーディオの音量を上げてください。
電話帳に同じ宛先が複数載っています。	SIM カードと電話機本体の両方に同じ宛先が載っています。	SIM カードまたは電話機本体の電話帳のみを表示させてください。
電話帳の並び順がアルファベット順になっています。	電話機での並び順設定が優先されています。	電話機側で並び順を変更してください。
Apple CarPlay、Android Auto を使用できません。	接続に使用しているケーブルによっては Apple CarPlay、Android Auto が有効になりません。	ご使用のスマートフォンに付属のケーブルを使用して接続してください。
SMS（ショートメールなど）が受信できません。	SMS（ショートメールなど）の送受信には対応していません。	
曲名や曲の時間が表示されません。	電話機の種類によっては、表示されないことがあります。	
Bluetooth®接続した iPhone を USB ポートにも同時に接続しましたが、音楽ファイルを再生できません。	iPhone を電話機としてハンズフリー接続した場合、自動的にストリーミング機能が優先して USB 再生はできません。	一度 USB ケーブルをはずして再度接続することで、USB 再生が優先されるようになります。
再生中の音楽の曲名などが正しく表示されません。	バージョンにより表示されない場合があります。	別の文字を使用してタイトルやフォルダ名を変更してください。

この取扱説明書は、お車のオーナーが最良の状態で車を使用し、維持できるように作成されています。

装備の解説は、このモデルの最上級仕様にもとづいています。

個々のお車においては、販売国の仕様によって、掲載されている装備のいくつかが該当しない場合があります。

テクニカルデータ、仕様、アクセサリーについては予告なく変更される場合があります。

取扱説明書内のイラストは、正確な描写を目的に作成されておりませんので、実車と一致しない場合があります。

オートモビル・シトロエン社の文書による許可を受けていない、この取扱説明書に掲載されている写真、イラスト、文章の一部または全部の転載、複写を禁止します。

編集発行 Stellantis ジャパン株式会社 2023/07

PMOM - C323ja



<https://www.citroen.jp/>